

EPSON

Endeavor Pro9050a



ユーザーズマニュアル

Windows 10

ご使用前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- マニュアルに記載の Windows やアプリの情報は 2021 年 4 月時点のものです。今後、アップデートにより画面や操作方法が変更になる場合があります。

目次

ご使用の前に

製品保護上の注意.....	6
マニュアルの読み方.....	9
各部の名称.....	14
添付されているアプリ.....	16
データの移行とバックアップ.....	17

1 コンピューターの基本操作

Windows 10 の基本操作.....	20
マウスを使う.....	24
キーボードを使う.....	26
HDD/SSD の概要.....	29
RAID 機能.....	31
光ディスクメディアを使う.....	35
USB 機器を使う.....	40
画面表示機能.....	42
サウンド機能.....	45
ネットワーク機能.....	48
インターネット / メールをする.....	51
インターネットを使用する際のセキュリティ対策.....	52
省電力機能.....	55
そのほかの機能.....	59

2 装置の増設・交換

増設・交換できる装置.....	64
作業時の注意.....	65
装置装着時の準備作業.....	66
メモリーの装着.....	73
拡張ボードの装着.....	82
ドライブ装置とコネクタの接続.....	88
5.25 型ドライブの装着.....	89
フロント I/O ユニットの位置変更.....	93
HDD/SSD の装着.....	96
コンピューター内部のケーブル接続.....	106

3

UEFI の設定

UEFI の設定を始める前に.....	108
UEFI Setup ユーティリティの操作.....	109
UEFI Setup ユーティリティの設定項目.....	126

4

困ったときは

トラブルが発生したら.....	140
起動・画面表示できないときは.....	142
トラブル時に効果的な対処方法.....	148
再インストール（PC を初期状態に戻す）.....	159

付録

お手入れ.....	164
コンピューターを廃棄するときは.....	165
機能仕様一覧.....	167



ご使用前に

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

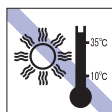
製品保護上の注意.....	6
マニュアルの読み方.....	9
各部の名称.....	14
添付されているアプリ.....	16
データの移行とバックアップ.....	17

製品保護上の注意

コンピューター（本機）や周辺機器の取り扱いに関する注意事項を説明します。

使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

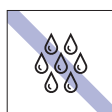
故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。



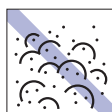
温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。

結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。

結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。

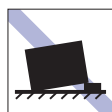


テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



ホコリの多い所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

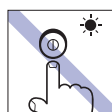


不安定な所には設置しないでください。

落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。

電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

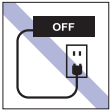
変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



本機の上には重い物を載せないでください（本機を横置きで使用する場合は、20 kg までのディスプレイを載せることができます）。

重圧により、故障や誤動作の原因となります。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。

電源を切っても、本機内部に微少な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。

内蔵の周辺機器（HDD/SSD、光ディスクドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。

配線ケーブルはすべて取り外し、光ディスクメディアなどは取り出してください。



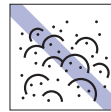
無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力のUPSを使用してください。正弦波出力以外のUPSを使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。

光ディスクメディア

光ディスクメディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、光ディスクメディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



キズを付けしないでください。



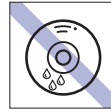
クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。



シールを貼らないでください。



レコードのように回転させて拭かないでください。
内側から外側に向かって拭いてください。



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。
クリーニングするときは、CD 専用クリーナーを使ってください。



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングする CD は使わないでください。

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



レンズ部分に触れないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

マニュアルの読み方

マニュアルの提供形式や、マニュアル中の表記について説明します。

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPU の種類・メモリー容量・光ディスクドライブなど、選択された仕様に合わせて、お客様オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

本書で記載しているコンピューターの製品仕様

本書では特に記載がない限り、下記の製品仕様で説明を行っています。お客様が購入された製品の仕様が下記と異なる場合、それらの使用方法やドライバーのインストール方法などは、購入時に選択された各装置のマニュアルを参照してください。

メモリー	: 1 組 (2 枚)
HDD/SSD	: 1 基
光ディスクドライブ	: 1 基
ディスプレイ機能	: グラフィックスボードの機能を使用
ネットワーク機能	: マザーボードの機能を使用
サウンド機能	: マザーボードの機能を使用

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、『ユーザーズマニュアル』（本書）とは別に提供されている場合があります。

お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり紙や電子の形式で提供されていますので、ご確認ください。



- 本製品に同梱されている紙マニュアル
- [スタート] - [PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] から閲覧する電子マニュアル
- CD-ROM などに収録されている電子マニュアル（PDF ファイルなど）

マニュアル中の表記

本書で使用している記号や表記について説明します。










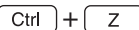


安全に関する記号

本書では次のような安全に関する記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。





一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
	 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、  は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
	+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、  を押したまま  を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別紙を示します。
	マニュアルの名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
光ディスクメディア	CD メディア、DVD メディア、Blu-ray Disc メディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称

オペレーティングシステム (OS) に関する表記

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

Windows 10	Windows [®] 10 Home 64 bit 版 Windows [®] 10 Pro 64 bit 版
------------	---

HDD/SSD 容量の記載

本書では、HDD/SSD 容量を 1GB (ギガバイト) = 1000MB として記載しています。

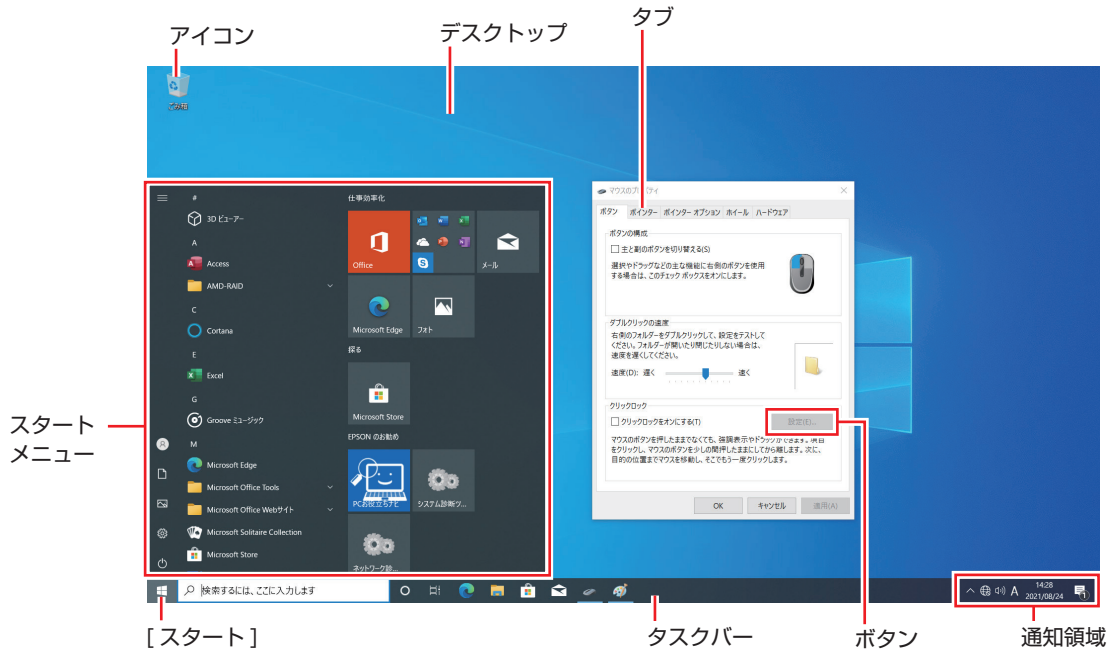
メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB (ギガバイト) = 1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

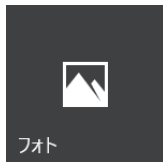
デスクトップ



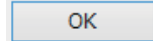
タイル / ボタン

タイルやボタンは [] で囲んで記載しています。

例) [フォト] :



例) [OK] :



画面操作の記載

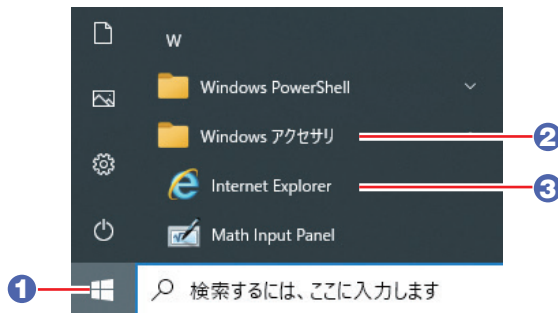
本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

- 記載例

[スタート] – 「Windows アクセサリ」 – 「Internet Explorer」

- 実際の操作

- ① [スタート] をクリックします。
- ② 表示された一覧から「Windows アクセサリ」をクリックします。
- ③ 表示された一覧から「Internet Explorer」をクリックします。



各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

前面

- ハンドル (オプション)
- 光ディスクドライブ
p.35
- 光ディスクドライブ
アクセラランプ p.36
- フロント I/O ユニット
- HDD/SSD アクセス
ランプ p.29
- 電源スイッチ /
電源ランプ p.20
- マイク入力コネクタ
p.45
- ヘッドホン出力
コネクタ p.45
- フロントドア
右上のアイコン部分 (▲) を
押すと開きます。
- USB2.0 コネクタ p.40
- 光ディスク
ドライブイジェクト
ボタン p.35
- 5.25 型
ドライブベイ
p.89
- USB3.2 (Gen1)
コネクタ **SS** p.40
- HDD/SSD ベイ
p.96
引き手内側のレバー
を引きながら開きま
す。

<フロントドア内>

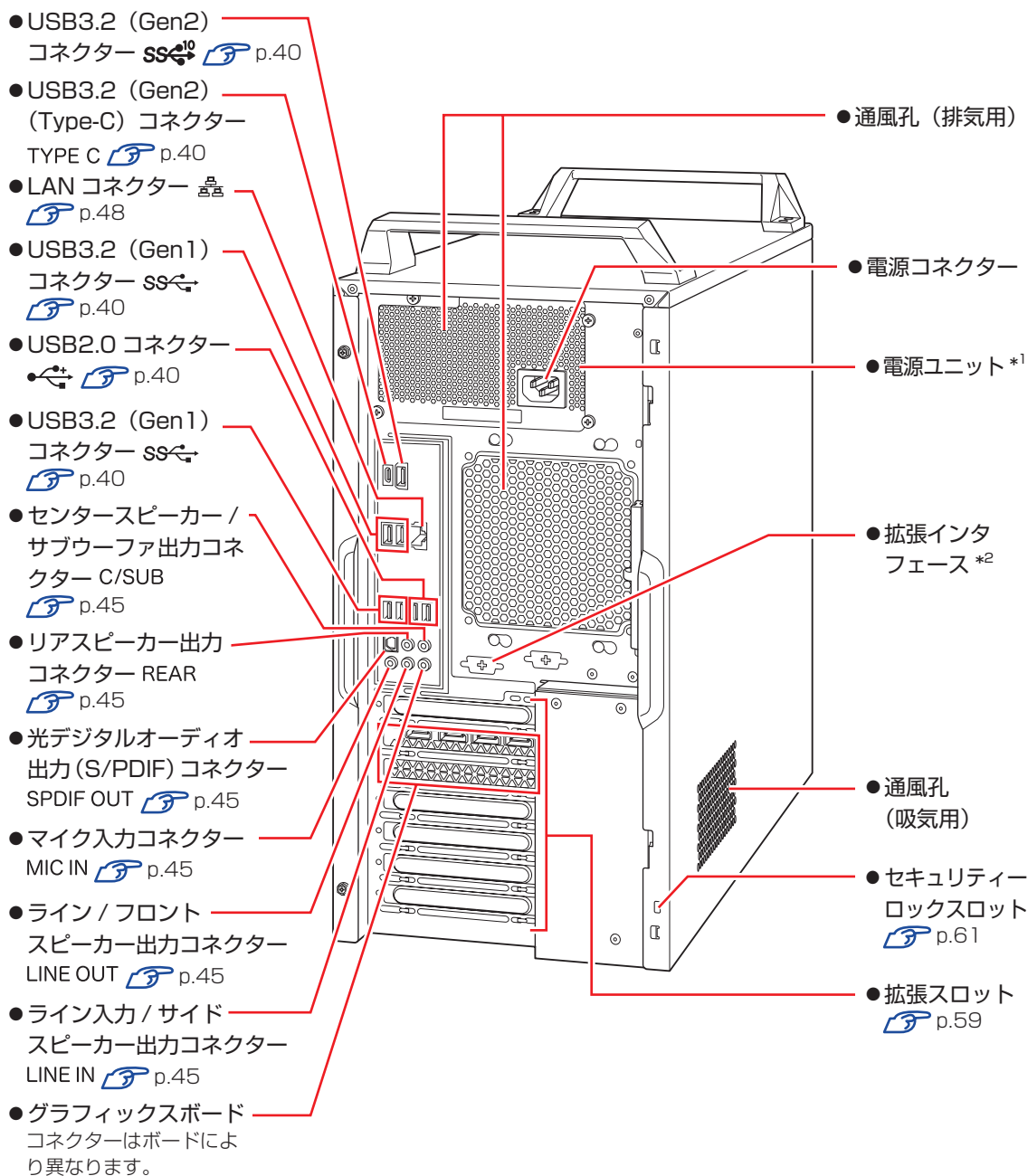
- HDD/SSD ベイ用
キーロック p.61
・ロック (垂直) ・解除 (水平)




制限

HDD/SSD ベイを開いた状態で本機を使用しないでください。

背面



*¹ 電源ユニット部分は、選択された電源容量により形状が異なります。
本書では 650W の場合を例にして記載しています。

*² オプション選択時、シリアルコネクターが装着されています。  p.59







添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

本機にインストールされているアプリ


次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。

※ 購入時の選択によっては、ほかにもアプリがインストールされている場合があります。

●Windows 10 本機のオペレーティングシステム (OS) です。
●本体ドライバー <ul style="list-style-type: none">• チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。• ネットワークドライバー ネットワーク機能 (有線 LAN) を使用するためのドライバーです。• サウンドドライバー マザーボード上のサウンド機能を使用するためのドライバーです。• RAID ユーティリティ (RAIDXpert2)  p.31 RAID の設定をするためのユーティリティです。 ※購入時に RAID 構成を選択した場合のみ、インストールされています。• Thunderbolt ドライバー (機器搭載時) Thunderbolt ボードを使用するためのドライバーです。
●PC お役立ちナビ  p.140 コンピューターの情報を調べることができるサポートツールです。
●システム診断ツール  p.156 ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断できるツールです。
●ネットワーク診断ツール  p.158 コンピューターがネットワークにつながらない場合に、予想される原因と対処方法を確認するためのツールです。
●True DVD または PowerDVD  p.38、36 DVD や Blu-ray を再生するためのアプリです。 DVD-ROM ドライブ (再生アプリなし) 1 台のみ搭載の場合は添付されていません。
●Power2Go (書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時)  p.38 光ディスクメディアに書き込みを行うためのアプリです。

必要に応じてインストールするアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

●i-フィルター for マルチデバイス 30 日版  p.54 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングアプリです。
--

データの移行とバックアップ

本機を初めて使用するときに、次の作業を行います。

古いコンピューターからデータを移す

古いコンピューターからデータを移行します。

● Web ブラウザーの設定（お気に入りや Cookie など）

・ Internet Explorer

古いコンピューターに USB 記憶装置を接続し、Internet Explorer を起動して、次の場所で「お気に入り」や「Cookie」などを USB 記憶装置に保存します。

[スタート] - [Windows アクセサリー] - [Internet Explorer] - 画面右上の ☆ をクリック - 「お気に入りに追加」の右側の ▾ をクリック - 「インポートとエクスポート」 - 「ファイルにエクスポートする」

USB 記憶装置を本機に接続し、Internet Explorer を起動して、次の場所からデータをインポートします。

[スタート] - [Windows アクセサリー] - [Internet Explorer] - 画面右上の ☆ をクリック - 「お気に入りに追加」の右側の ▾ をクリック - 「インポートとエクスポート」 - 「ファイルからインポートする」

・ Microsoft Edge

本機の Internet Explorer のお気に入りを、Microsoft Edge にインポートできます。

次の場所でインポートします。

[スタート] - [Microsoft Edge] - 画面右上の … をクリック - 「設定」 - [ブラウザーデータのインポート] - 「インポート元」で「Microsoft Internet Explorer」を選択 - [インポート]

● メールデータ

メールアプリによって、データの移行方法は異なります。

※ アプリによっては、メールデータを移行できないものもあります。

・ メール

Windows 10 標準メールアプリで利用できるのは Web メールのため、古いコンピューターに保存されているメールデータを移行することはできません。

・ Outlook

Outlook にデータを移行する方法は、Office のヘルプをご覧ください。

● 文書 / 写真 / 音楽データなど

USB 記憶装置などに保存して移します。

バックアップをする

万一の故障などに備え、重要なデータはバックアップしておくことをおすすめします。
※ データなどの記憶内容の損害につきましては、当社では一切責任を負いかねます。

回復ドライブを作成する

事前に USB 記憶装置などに回復ドライブを作成しておくこと、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。

不具合発生時に対応できるように、回復ドライブを作成しておくことをおすすめします。
作成方法は、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?29541>

個人用データのバックアップ

個人用データ（文書、写真、音楽など）は、USB 記憶装置や、「OneDrive」などのオンラインストレージに保存することをおすすめします。

OneDrive の使用方法は、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?28772>

システムの保護を有効にする

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

「システムの復元」機能を使用するには、事前に「システムの保護を有効にする」設定が必要です。次の手順で設定を行ってください。

- 1** 「スタート」を右クリック - 「システム」 - 「システムの保護」をクリックします。
- 2** 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、ドライブの一覧から「Windows (C:) (システム)」を選択し、[構成] をクリックします。
- 3** 「システム保護対象」画面が表示されたら、「システムの保護を有効にする」を選択し、[OK] をクリックします。
- 4** 「システムのプロパティ」画面で [OK] をクリックします。

これでシステムの保護を有効にする設定は完了です。

1




コンピューターの基本操作

キーボードやマウス、光ディスクドライブの使用方法など、コンピューターの基本的な操作方法について説明します。

Windows 10 の基本操作	20
マウスを使う	24
キーボードを使う.....	26
HDD/SSD の概要.....	29
RAID 機能.....	31
光ディスクメディアを使う	35
USB 機器を使う	40
画面表示機能	42
サウンド機能	45
ネットワーク機能.....	48
インターネット / メールをする	51
インターネットを使用する際のセキュリティ対策.....	52
省電力機能	55
そのほかの機能.....	59

Windows 10 の基本操作

ここでは、Windows 10 の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了  p.20
- スタートメニュー  p.22
- 機能メニュー  p.23

起動と終了

Windows 10 の起動方法 / 終了方法を説明します。


起動方法

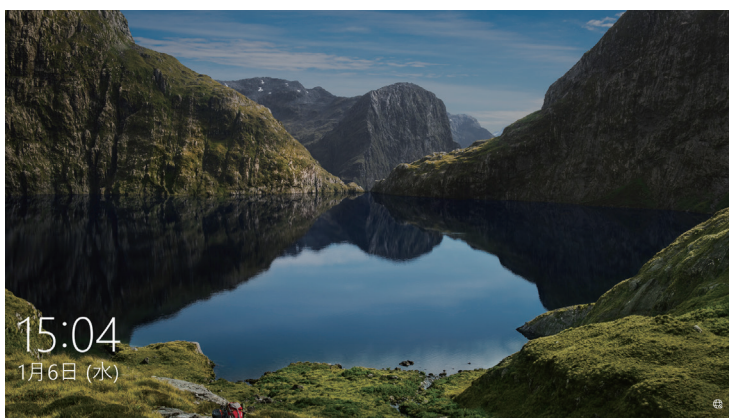
本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。



制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電気的な負荷を減らして、HDD/SSD などの動作を安定させます。

- 1** ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます。
- 2** 電源スイッチ () を押して、本機の電源を入れます。
- 3** PIN またはパスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。
ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。
 - 1** ロック画面をクリックします。



<イメージ>

- 2** 入力画面が表示されたら、PIN またはパスワードを入力して  を押します。

Windows が起動し、デスクトップが表示されます。

終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

● シャットダウン

通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

● PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

別のキーボードやマウスを接続したり、機器を増設・交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。

また、ドライバーやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。

 p.149 「再起動」

制限

- HDD/SSD アクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。


参考

終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとする時、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。

シャットダウン



シャットダウン方法は、次のとおりです。

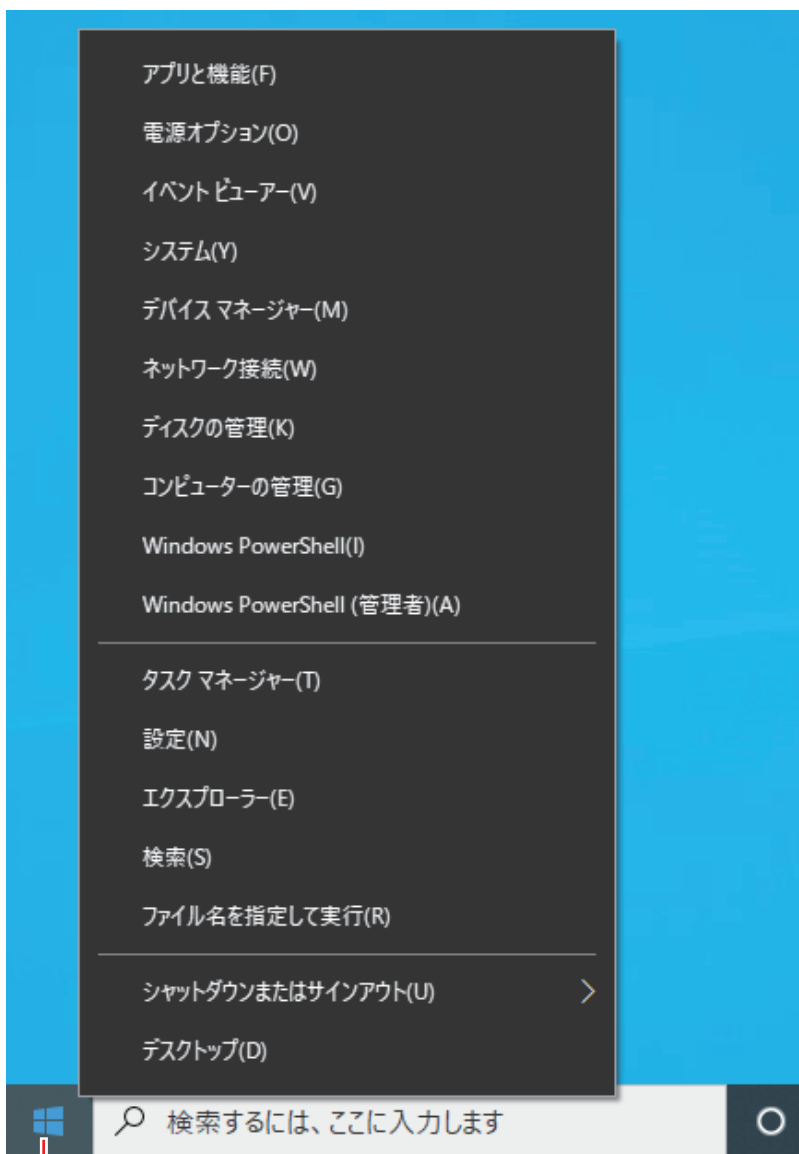
- 1** [スタート] –  (電源) をクリックし、表示された項目から「シャットダウン」をクリックします。

Windows が終了します。

- 2** ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。

機能メニュー

[スタート]を右クリックすると、次のメニューが表示されます。各項目へのアクセス時に便利です。
※キーボードの  +  でも表示できます。



右クリック

マウスを使う

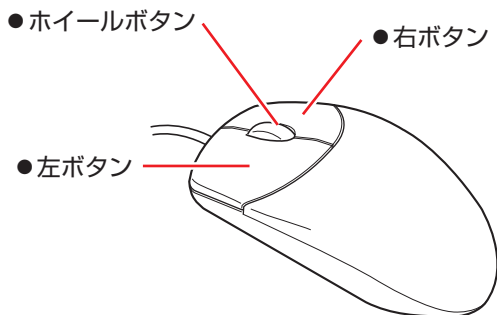
ここでは、一般的なマウスについて説明します。

マウスのマニュアルが添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

マウスの操作

！ 制限

- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用しないでください。マウスの動きがコンピューターに伝わりません。
- アプリによっては、ホイールボタンが使用できない場合があります。




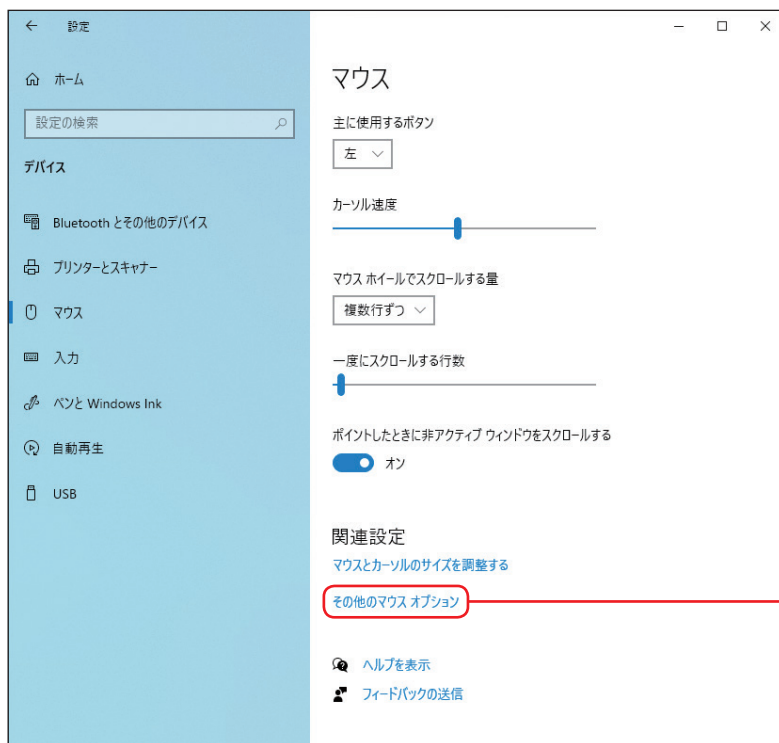
マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押します。
ダブルクリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押します。
右クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。
ドラッグアンドドロップ	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態でもうすを移動し、離します。
スクロール	ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うことができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオートスクロールを行うこともできます。

マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

[スタート] -  (設定) - 「デバイス」 - 「マウス」



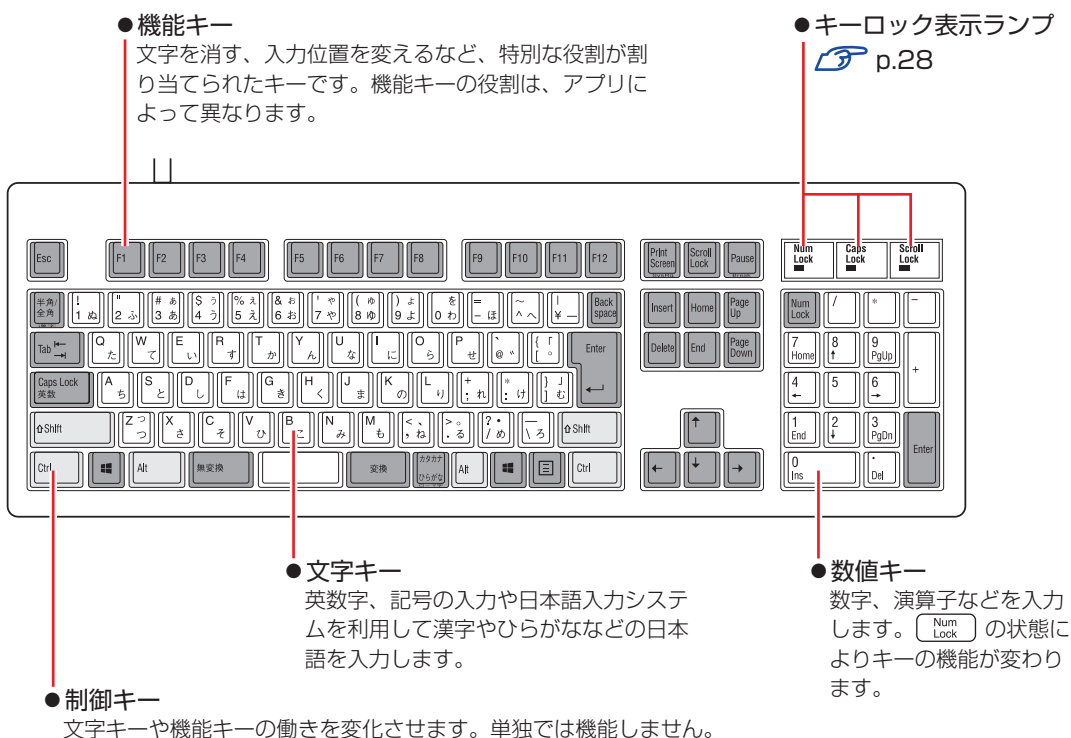
詳細な設定

キーボードを使う

ここでは、一般的なキーボードについて説明します。
キーボードのマニュアルが添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。




文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。
入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

入力モードの切り替え

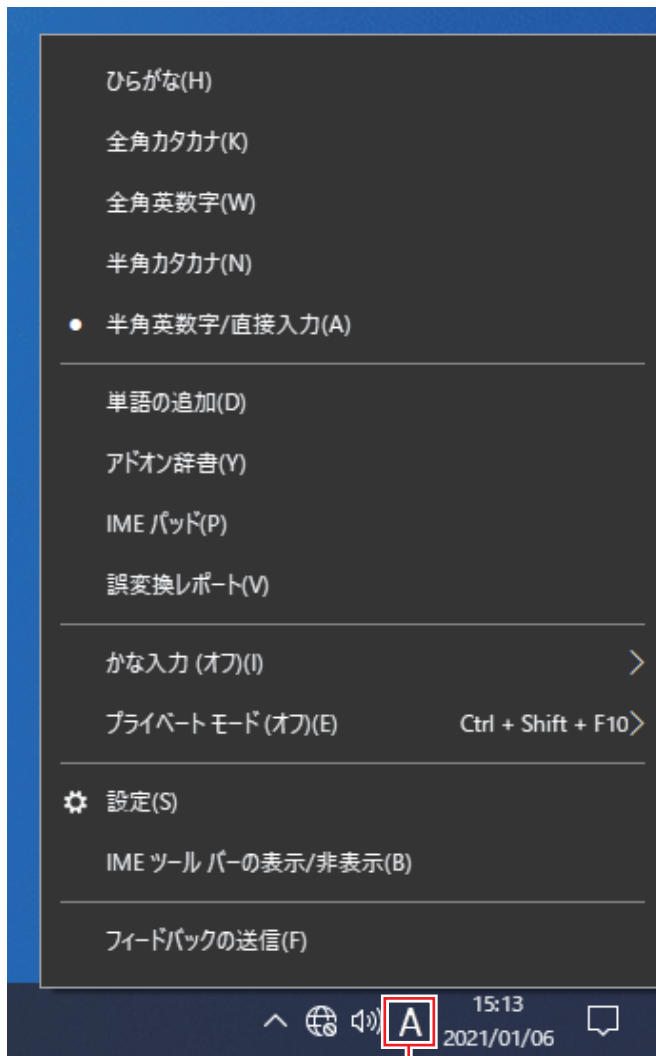
を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。
日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。
本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME

画面右下通知領域の入力モードボタンを右クリックすると、IME のオプションが表示されます。










入力モードボタン

MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

Num Lock	役割	数値キーの状態を切り替え
	切り替え	 を押します。
	点灯時	数値を入力
	消灯時	カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。
Caps Lock	役割	アルファベットの大文字 / 小文字の切り替え
	切り替え	 +  を押します。
	点灯時	大文字を入力
	消灯時	小文字を入力
Scroll Lock	役割	アプリによって異なります。
	切り替え	 を押します。

HDD/SSD の概要

本機には、記憶装置として HDD または SSD が搭載されています。

！ 制限

- HDD/SSD アクセスランプ点滅中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点滅中は、コンピューターが HDD/SSD に対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD/SSD 内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると HDD/SSD が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。
- HDD/SSD が故障した場合、HDD/SSD のデータを修復することはできません。

📖 参考

Windows がインストールされている装置

購入時、Windows は次のいずれかの装置にインストールされています。

- HDD/SSD ベイ (Port0) に装着されている HDD または SSD
- マザーボード上の M.2_1 (Gen4) スロット (p.101) に装着されている M.2 SSD

データのバックアップ

HDD/SSD に記録されている重要なデータは、光ディスクメディアや外付け HDD などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 HDD/SSD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

※ データなどの記憶内容の損害につきましては、当社では一切責任を負いかねます。

購入時のHDD/SSD領域

購入時、Windows がインストールされている HDD/SSD の領域は、次のように設定されています。

通常

領域	容量
システム	260MB
MSR	16MB
C ドライブ (Windows)	残り
リカバリー	約 1GB

パーティション分割サービスを選択された場合

領域	容量
システム	260MB
MSR	16MB
C ドライブ (Windows)	購入時に選択された容量
リカバリー	約 1GB
D ドライブ	残り



参考

パーティション分割サービス

パーティション分割サービスとは、Windows がインストールされている HDD/SSD の領域を、C ドライブ、D ドライブに分割した状態でコンピューターをお届けするサービスのことです。



制限

- ・「リカバリー領域」は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻す (p.159) ためのデータが設定されています。
- ・C ドライブの領域変更(分割など)は行わないでください。動作保証していません。

RAID 機能

RAID とは、同一容量の HDD/SSD を複数組み合わせるシステムのことです。

※購入時に RAID 構成を選択した場合のみ、RAID 機能を使用することができます。

※購入時に RAID ボードでの RAID 構成を選択された場合は、[別紙](#)『RAID ボード取扱説明書』をご覧ください。



制限

M.2 SSD 2 基で RAID が構成されている場合、PCI-Express x4 Gen3 の動作となります。

RAIDの種類

本機で使用できる RAID は、RAID1 です。

種類	別名	HDD/SSD 必要数	特徴
RAID1	ミラーリング	2 基	2 基の HDD/SSD に同時に同じデータを書き込む。 一方の HDD/SSD が故障しても、もう一方の HDD/SSD からデータを復旧することができる。

RAID状態の確認

RAID の状態は「RAIDXpert2」で確認できます。

「RAIDXpert2」画面は次の手順で表示します。

[スタート] - [AMD-RAID] - [RAIDXpert2]

RAIDの再構築

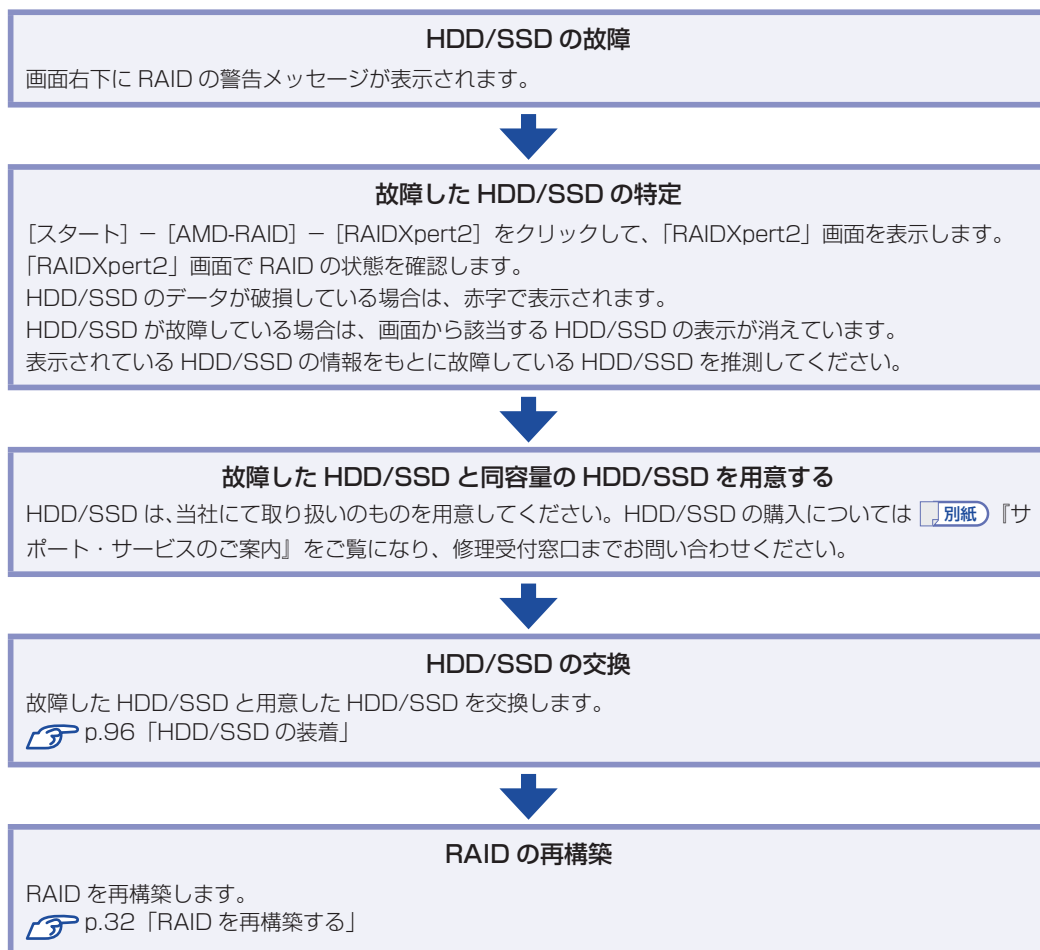
HDD/SSD が故障した場合の RAID の再構築方法を説明します。

※購入時に RAID ボードでの RAID 構成を選択された場合は、再構築方法が異なります。

 『別紙』『RAID ボード取扱説明書』をご覧ください。

RAID の再構築の流れ

次の流れに従って、RAID を再構築してください。



RAID を再構築する

RAID の再構築は、「RAIDXpert2」で行います。

RAID の再構築方法は、次のとおりです。

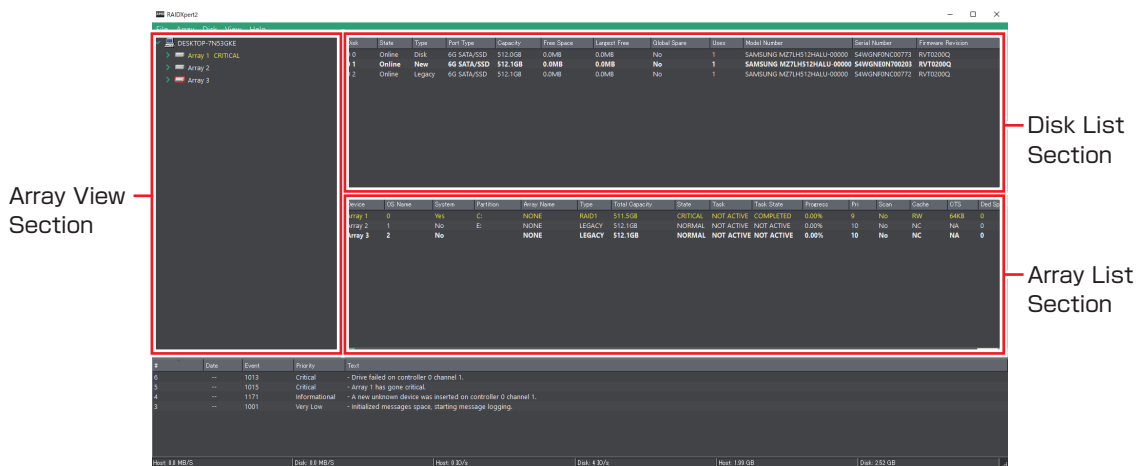
※購入時に RAID ボードでの RAID 構成を選択された場合は、再構築方法が異なります。

 『別紙』『RAID ボード取扱説明書』をご覧ください。

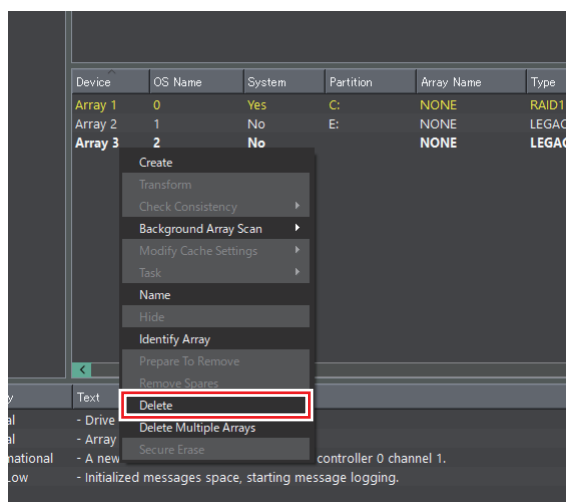
1 本機を起動します。

2 [スタート] – [AMD-RAID] – [RAIDXpert2] を右クリック – [その他] – 「管理者として実行」を選択します。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
「RAIDXpert2」画面が表示されます。

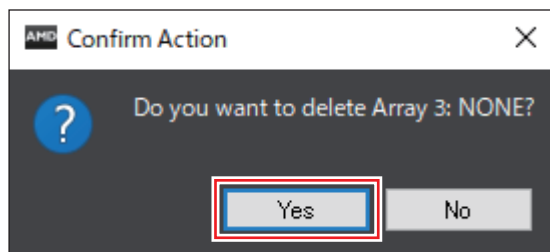


3 「Array List Section」で再構築する RAID 項目を右クリックし、表示されたメニューから「Delete」を選択します。



制限 誤って対象外の RAID 項目を削除しないように注意してください。

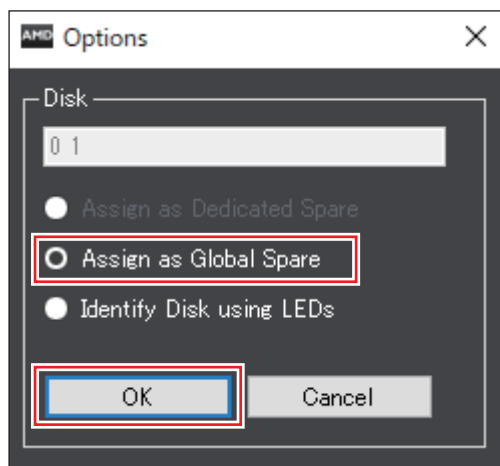
4 次のメッセージが表示されたら、[YES] を選択します。



「Array List Section」から RAID 項目が消えます。

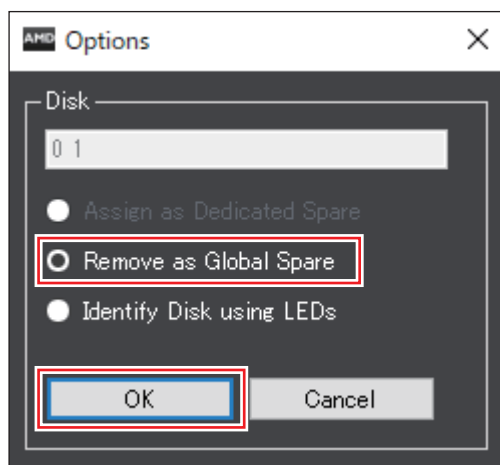


- 5 「Disk List Section」で交換した HDD/SSD をダブルクリックします。
- 6 表示されたメニューから「Assign as Global Spare」を選択し、[OK] を押します。



RAID の再構築が開始され、「Array View Section」に進捗状況が表示されます。

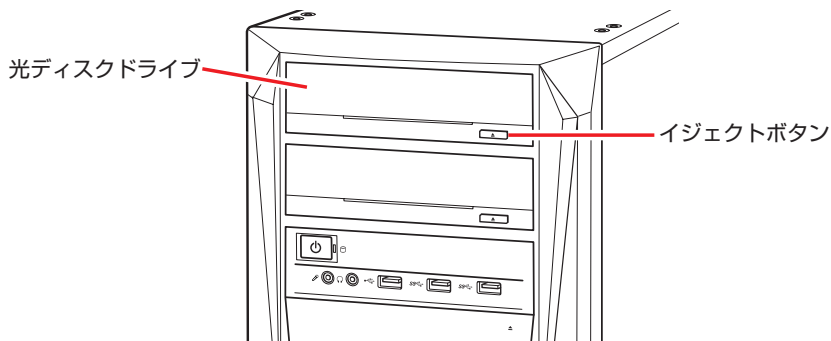
- 7 RAID の再構築が終了したら、「Disk List Section」で交換した HDD/SSD をダブルクリックします。
- 8 表示されたメニューから「Remove as Global Spare」を選択し、[OK] を押します。



これで RAID の再構築は完了です。

光ディスクメディアを使う

本機には、購入時に選択されたシリアル ATA 仕様の光ディスクドライブが搭載されています。



イジェクトボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。



警告

光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。飛び散って、けがをすることがあります。



注意

光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。けがをすることがあります。



制限

- 光ディスクドライブを長期間使用しないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが開かないことがあります。定期的（3 ヶ月に 1 回程度）にイジェクトボタンを押して、ディスクトレイの開閉を行うことをおすすめします。
- 本機では、CD（コンパクトディスク）の規格に準拠しない「コピーコントロール CD」などの特殊ディスクは、動作保証していません。本機で動作しない特殊ディスクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

光ディスクドライブのマニュアルを見る

光ディスクドライブの種類によって、使用できるメディアや機能は異なります。お使いの光ディスクドライブの説明は、次をご覧ください。



【スタート】 - 【PCお役立ちナビ】 - 【マニュアルびゅうわ】 - 『光ディスクドライブ取扱説明書』



光ディスクメディア使用時の注意

光ディスクメディアは、次の点に注意して正しく使用してください。

- アクセスランプ点滅中にメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。
- メディアの出し入れのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- 結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）します。使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本機では、楕円などの通常と異なった形状のメディアは使用できません。

DVD/Blu-rayの再生

DVD/Blu-ray の再生には、次のアプリを使用します。

- PowerDVD (Blu-ray ドライブ搭載時)  p.36
- True DVD (Blu-ray ドライブ以外の光ディスクドライブ搭載時)  p.38

制限

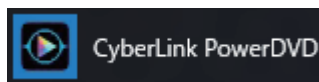
- DVD-ROM ドライブ（再生アプリなし）1 台のみ搭載の場合、再生アプリは添付されていません。
- 再生できるメディアの種類は光ディスクドライブにより異なります。

PowerDVD

Blu-ray ドライブ搭載時

PowerDVD は次の場所から起動します。

【スタート】 - 「CyberLink PowerDVD ...」 - 「CyberLink PowerDVD ...」



PowerDVD の詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。画面右上の「？」をクリックすると、ヘルプが表示されます。

制限

- HDCP 非対応ディスプレイにデジタル接続時、CPRM 対応 DVD の再生はできません。
- ブルーレイを再生する場合は、HDCP 対応ディスプレイにデジタル接続してください。
- 複製表示でのブルーレイの再生はサポートしていません。

CPRM で著作権保護された DVD メディアを再生するには

PowerDVD は CPRM で著作権保護された DVD メディアの再生に対応していますが、初回の再生時にインターネットへの接続が必要です。

初めて CPRM で著作権保護された DVD メディアを再生する際にメッセージが表示されるので、インターネットに接続してください。以降は、CPRM で著作権保護されたメディアの再生が可能になります。

BD メディアを再生するには

Blu-ray Disc (BD) は、著作権保護技術として AACS を採用しており、随時更新されています。PowerDVD にも AACS キーが内蔵されており、定期的に AACS キーを更新しないと BD メディアを再生できない場合があります。

PowerDVD の使用時に次のようなメッセージが表示されたら、内容をご確認の上、CyberLink Web サイトに接続して PowerDVD のアップデートバージョンをダウンロードし、AACS キーの更新を行ってください。

- ・「引き続きこのコンテンツを再生するには、CyberLink PowerDVD をアップデートする必要があります。」

※ AACS キーを更新する際は、インターネットに接続してください。

PowerDVD サポート窓口

PowerDVD に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

電話番号：0570-080-110 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルがご使用できない場合は下記番号をご利用ください。
03-5205-7670

営業時間：10:00～13:00、14:00～17:00 (土・日・祝日・休業日を除く)

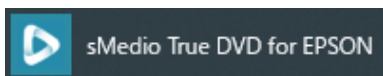
カスタマーサポートページ：<https://jp.cyberlink.com/support/index.html>


True DVD

Blu-ray ドライブ以外の光ディスクドライブ搭載時

True DVD は次の場所から起動します。

[スタート] - 「sMedio True DVD for EPSON」



True DVD の詳しい使用 방법은、ヘルプ  をご覧ください。



制限

- HDCP 非対応ディスプレイにデジタル接続時、DVD の再生はできません。
- CPRM 対応 DVD を再生する場合は、HDCP 対応ディスプレイにデジタル接続してください。

True DVD サポート情報

True DVD に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。
※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

sMedio テクニカルサポート、True DVD サポート窓口

メール : support@smedio.co.jp

営業時間 : 月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:30～17:30
(祝日、年末年始および sMedio 社指定休業日を除く)

サポートページ : <http://www.smedio.co.jp/support/>

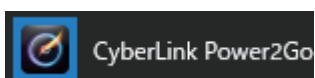
光ディスクメディアへの書き込み(Power2Go)

書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時

ライティングアプリ「Power2Go」を使用すると、光ディスクメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。

Power2Go は次の場所から起動します。

[スタート] - 「CyberLink Power2Go」 - 「CyberLink Power2Go」



Power2Go の詳しい使用 방법은、ヘルプをご覧ください。



制限

- 「Power2Go」と Windows 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。
- 作成したメディアは、一部のプレイヤーで再生できない場合があります。

書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

- 速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、次をご覧ください。



【スタート】 - 【PCお役立ちナビ】 - 【マニュアルびゅうわ】 - 『光ディスクドライブ取扱説明書』

- 省電力機能を無効にする

メディアへの書き込み時に、Windows が省電力状態に切り替わると、データ転送エラーが起き、書き込みに失敗して、メディアに記録したデータが失われたり、メディアが使用できなくなる可能性があります。

書き込みを始める前に、省電力状態に移行しないように設定してください。



p.57 「時間経過で移行させない」

省電力状態に移行する場合は、必ず光ディスクドライブからメディアを取り出してから行ってください。

Power2Go サポート窓口

Power2Go に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

電話番号：0570-080-110（ナビダイヤル）

ナビダイヤルがご使用できない場合は下記番号をご利用ください。
03-5205-7670

営業時間：10:00～13:00、14:00～17:00（土・日・祝日・休業日を除く）

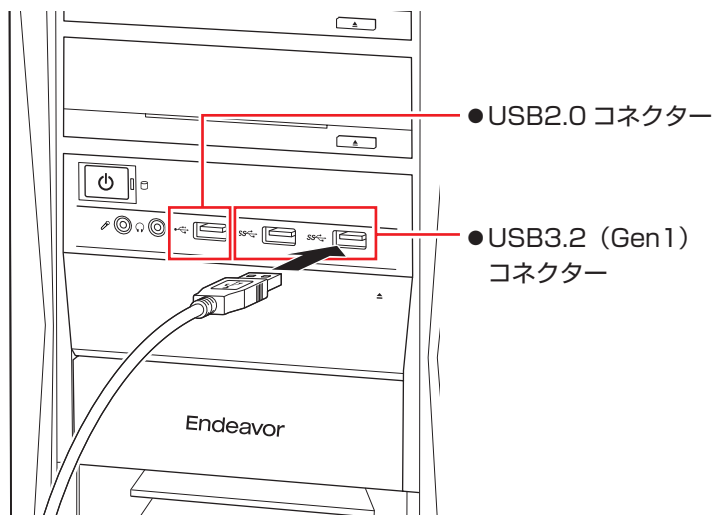
カスタマーサポートページ：<https://jp.cyberlink.com/support/index.html>

USB 機器を使う

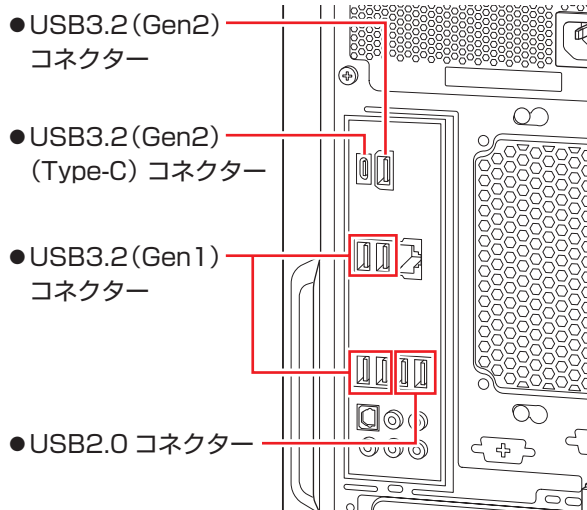
本機には次の USB コネクタが搭載されています。

※ 転送速度は、本機のコネクタと接続する USB 装置の組み合わせによります。

コネクタ名	形状	搭載数と位置	接続する機器
USB2.0	Type-A	1 (前面)、2 (背面)	USB 機器
USB3.2 (Gen1)		2 (前面)、4 (背面)	
USB3.2 (Gen2)		1 (背面)	
USB3.2 (Gen2)	Type-C	1 (背面)	



<前面>



<背面>

USBコネクターの機能を無効にする

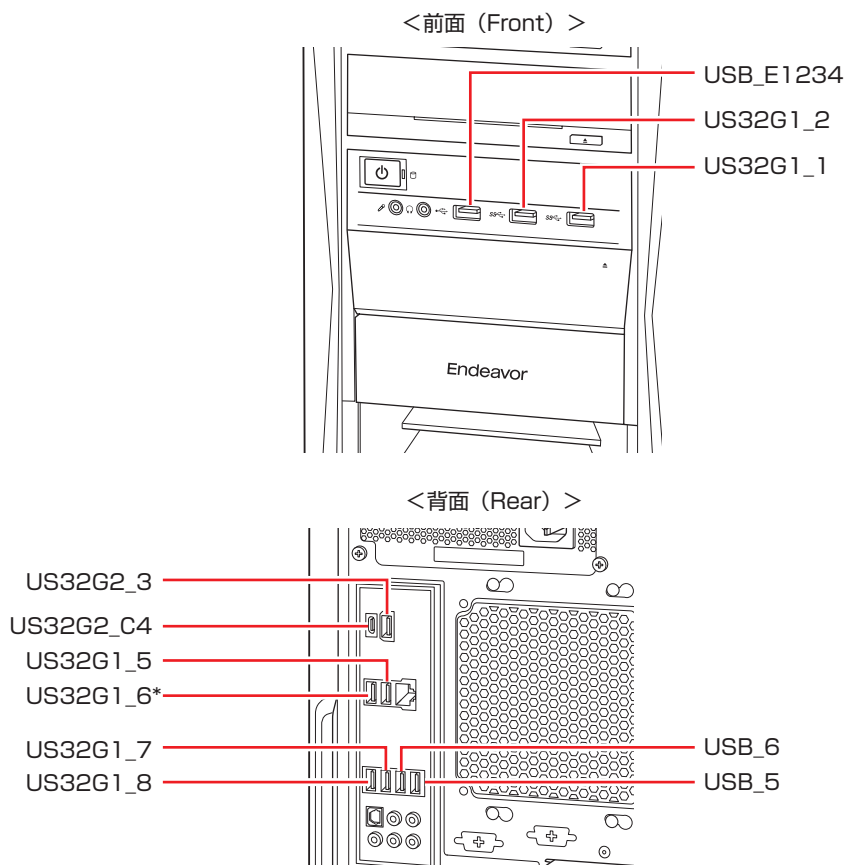
本機では、USB コネクタごとに、機能を無効に設定することができます。
設定は「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目で行います。

「Advanced Mode」画面 - 「Advanced」メニュー画面 - 「USB Configuration」 - 「USB Single Port Control」

 p.111 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.127 「Advanced メニュー画面」

USB コネクターの位置は次のとおりです。設定の際に確認してください。



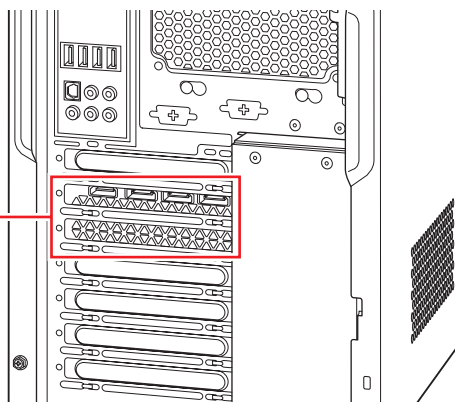
*「US32G1_6」は無効にできません。

画面表示機能

本機では、拡張スロットに装着されているグラフィックスボードの機能を使用して画面表示を行います。

搭載されているコネクタや画面設定のユーティリティーはグラフィックスボードにより異なります。

グラフィックスボード
(コネクタはボード
により異なります)




制限

グラフィックスボードのディスプレイポートまたは Type-C コネクタから出力時、ディスプレイによっては、省電力状態から復帰した際にウィンドウの位置や画面の解像度が変わるなどの不具合が発生することがあります。

このような場合は次のいずれかの方法をとってください。


- ディスプレイ側で設定する
- 省電力状態への移行を無効にする

 p.58 「画面が正しく表示されない場合」

ディスプレイから音声出力する方法については  p.46 「音声出力先の設定」をご覧ください。

表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

[スタート] -  (設定) - 「システム」 - 「ディスプレイ」





The screenshot shows the Windows Settings application with the 'Display' section selected. The left sidebar lists various system settings, and the main pane shows display configuration options. Red boxes and arrows highlight specific areas:

- ディスプレイ** (Display) section: A red box highlights the display selection area with two numbered boxes (1 and 2). An arrow points to it with the text: **設定するディスプレイを選択** (Select the display to set).
- 拡大縮小とレイアウト** (Scaling and layout) section: A red box highlights the 'ディスプレイの解像度' (Display resolution) dropdown menu, which is set to '1920 x 1080 (推奨)'. An arrow points to it with the text: **解像度を設定** (Set resolution).
- マルチディスプレイ** (Multi-display) section: A red box highlights the '複数のディスプレイ' (Multiple displays) dropdown menu, which is set to '表示画面を拡張する' (Extend the display). An arrow points to it with the text: **表示方法を変更** (Change display method).

画面表示の切り替え方法






画面表示の切り替え方法には、次の2つがあります。

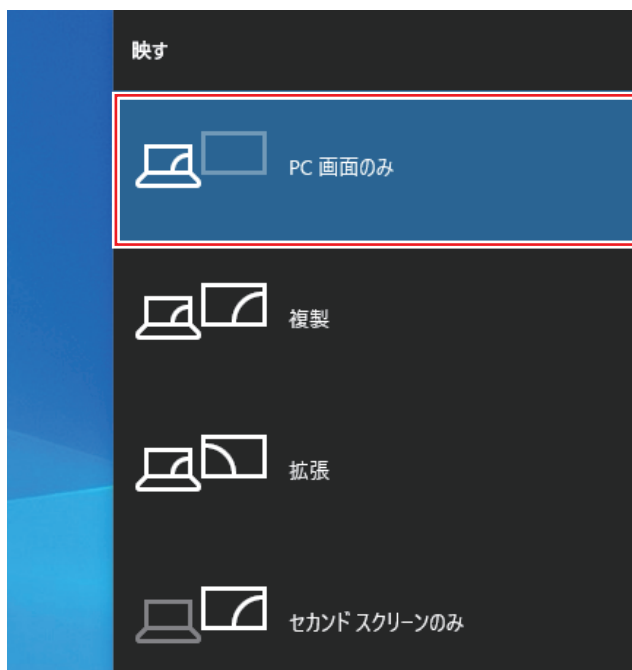
- キーボードで切り替える  p.44
簡単なキー操作で画面表示の切り替えができます。
- 「ディスプレイ」画面で切り替える  p.43
画面表示の切り替えと詳細な設定ができます。

制限

- 解像度の異なるディスプレイを接続して複製表示に切り替えると、解像度は低い方の解像度で表示されます。
- コラージュ表示を行う場合は、グラフィックスボードのユーティリティーで切り替えてください。

キーボードで切り替える

 +  を押すと、画面表示の一覧が表示されます。
  を押して項目を選択し、 を押して決定します。



制限

- 動画の再生中やゲームアプリの起動時には、キーボードでの表示切り替えができないことがあります。
- キー操作での切り替えができない場合は、「ディスプレイ」画面 (p.43) で切り替えてください。

サウンド機能

本機には、サウンド機能が搭載されています。

本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力するには、スピーカーを接続する必要があります。

オーディオ機器の接続

本機には、オーディオ機器を接続するためのコネクタが搭載されています。

各コネクタの位置は、次のとおりです。



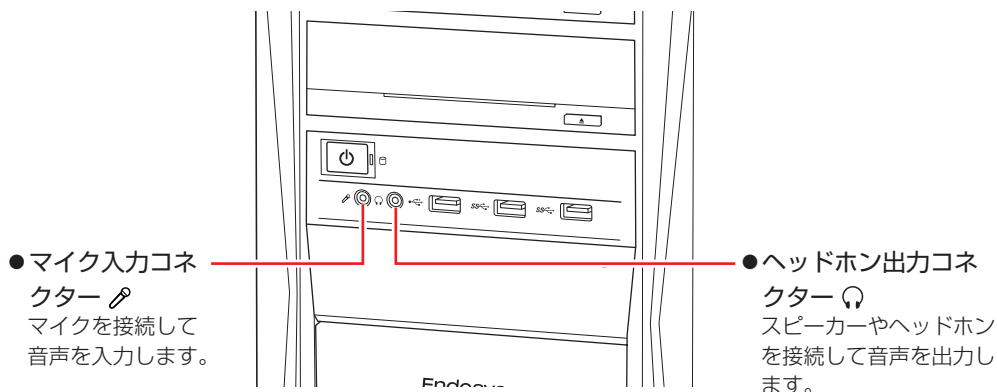
ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



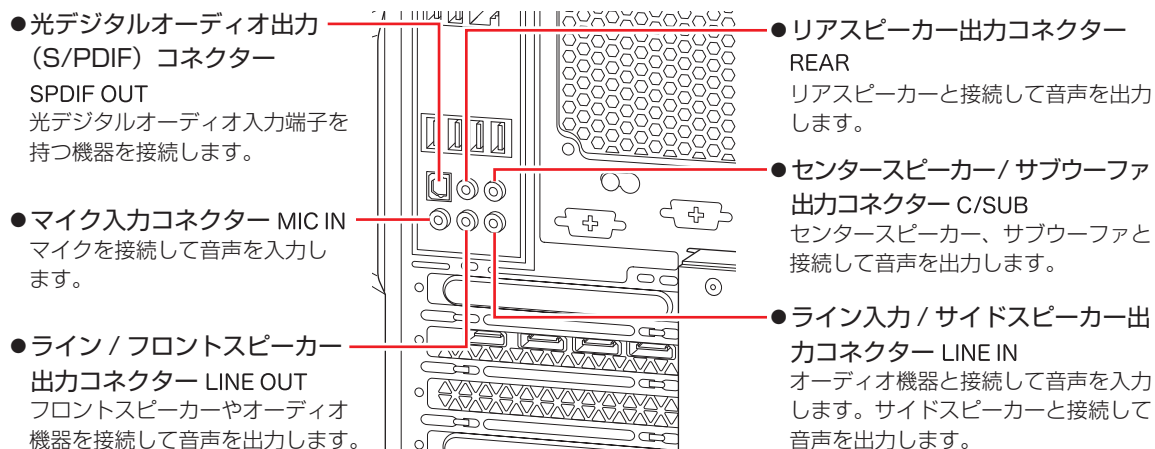
使用できるマイク

マイク入力コネクタに接続して使用できるマイクは、プラグインパワー対応のコンデンサーマイクです。

前面



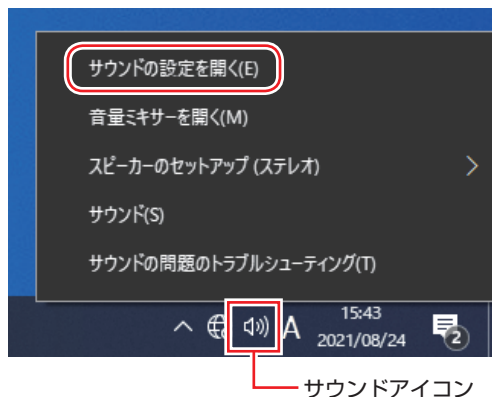
背面



音声出力先の設定

音声の出力先を変更したい場合は、次の手順で行ってください。ここでは音声出力先を HDMI 接続のディスプレイに設定する方法を説明します。

- 1 画面右下通知領域の「サウンド」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「サウンドの設定を開く」を選択します。



- 2 サウンドの設定画面が表示されたら、「出力デバイスを選択してください」項目で HDMI 接続のディスプレイを選択します。



これで設定は完了です。HDMI 接続のディスプレイから音声が出力されます。

音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。


画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコンをクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを左右にドラッグして調節します。

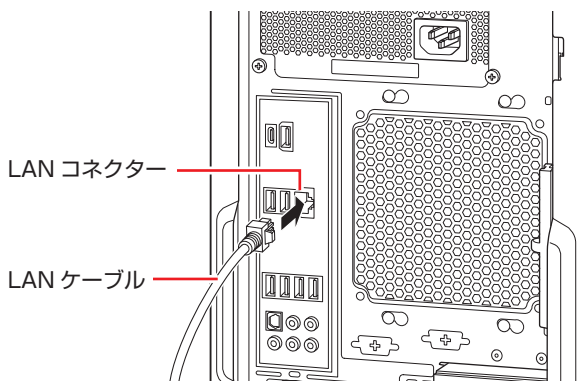


ネットワーク機能

本機には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-T に対応したネットワーク機能（有線 LAN）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面の LAN コネクタ（) に市販の LAN ケーブルを接続します。




ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LAN ケーブルやハブ、サーバーなどが必要です。そのほかに、Windows 上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定なども必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

！ 制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態になると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する
 p.57 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。
- 本機のネットワーク機能では、リピーター・ハブを使用できません。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

WakeUp On LAN

WakeUp On LANを使用すると、ネットワークからの信号により本機を起動することができます。



シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行えません。

WakeUp On LAN を使用する場合は、次の作業が必要です。

- ネットワークアダプターの設定  p.49
- UEFI の設定*  p.50

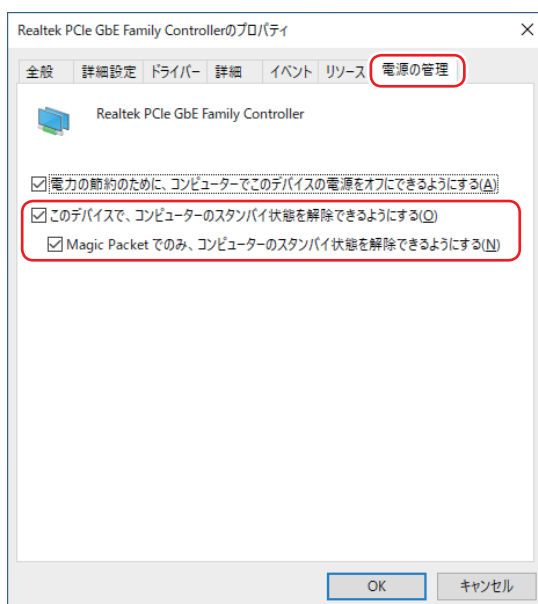
* シャットダウン状態から起動させる場合は設定してください。

ネットワークアダプターの設定

ネットワークアダプターを次の状態に設定してください。

[スタート] を右クリック - 「デバイスマネージャー」 - 「ネットワークアダプター」 - 「Realtek PCIe...」

- 「詳細設定」 タブ
 - ・ ウェイク・オン・マジック・パケット：有効
 - ・ ウェイク・オン・パターン・マッチ：無効
- 「電源の管理」 タブ
 - ・ 「このデバイスで…」：チェックあり
 - ・ 「Magic Packet でのみ…」：チェックあり



UEFI の設定

シャットダウン状態から起動させる場合は、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を有効にしてください。

「Advanced Mode」画面 - 「Advanced」メニュー画面 - 「APM Configuration」 - 「Power On By PCI-E」：[Enabled]（有効）

 p.111 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.127 「Advanced メニュー画面」



参考

Wakeup On LAN を設定している場合

UEFI の設定で、「Power On By PCI-E」が有効に設定されているときに、電源コードを抜き、再び接続するとコンピューターが一瞬起動する場合があります。これは、不具合ではありません。

リモートブート

リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上から Windows をインストールすることができます。

インターネット / メールをする

ここでは、インターネットへの接続や Web ブラウザー、メールなどについて説明します。

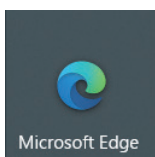
インターネットに接続する

インターネットを利用するには、プロバイダーとの契約が必要です。
インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。
※外部ネットワークに接続する際は、電気通信事業法に基づく認証機器に接続してください。

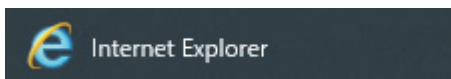
Web ブラウザー

Web ページの閲覧には「Microsoft Edge」または「Internet Explorer」を使用します。

- Microsoft Edge



- Internet Explorer



メールをする

電子メールの利用には「メール」を使用します。



Windows 10 標準メールアプリで利用できるのは Web メールです。初回、メールアプリを起動すると、サインイン画面が表示されます。お持ちのメールアカウントでサインインしてください。



参考

Web メールとは

メールの作成や送受信、閲覧をインターネット上で行います。メールデータはインターネット上のサーバーに保存されているため、別の端末を使用して外出先からもメールを利用することができます。

Outlook を使う

Office がインストールされている場合は、Outlook を使用することができます。Outlook には、メール利用のほか、スケジュール管理などの機能があります。使用方法は Office のヘルプをご覧ください。

インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。


ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

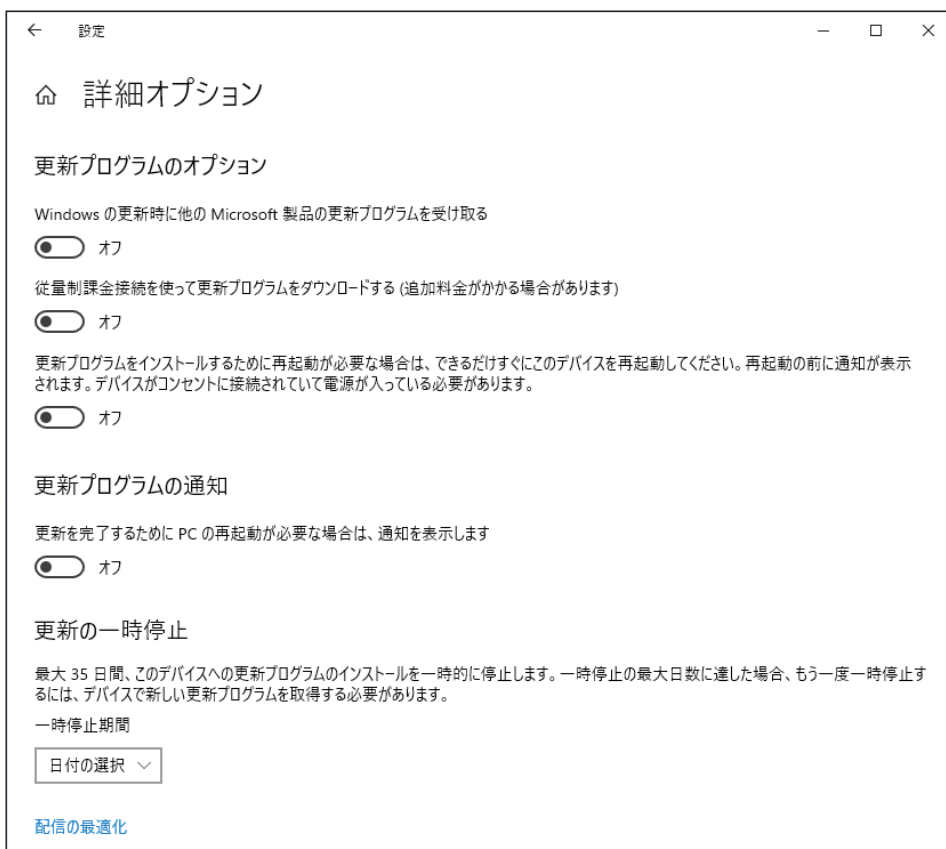
Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows 10 は自動で Windows Update が行われます。

Windows Update の設定は次の場所で確認できます。


[スタート] -  (設定) - 「更新とセキュリティー」 - 「Windows Update」 - 「詳細オプション」

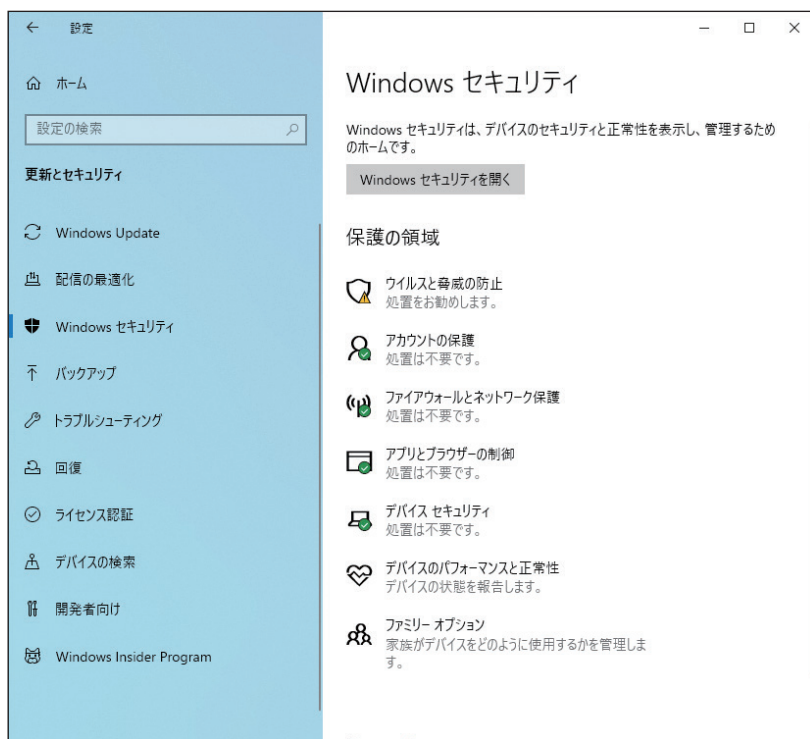


Windows セキュリティ

Windows 10 には、最新のウイルス対策を提供する「Windows セキュリティ」が含まれており、Windows をセットアップすると、自動的に機能が有効になります。

Windows セキュリティの状況確認と各機能の詳細設定は次の場所で行います。

[スタート] –  (設定) – 「更新とセキュリティ」 – 「Windows セキュリティ」



<イメージ>



参考

市販のセキュリティ対策アプリを使用する

市販のセキュリティ対策アプリをインストールすると、機能の競合を防ぐため、Windows セキュリティは無効になります。

Webフィルタリングアプリ

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

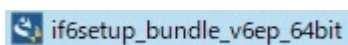
i-フィルター for マルチデバイス 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i-フィルター for マルチデバイス 30 日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i-フィルター for マルチデバイス 30 日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター for マルチデバイス 30 日版のインストールと申し込み

i-フィルター for マルチデバイス 30 日版は、次の場所からインストールして申し込みを行ってください。

[スタート] – [Windows アクセサリ] – [Internet Explorer] – 画面右上の ☆ をクリック – お気に入りの一覧から「[i-フィルター for マルチデバイス 30 日版] のインストール」を選択 – 「if6setup_bundle_v6ep_64bit(.exe)」をダブルクリック



- ※ インストールと申し込みは、インターネットに接続した状態で行ってください。
- ※ 市販の Web フィルタリングアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、i-フィルター for マルチデバイス 30 日版はインストールしないでください。



参考

ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティーアプリのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター for マルチデバイス 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。

この場合は、「i-フィルター for マルチデバイス 30 日版」の使用を許可してください。

i-フィルター for マルチデバイス 30 日版のサポート

i-フィルター for マルチデバイス 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。
なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

省電力機能




ここでは、本機の省電力機能について説明します。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・ 周辺機器を接続している
 - ・ アプリを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 -  p.57 「時間経過で移行させない」
 - ・ 光ディスクメディアへの書き込み時：書き込みに失敗する可能性
 - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・ 外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ ネットワーク機能を使っでの通信時：通信が切断される可能性
 - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
 - ・ グラフィックスボードのディスプレイポートまたは Type-C コネクタから出力時：開いていたアプリのウィンドウが別のディスプレイ上に移動する可能性、画面の解像度が変わる可能性
 -  p.58 「画面が正しく表示されない場合」
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・ 省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - ・ 再起動する
 - ・ 省電力状態に移行しないように設定する
 -  p.57 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- ディスプレイの電源を切る
省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。
- スリープ
作業中の内容を一時的に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。
- 休止状態
作業内容をHDD/SSDに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

省電力状態に移行する方法

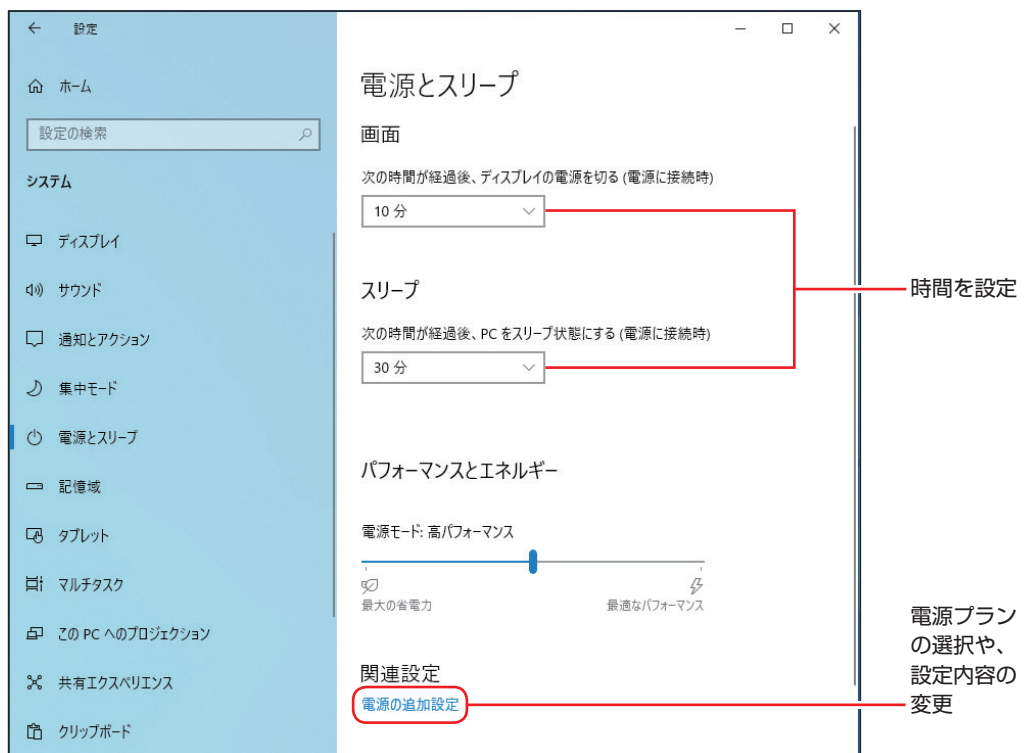
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

【スタート】 -  (設定) - 「システム」 - 「電源とスリープ」




The screenshot shows the Windows Settings application with the 'Power & Sleep' (電源とスリープ) settings page open. The left sidebar shows the navigation menu with 'System' (システム) selected. The main content area is divided into sections: 'Screen' (画面), 'Sleep' (スリープ), 'Performance & Energy' (パフォーマンスとエネルギー), and 'Related settings' (関連設定). The 'Screen' section has a dropdown menu set to '10分' (10 minutes). The 'Sleep' section has a dropdown menu set to '30分' (30 minutes). A red box highlights these two dropdown menus, with a red line pointing to the text '時間を設定' (Set time). The 'Performance & Energy' section shows a slider for 'Power mode: High performance' (電源モード: 高パフォーマンス) with a blue indicator. A red box highlights the 'Related settings' section, specifically the 'Power additional settings' (電源の追加設定) link, with a red line pointing to the text '電源プランの選択や、設定内容の変更' (Change power plan selection or settings).

時間経過で移行させない

光ディスクメディアなどに書き込みを行う場合は、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
[スタート] -  (電源) から項目を選択する	スリープ 休止状態*

*購入時は表示されません。表示させるには、次の設定を行います。

[スタート] を右クリック - 「電源オプション」 - 「電源の追加設定」 - 「電源ボタンの動作を選択する」 - 「現在利用可能ではない設定を変更します」 - 「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェック [変更の保存] をクリック

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ () で確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示
通常	点灯 (青色)
ディスプレイの電源切	点灯 (青色)
スリープ	点滅 (青色)
休止状態	消灯
シャットダウン (電源切)	消灯

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯 (青色)	マウスやキーボードを操作する
スリープ	点滅 (青色)	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを押す● キーボードを操作する● マウスでクリックする
休止状態	消灯	電源スイッチを押す

画面が正しく表示されない場合

グラフィックボードのディスプレイポートまたは Type-C コネクタから出力時

ディスプレイポートまたは Type-C コネクタの仕様で、ウィンドウの位置や画面の解像度が変わるなどの不具合が発生することがあります。不具合を回避するには、以下の2つの方法があります。

<ディスプレイ側で設定する>

お使いのディスプレイの設定変更で対応できる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルで対処方法をご確認いただくか、ディスプレイの販売元にお問い合わせください。

<省電力状態への移行を無効にする>

時間経過で省電力状態へ移行する設定を無効にする手順は次のとおりです。

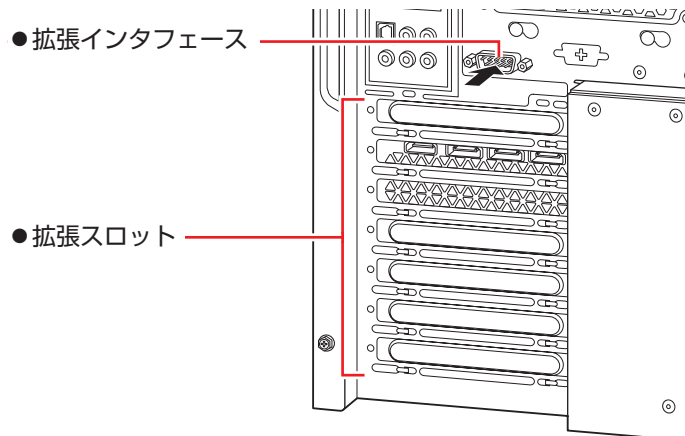
- 1** [スタート] を右クリック - 「電源オプション」 - 「電源の追加設定」をクリックします。
- 2** 「電源オプション」画面が表示されたら、使用している電源プランの「プラン設定の変更」をクリックします。
- 3** 「プラン設定の編集」画面が表示されたら、「ディスプレイの電源を切る」と「コンピューターをスリープ状態にする」項目を「適用しない」に設定し、[変更の保存] をクリックします。

そのほかの機能

ここでは、そのほかの機能について説明します。

シリアルコネクター(オプション)

本機購入時にオプション選択された場合、次のいずれかの場所にシリアルコネクターが搭載されています。シリアルコネクターには、シリアルコネクターに対応した機器を接続します。



※拡張インタフェースにシリアルコネクターが搭載されている場合のイラストです。

本機ではシリアルポートで使用するアドレスや割り込み信号を変更することができます。通常はシリアルポートの設定を変更する必要はありません。使用する周辺機器で指示がある場合には、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を変更してください。

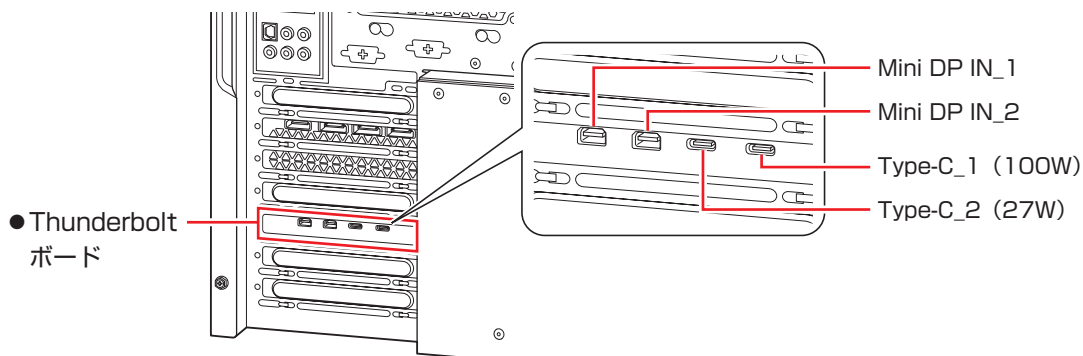
「Advanced Mode」画面 - 「Advanced」メニュー画面 - 「Onboard Devices Configuration」 - 「Serial Port Configuration」 - 「Change Settings」

 p.111 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.127 「Advanced メニュー画面」

Thunderboltボード(オプション)

本機購入時にオプション選択された場合、本機背面の拡張スロットには Thunderbolt ボードが搭載されています。Thunderbolt ボードには、Thunderbolt ボードに対応した機器を接続します。



Type-C コネクタは、Thunderbolt 対応デバイスや USB デバイスと接続して高速で通信することができます。また、映像出力*と USB Power Delivery に対応しています。

* 添付のケーブルを使用して、グラフィックスボードのディスプレイポートから入力が必要です。ディスプレイポート非搭載のグラフィックスボードの場合は映像出力不可となります。グラフィックスボードからの入力とディスプレイへの出力は次の順番で行ってください。

- 1 台目：Mini DP IN_1 (入力 1) と Type-C_1 (出力 1)
- 2 台目：Mini DP IN_2 (入力 2) と Type-C_2 (出力 2)



制限

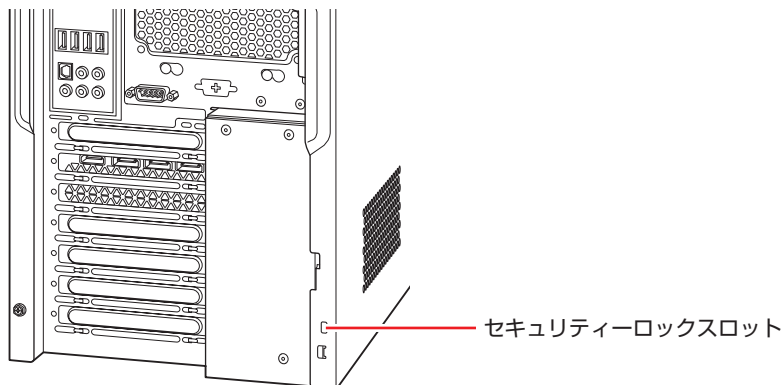
電源ユニット (650W) 搭載時、USB Power Delivery の最大出力は 15W になります。

セキュリティー機能

本機には、次のセキュリティー機能が搭載されています。

セキュリティーロックスロット

本機背面には、セキュリティーロックスロットが搭載されています。ここには、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーワイヤーロック）を取り付けます。

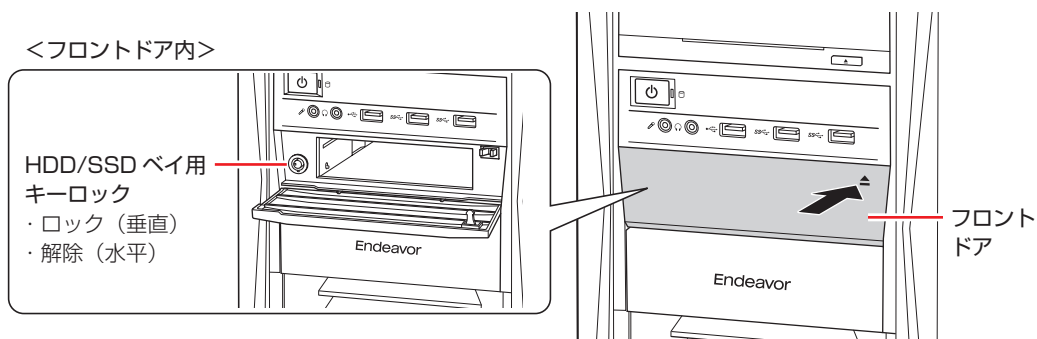


当社では、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーワイヤーロック）を取り扱っています。詳しくは当社のホームページをご覧ください。
ホームページのアドレスは次のとおりです。

<https://shop.epson.jp/>

HDD/SSD ベイ用キーロック

フロントドア内には、HDD/SSD ベイ用キーロックが搭載されており、HDD/SSD の不正持ち出しや盗難の抑止に、鍵をかけることができます。
フロントドアは右上のアイコン部分（▲）を押して開けてください。



< HDD/SSD ベイ用キー >



2

装置の増設・交換

メモリーや拡張ボード、ドライブ類の増設・交換方法について説明します。

増設・交換できる装置	64
作業時の注意	65
装置装着時の準備作業	66
メモリーの装着	73
拡張ボードの装着	82
ドライブ装置とコネクタの接続	88
5.25 型ドライブの装着	89
フロント I/O ユニットの位置変更	93
HDD/SSD の装着	96
コンピューター内部のケーブル接続	106

増設・交換できる装置

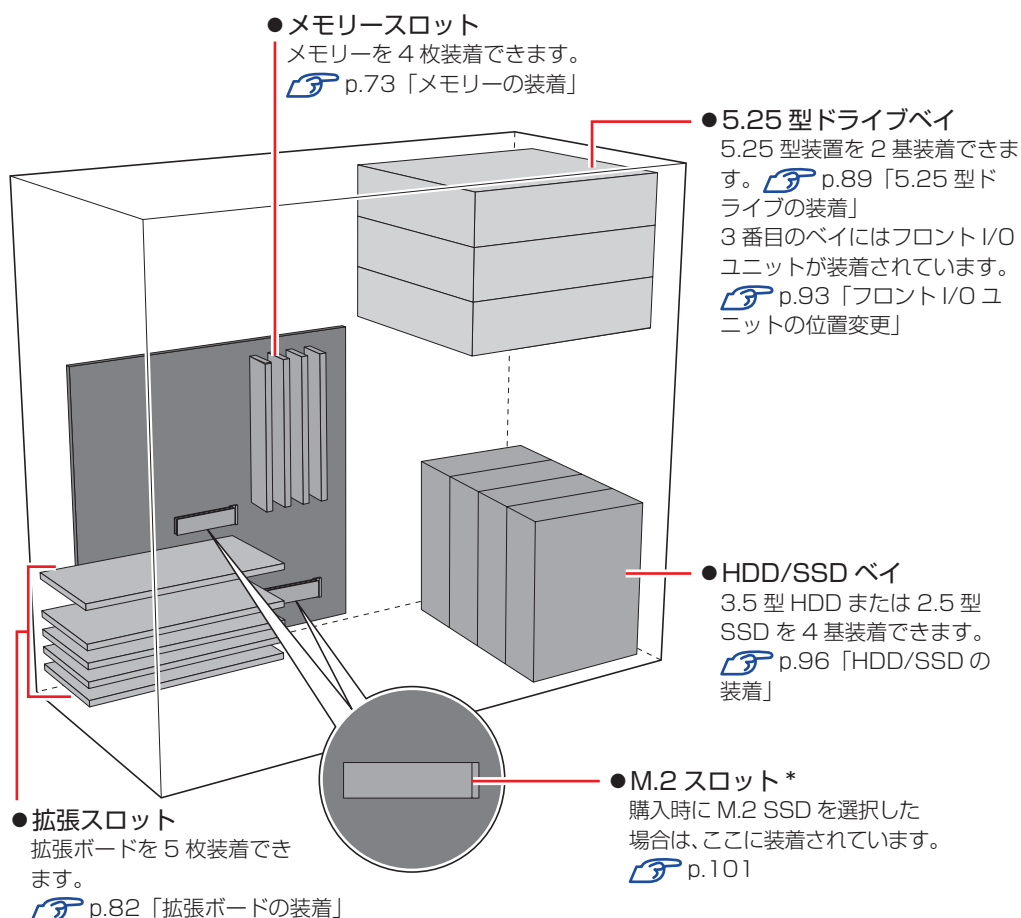
本機に装着できる装置について説明します。

購入時の選択によっては、すでにいくつかの装置が装着されているため、増設できる装置の数は異なります。



制限

マニュアルで方法を記載していない装置の増設・交換は行わないでください。故障の原因となります。



*購入時にM.2 SSDを選択した場合は、次の場所に装着されています。

- ・1基目：M.2_1 (Gen4) スロット
- ・2基目：M.2_2 (Gen3) スロット

p.101

ハードウェアアップグレード

当社では、コンピューター本体をお預かりして装置の増設・交換を行うハードウェアアップグレードを有償で行っています。

ハードウェアアップグレードが利用できる装置の最新情報は、次の場所でご確認ください。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/afterservice/upgrade/index.asp>

作業時の注意

内部装置の取り付け・取り外しをする場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



- 装置の増設・交換などで本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜き、10分以上放置してください。電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。
- 本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。



- 装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷のおそれがあります。本機の電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- メモリーの切り欠きとメモリスロット内の仕切りは、確実に合わせてください。メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。



- 本機から周辺機器を必ず取り外してください。
- 取り付けを行う際は、取り付ける装置のマニュアルを必ず参照してください。
- 本機内部のケースや基板には突起があります。作業の際には、けがをしないよう注意してください。
- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。装置や本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーや拡張ボードを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装置は落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーや拡張ボードの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。
- 固定具が確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。再度、メモリーの向きを確認し、固定具が確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。

Windows を終了する場合の注意事項

増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。

1


【スタート】 -  (電源) で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。

2

表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。

Windows が終了します。

装置装着時の準備作業

装置を装着する際の準備作業について説明します。
準備作業の前に  p.65 「作業時の注意」を必ずお読みください。

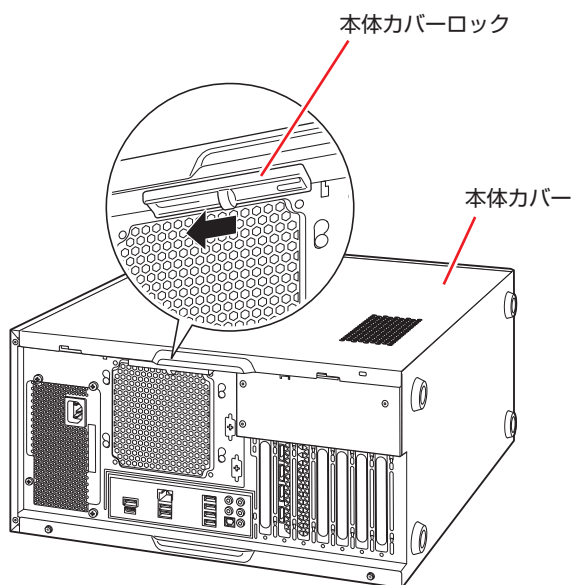
本体カバーの取り外し・取り付け

本機の内部に装置を装着する場合は、本体カバーを外してください。

取り外し

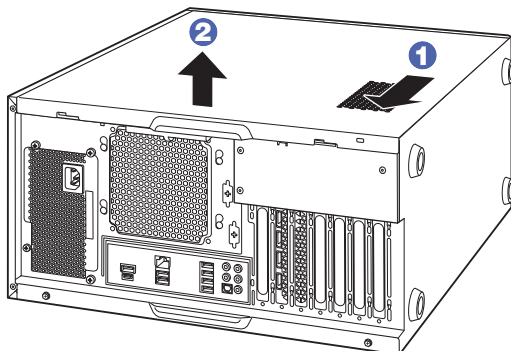
本体カバーの取り外し方法は次のとおりです。

- 1** 本体背面にある本体カバーロックをスライドして、ロックを解除します。



- 2** 本体カバーを取り外します。

- 1** 本体カバーを本体背面側にスライドさせます。
- 2** 本体カバーを外します。

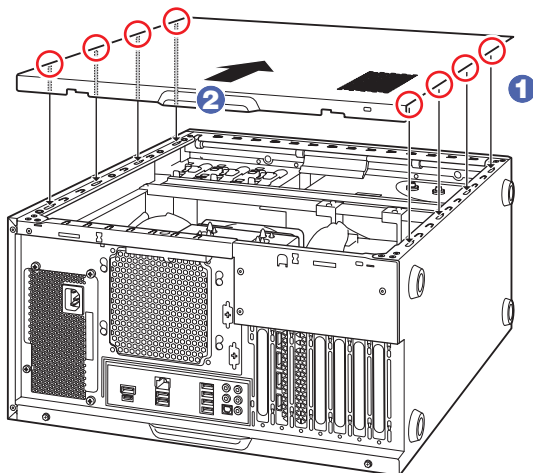


取り付け

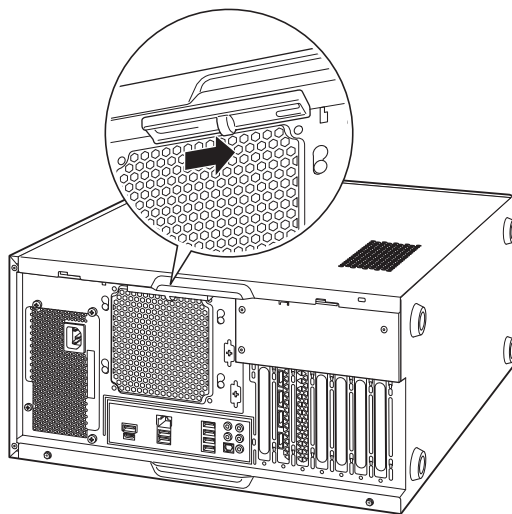
本体カバーの取り付け方法は次のとおりです。

1 本体カバーを取り付けます。

- 1 本体カバーのツメ（8箇所）を、本体の穴にはめ込みます。
- 2 本体カバーを本体前面側にスライドさせます。



2 本体背面にある本体カバーロックをスライドして、ロックします。



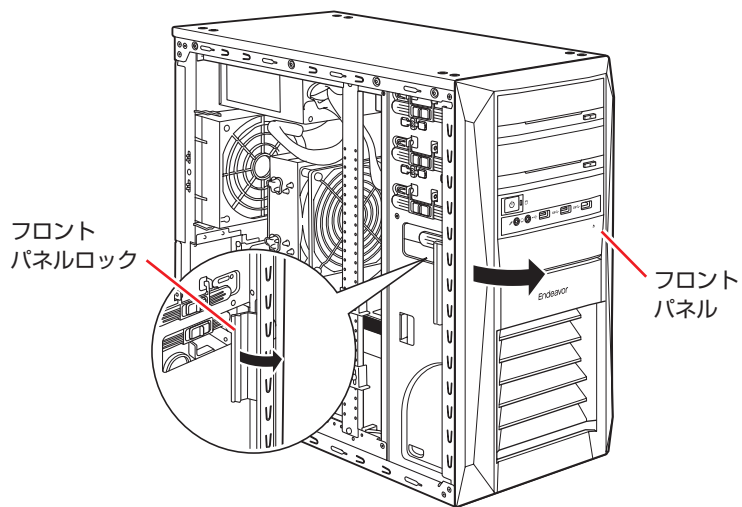
フロントパネルの取り外し・取り付け

本機の内部に装着する装置によっては、フロントパネルを取り外す必要があります。

取り外し

フロントパネルの取り外し方法は次のとおりです。

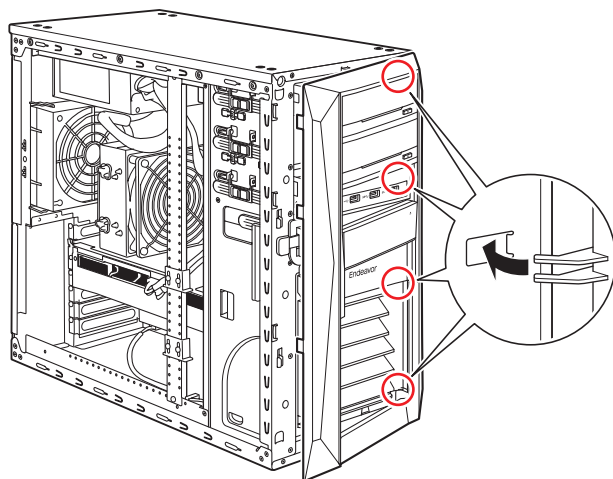
- 1** フロントパネルロックを引いて、フロントパネルを取り外します。



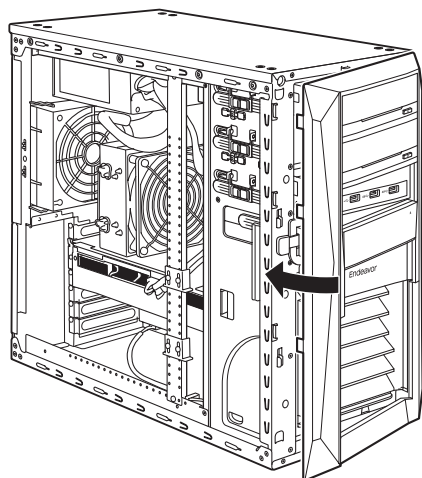
取り付け

フロントパネルの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** フロントパネル右側のフック（4個）を、本体の穴に合わせます。



- 2** フロントパネル左側を、カチッと音がするまで本体側に押し込みます。



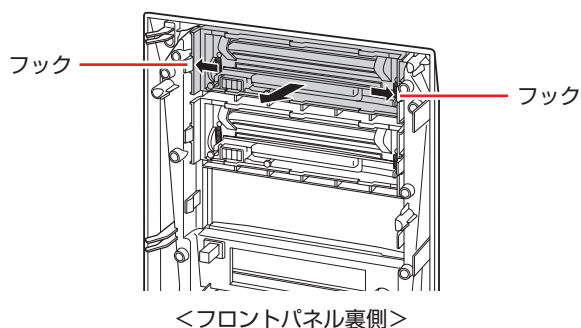
5.25型フェイスプレートの取り外し・取り付け

5.25型フェイスプレートは、次の手順で取り外し・取り付けを行います。

取り外し

5.25型フェイスプレートの取り外し方法は次のとおりです。

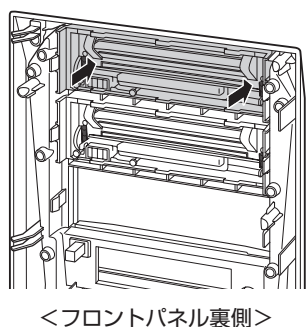
- 1** 両側のフックを外側に押しながら、フェイスプレートを手前に外します。
外したフェイスプレートは、大切に保管してください。



取り付け

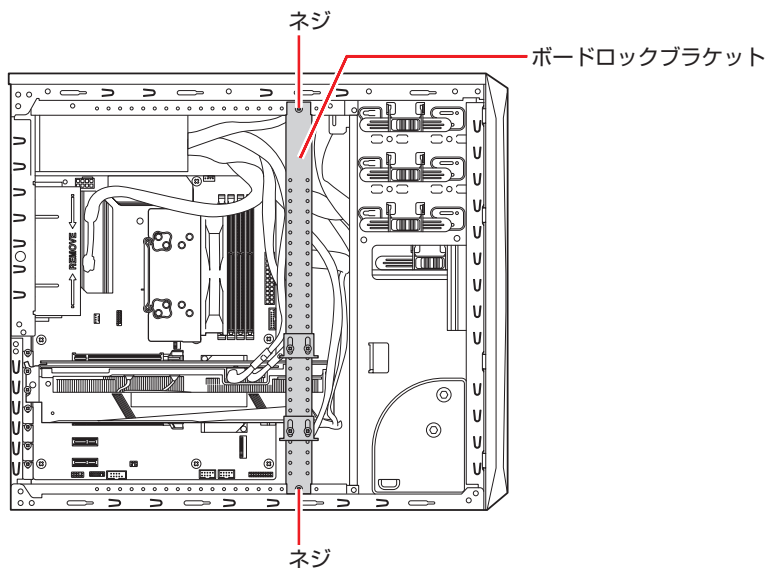
5.25型フェイスプレートの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** フロントパネルの裏側から、フェイスプレートを押し込みます。



ボードロックブラケットの取り外し・取り付け

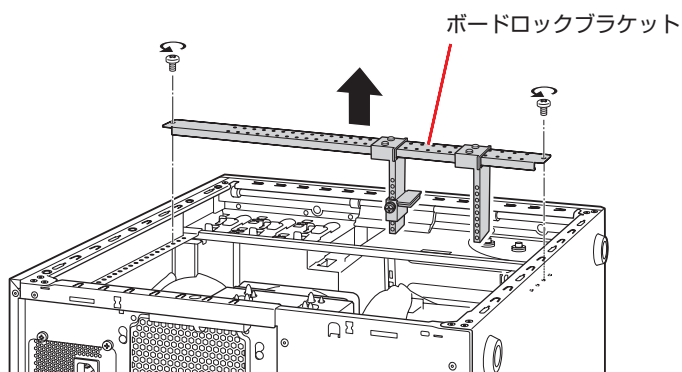
ハーフサイズを超えるグラフィックスボードはボードロックブラケットで固定されています。



取り外し

ボードロックブラケットの取り外し方法は次のとおりです。

- 1** ネジ (2本) を外して、ボードロックブラケットを取り外します。
ボードロックブラケットが取り付けられている本体側のネジ穴の位置を覚えておいてください。

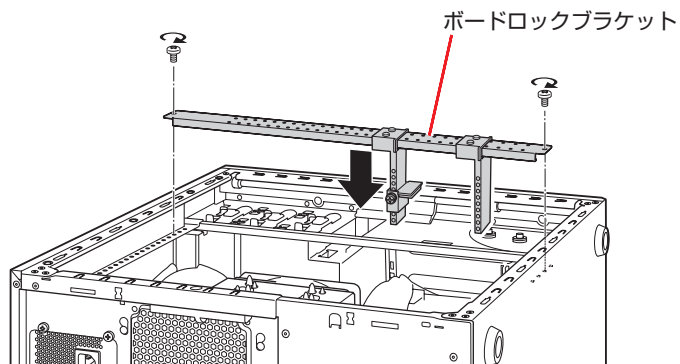


取り付け

ボードロックブラケットの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** ボードロックブラケットのネジ穴を本体のネジ穴に合わせて、ネジ（2本）で固定します。

ボードロックブラケットを取り外した時と同じネジ穴に合わせてください。

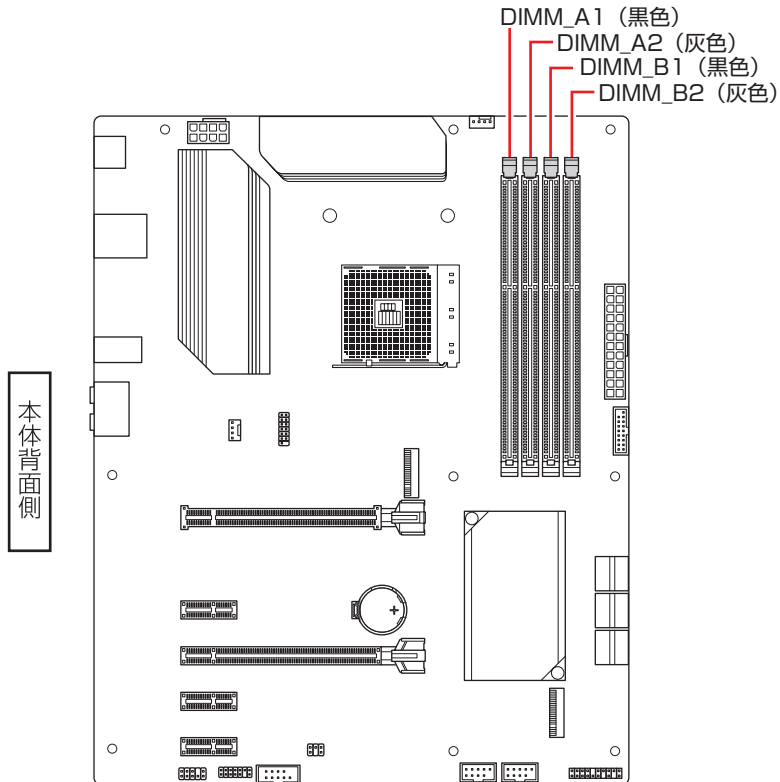


メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、メモリーの取り付け・取り外し方法について説明します。本機にはメモリスロットが4本あり、メモリーを最大128GB*まで増設・交換することができます。

* 1基目のHDD/SSDの容量が256GB以下の場合には最大32GBまで

マザーボード上のメモリスロットの位置は、次のとおりです。



メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC4-3200 DIMM (DDR4-3200 SDRAM 使用)
- メモリー容量 4GB、8GB、16GB、32GB
- Non ECC
- 288ピン

最新メモリー情報

今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにともない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

<https://shop.epson.jp/>

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?37585>

メモリー装着の順番

メモリーを装着する際は、次の順番で装着してください。この順番で装着しないと、本機が起動しないことがあります。

1 枚目	DIMM_B2 (灰色)
2 枚目	DIMM_A2 (灰色)
3 枚目	DIMM_B1 (黒色)
4 枚目	DIMM_A1 (黒色)

デュアルチャネル

本機はデュアルチャネルに対応しています。同一容量のメモリーを 2 枚 1 組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。

メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー 2 枚	デュアルチャネル*で動作。転送速度最大。
メモリー 1 枚	通常の転送速度で動作 (シングルチャネル)。


*デュアルチャネルで動作させる場合は、次の組み合わせで装着してください。

1 組目 : DIMM_B2 スロット (灰色) + DIMM_A2 スロット (灰色)

2 組目 : DIMM_B1 スロット (黒色) + DIMM_A1 スロット (黒色)




1 組目は必ず DIMM_B2 スロット (灰色) + DIMM_A2 スロット (灰色) に装着してください。

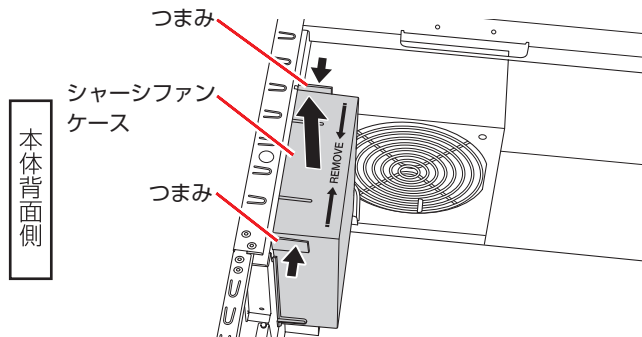
メモリーの取り付け・取り外し


メモリーの取り付け・取り外し方法は、次のとおりです。
作業を始める前に  p.65 「作業時の注意」を必ずお読みください。
作業は通風孔のある面を上にして横置きした状態で行います。

取り付け

メモリーの取り付け方法は次のとおりです。

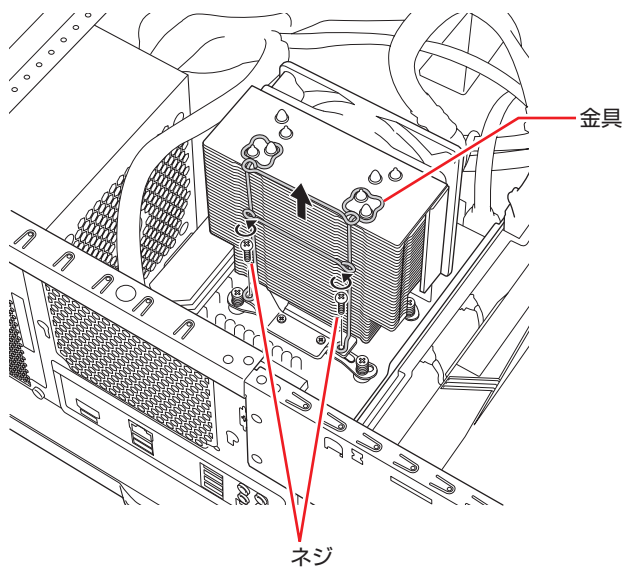
- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。
 - 1** [スタート] -  (電源) で [Shift] を押しながら「再起動」をクリックします。
 - 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。
- 2** 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10 分以上放置します。
- 3** 本体カバーを取り外します。
 p.66 「取り外し」
- 4** ボードロックブラケットを取り外します。
 p.71 「取り外し」
- 5** ファンカバーが作業の妨げになる場合は、一旦取り外します。
ファンカバーを外すために、まずはシャーシファンケースを取り外します。
 - 1** 両側のつまみを内側に押しながら、シャーシファンケースを引き抜きます。



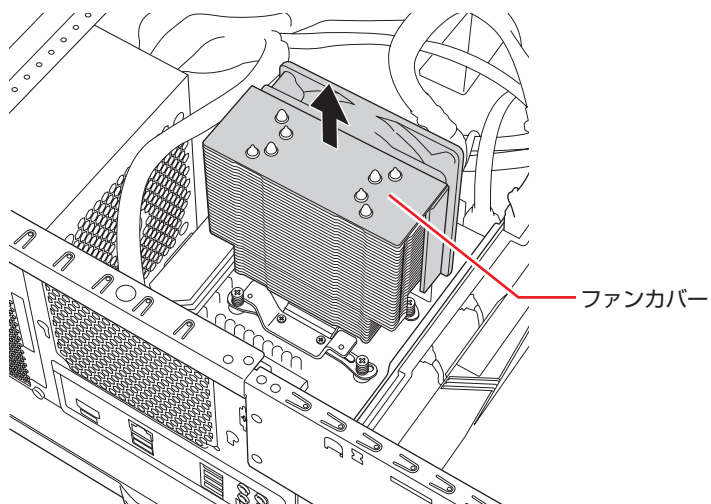
- 2** シャーシファンの電源ケーブルをシャーシファンコネクタから外します。
 p.106 「コンピューター内部のケーブル接続」
これで、シャーシファンケースの取り外しは完了です。




- ③ ネジ (2 本) を外して、金具を取り外します。



- ④ ファンカバーを上スライドして取り外します。




- ⑤ ファンカバーの電源ケーブルを CPU ファンコネクターから外します。

 p.106 「コンピューター内部のケーブル接続」

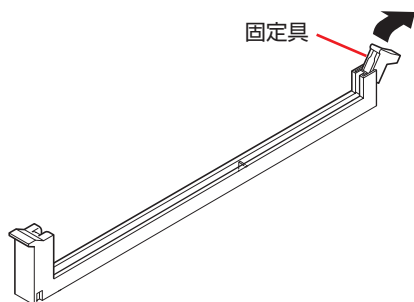
- ⑥ 作業の妨げになる拡張ボードがある場合は、一旦取り外します。

 p.86 「取り外し」

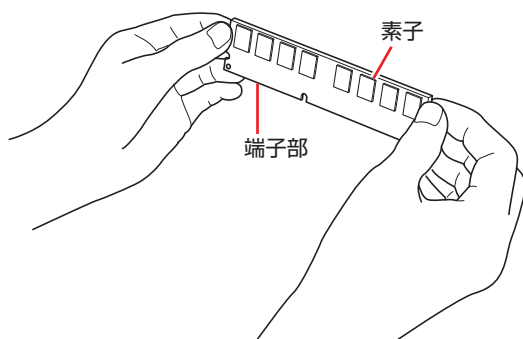
- ⑦ メモリーを装着する順番を確認します。

 p.74 「メモリー装着の順番」

8 メモリースロットの固定具を開きます。

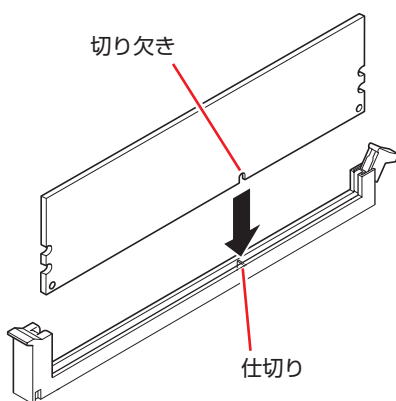


9 メモリーを静電防止袋から取り出します。
メモリーの端子部や素子に触れないように注意します。



10 メモリースロットにメモリーを差し込みます。

- ① メモリーの切り欠きをメモリースロット内の仕切りに合わせます。

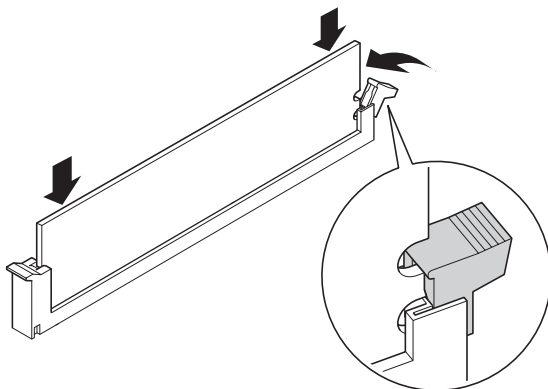


注意

メモリーの切り欠きとメモリースロット内の仕切りは、確実に合わせてください。
メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。



- ② メモリーを押し込むと、カチッと自動的に固定具が閉じてメモリーが固定されます。
固定具が確実に閉じて、メモリーが固定されたことを必ず確認してください。



！ 制限


固定具が確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。
再度、メモリーの向きを確認し、固定具が確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。

- 11** ⑥で拡張ボードを取り外した場合は、元どおりに取り付けます。

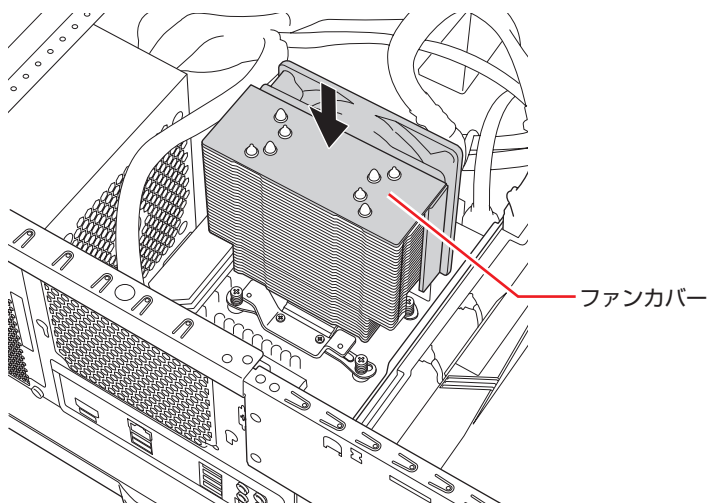
 p.84 「取り付け」 ⑥、⑦

- 12** ⑤でファンカバーを取り外した場合は、ファンカバーとシャーシファンケースを元どおりに取り付けます。

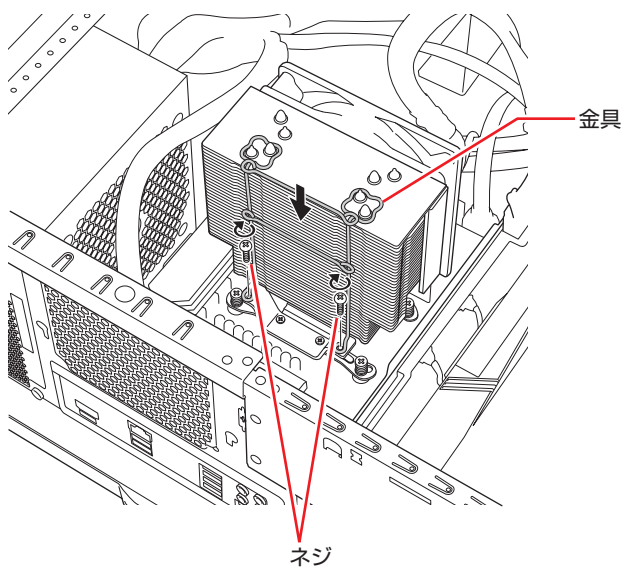
- ① ファンカバーの電源ケーブルを CPU ファンコネクターに接続します。

 p.106 「コンピューター内部のケーブル接続」


- ② ファンカバーを取り付けます。

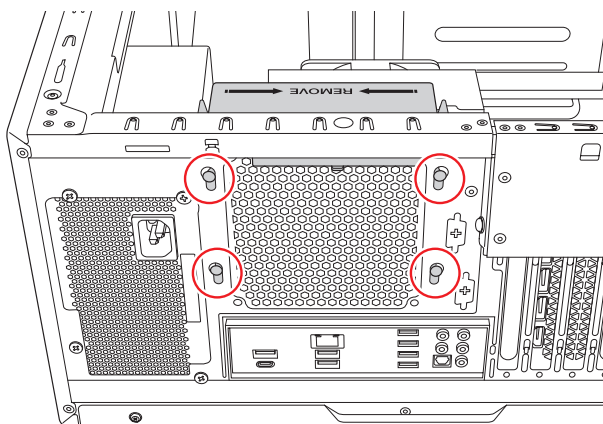


- ③ 金具を取り付けて、ネジ（2本）で固定します。



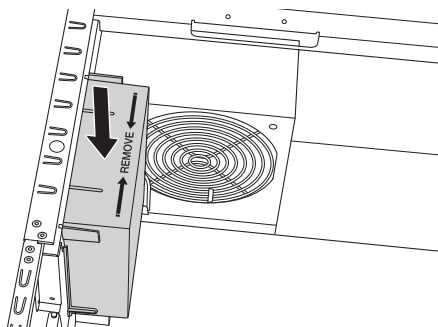
これで、ファンカバーの取り付けは完了です。




- ④ シャーシファンの電源ケーブルをシャーシファンコネクタに接続します。
 p.106 「コンピューター内部のケーブル接続」
- ⑤ 本機背面の穴（4箇所）にシャーシファンケースの青い突起を入れ込みます。




本体背面側

- ⑥ シャーシファンケースを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

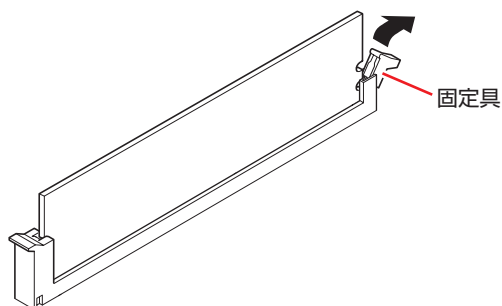


- 13** ボードロックブラケットを取り付けます。
 p.72 「取り付け」
- 14** 本体カバーを取り付けます。
 p.67 「取り付け」
- 15** **2** で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 16** 本機の電源を入れて、メモリーの容量を確認します。
 p.81 「メモリー取り付け・取り外し後の作業」

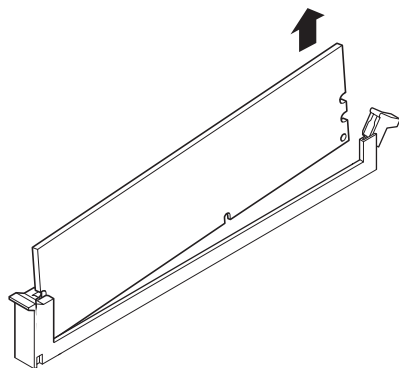
取り外し

メモリーの取り外しは、 p.77 「取り付け」の **8** ~ **10** を次の手順に読み替えて行ってください。

- 1** メモリーを固定している固定具を開きます。



- 2** メモリーが外れたら、固定されていた側を浮かせて取り外します。
静電気防止袋に入れて保管してください。



- 3** メモリーを取り付けない場合は、固定具を閉じておきます。

メモリー取り付け・取り外し後の作業

メモリーの取り付け・取り外しをしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリー容量を確認します。

メモリー容量の確認方法は次のとおりです。

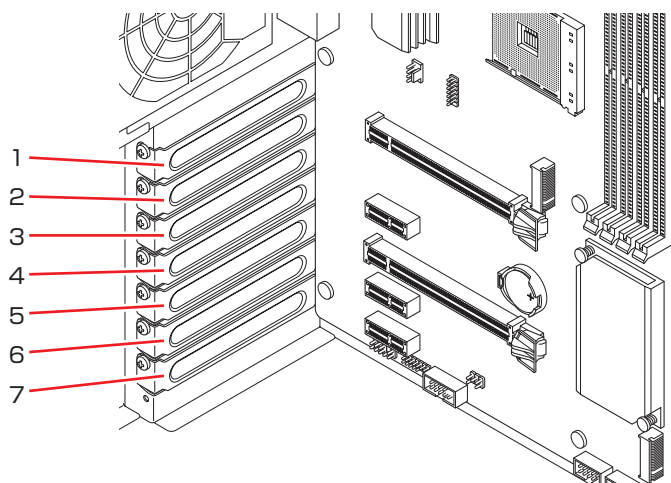
- 1** 本機の電源を入れ、すぐに **Delete** または **F2** を「トン、トン、トン…」と連続的に押して「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。
- 2** 「EZ Mode」画面 - 「Memory」に表示されているメモリー容量を確認します。
- 3** **F10** を押して UEFI Setup ユーティリティを終了します。
2 でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

拡張ボードの装着

拡張スロットの仕様と、拡張ボードの取り付け・取り外し方法について説明します。

拡張スロットの仕様

本機には拡張スロットが7つあります。各スロットの仕様は次のとおりです。



スロット番号	コネクタ仕様	装着可能な拡張ボードサイズ
1	—	—
2	PCI Express x16	ボード長 312 mm (フルサイズ) まで
3	—	—
4	PCI Express x1	ボード長 312 mm (フルサイズ) まで
5 ^{*1*}	PCI Express x4	
6 ^{*2}	PCI Express x1	
7 ^{*2}	PCI Express x1	

*1 スロットの形状は PCI Express x16 ですが、PCI Express x4 で動作します。

*2 「6」または「7」に拡張ボードを装着すると、「5」は PCI Express x2 で動作します。



制限

ボードの形状や選択されたオプションによっては、コネクタ類と干渉して装着できない場合があります。

拡張ボードの取り付け・取り外し






拡張スロットには機器の性能を維持するため鋭いエッジがあります。手を傷つけないように作業してください。

作業を始める前に  p.65 「作業時の注意」と拡張ボードのマニュアルを必ずお読みください。

作業は通風孔のある面を上にして横置きした状態で行います。

取り付け

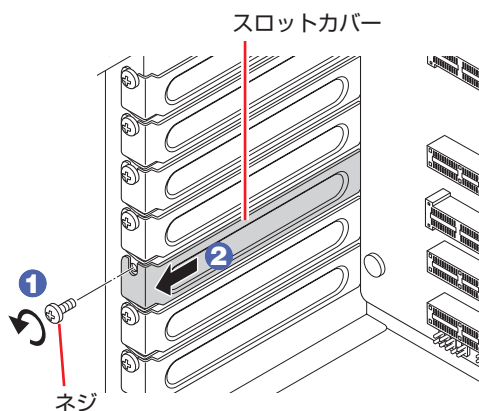
拡張ボードの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。
 - 1** [スタート] -  (電源) で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
 - 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。
- 2** 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10 分以上放置します。
- 3** 本体カバーを取り外します。
 p.66 「取り外し」
- 4** ボードロックブラケットを取り外します。
 p.71 「取り外し」



5 拡張ボードを装着するスロットの-slotカバーを外します。

- 1 スロットカバーを固定しているネジを外します。
- 2 スロットカバーを手前に引き抜きます。



外したスロットカバーは、大切に保管してください。拡張ボードを外したあと、別の拡張ボードを装着しない場合は、本体内部にホコリなどが入らないように、再びスロットカバーを装着します。

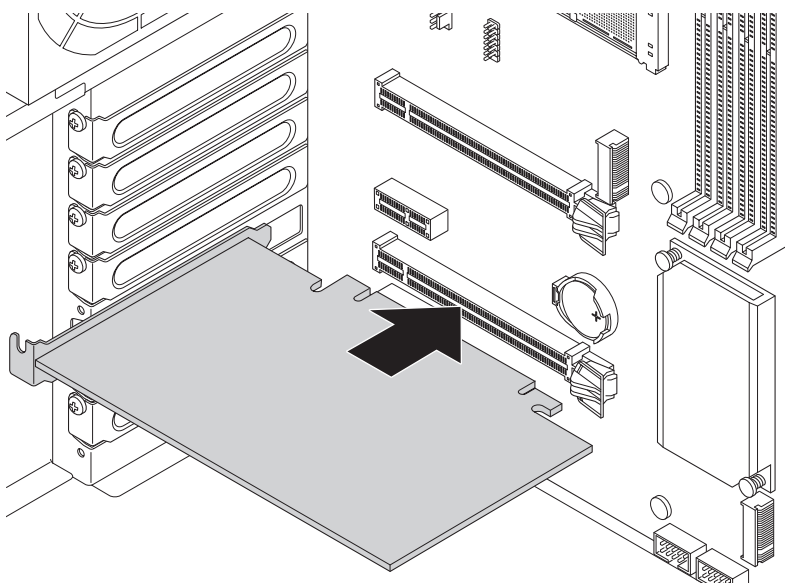
6 拡張ボードを取り付けます。

ボード取り付け時、マザーボード上に接続されているケーブルをはさみこんだり、つぶしたりしないよう注意してください。

通常のボードの場合

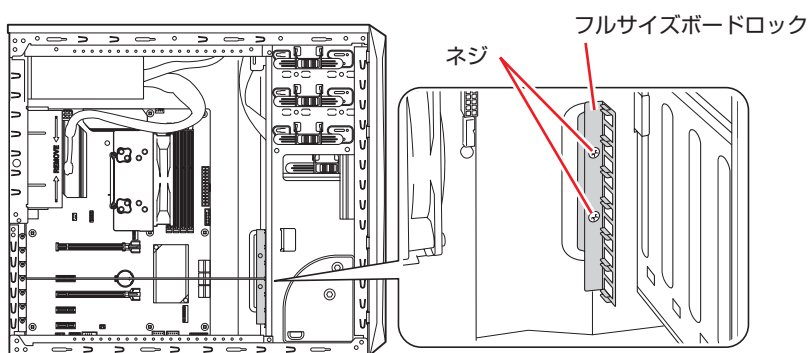
拡張ボードを差し込みます。

拡張ボードの端子部を、コネクタに軽く触れる程度に差し込みます。コネクタに無理な力がかかっていないことを確認して、ゆっくり押し込みます。

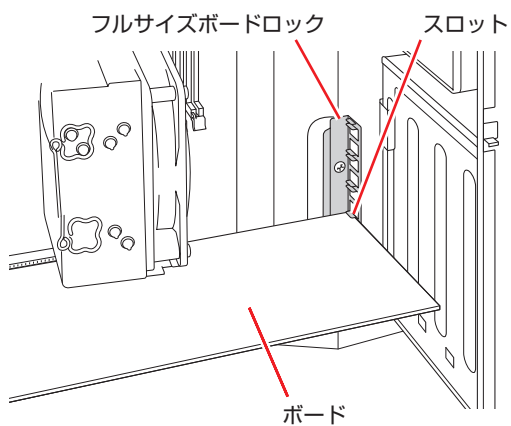


フルサイズ (312mm) のボードの場合

- 1 フルサイズボードロックのネジ (2本) をゆるめます。



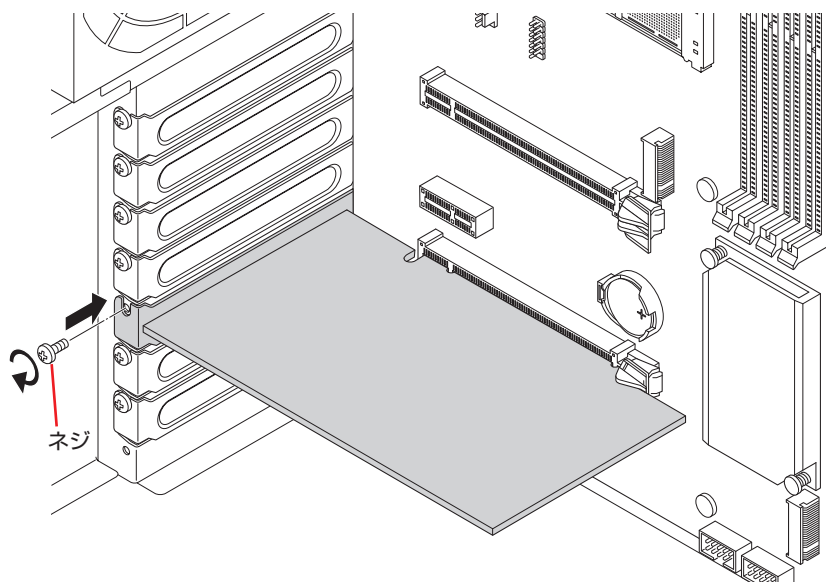
- 2 フルサイズボードロックの-slotにボードを差し込み、<通常のボードの場合>と同じように、端子部をコネクタに差し込みます。



- 3 フルサイズボードロックのネジ (2本) を締めて固定します。




7 拡張ボードをネジで固定します。



拡張ボードによっては、コンピューター内部のコネクターとの接続が必要な場合があります。詳しくは、拡張ボードのマニュアルをご覧ください。


8 ボードロックブラケットを取り付けます。

 p.72 「取り付け」


9 本体カバーを取り付けます。

 p.67 「取り付け」

10 2 で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて、 p.87 「拡張ボード取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

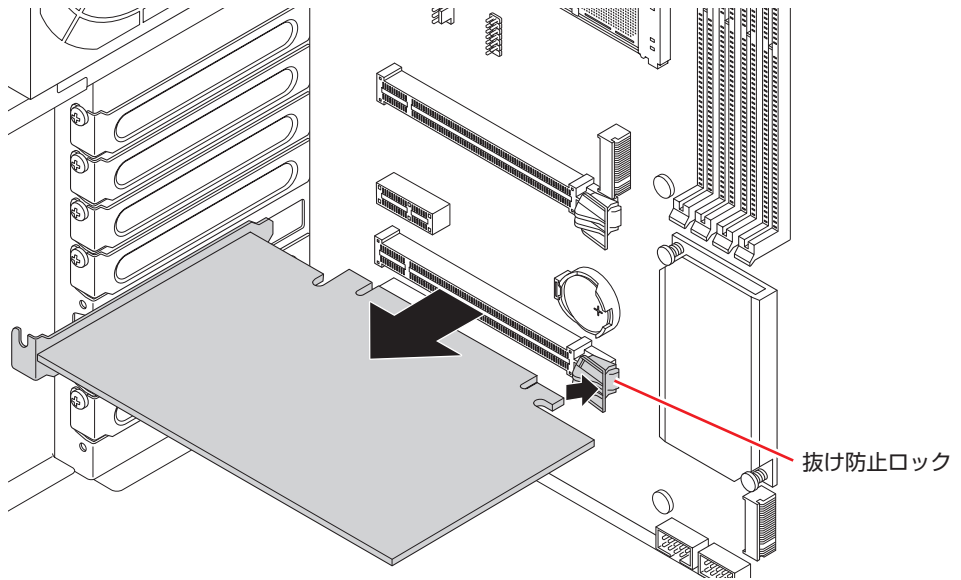
拡張ボードの取り外しは、 p.84 「取り付け」の **5** ~ **7** を次の手順に読み替えて行ってください。

1 拡張ボードを固定しているネジを外します。

フルサイズのボードの場合は、フルサイズボードロックのネジ（2本）をゆるめます。

2 拡張ボードを引き抜きます。

「2」または「5」のスロットの場合は、抜け防止ロックを押して、拡張ボードを引き抜きます。



3 拡張ボードを取り外したスロットに別の拡張ボードを装着しないときは、スロットカバーを取り付けておきます。

1 でフルサイズボードロックのネジ（2本）をゆるめた場合は、ネジを締めておきます。

拡張ボード取り付け・取り外し後の作業

拡張ボードの取り付け・取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

グラフィックスボードの場合

グラフィックスボードの取り付け・取り外しをした場合、UEFIなどの設定は必要ありませんが、ボードによってはドライバーのインストール、アンインストールが必要です。

そのほかのボードの場合

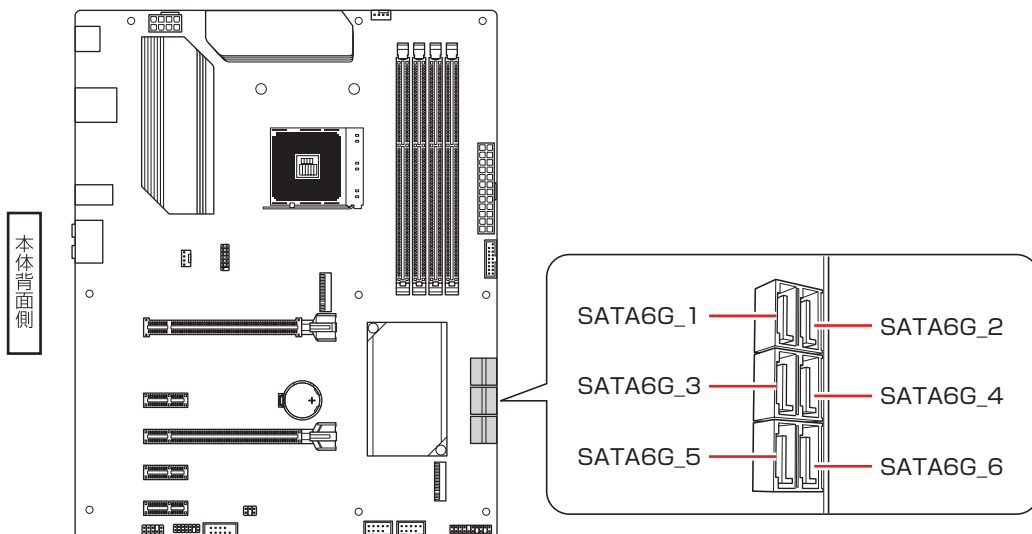
拡張ボードによってはUEFIの設定やドライバーのインストールなどの作業が必要な場合があります。

ドライブ装置とコネクタの接続

ここでは、マザーボード上のコネクタとドライブ装置の接続について説明します。

シリアルATAコネクタ

シリアル ATA コネクタには、HDD/SSD や光ディスクドライブを接続できます。



コネクタと接続するドライブ装置は次のとおりです。

コネクタ /UEFI	HDD/SSD ベイ	接続するドライブ装置	コネクタの仕様	
SATA6G_1	-	光ディスクドライブ	シリアル ATA 600MB/s	
SATA6G_2	Port0	HDD/SSD		
SATA6G_3	Port1			
SATA6G_4	Port2			
SATA6G_5	Port3			
SATA6G_6	-	-		

※ 実際の転送速度は、本機と接続するドライブ装置の組み合わせによります。

※ M.2_2 (Gen3) スロット (p.101) に M.2 SSD を装着している場合、SATA6G_5 と 6 は使用できません。



参考

Windows がインストールされている装置


購入時、Windows は次のいずれかの装置にインストールされています。

- HDD/SSD ベイ (Port0) に装着されている HDD または SSD
- マザーボード上の M.2_1 (Gen4) スロット (p.101) に装着されている M.2 SSD

5.25 型ドライブの装着




5.25 型ドライブ（光ディスクドライブなど）の取り付け・取り外し方法について説明します。


5.25型ドライブの取り付け・取り外し

作業を始める前に  p.65 「作業時の注意」と、装着する装置のマニュアルを必ずお読みください。

取り付け

5.25 型ドライブの取り付け方法は次のとおりです。ここでは、光ディスクドライブを取り付ける方法を説明します。

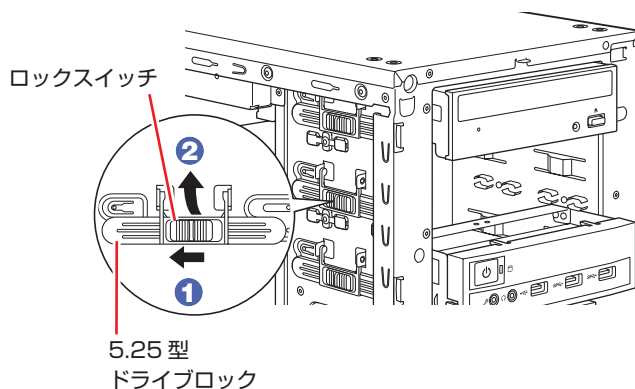
- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。
 - 1** [スタート] -  (電源) で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
 - 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。
- 2** 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10 分以上放置します。
- 3** 本体カバーを取り外します。
 p.66 「取り外し」
- 4** フロントパネルを取り外します。
 p.68 「取り外し」

光ディスクドライブ以外のドライブを取り付ける場合は、5.25 型フェイスプレートを取り外します。
 p.70 「取り外し」

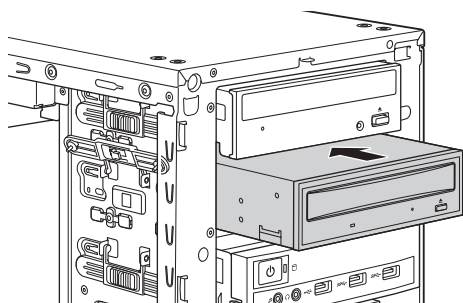


5 5.25 型ドライブロックを外します。

- 1 ロックスイッチを左にスライドさせます。
- 2 5.25 型ドライブロックを上を開きます。

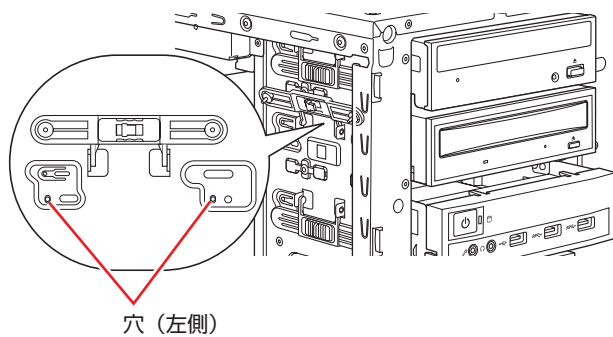


6 装置を 5.25 型ドライブベイに押し込みます。



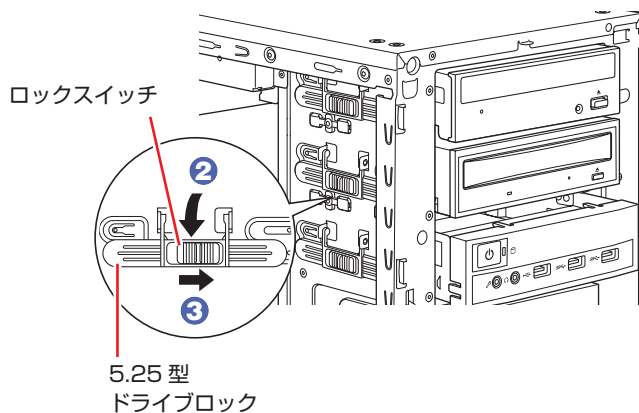
7 装置を 5.25 型ドライブベイに固定します。

- 1 装置のネジ穴を本体側の穴（左側）に合わせます。



- 2 5.25 型ドライブロックをおろします。


- ③ ロックスイッチを右へスライドさせてロックします。

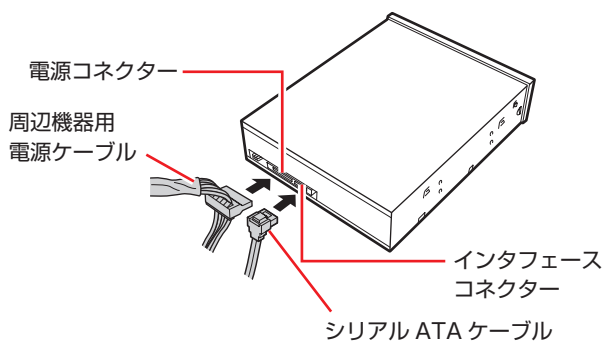


装置がしっかりと固定されていることを確認します。

8 ケーブル類を接続します。

- ① 周辺機器用電源ケーブルを電源コネクタに接続します。
- ② シリアル ATA ケーブルをドライブ装置のインタフェースコネクタとマザーボード上のシリアル ATA コネクタに接続します。

マザーボード上のコネクタ位置は  p.88 「ドライブ装置とコネクタの接続」で確認してください。



9 フロントパネルを取り付けます。

 p.69 「取り付け」


10 本体カバーを取り付けます。


 p.67 「取り付け」

11 ② で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて  p.92 「5.25 型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

5.25 型ドライブの取り外しは、 p.90 「取り付け」の **5** ~ **8** を、次の手順に読み替えて行ってください。

- 1** 装置に接続されているケーブル類を外します。
- 2** 装置を固定している 5.25 型ドライブロックを外します。
- 3** 装置を本体前面側から引き抜きます。
- 4** 5.25 型ドライブロックを閉じてロックします。
- 5** 必要に応じて、5.25 型フェイスプレートを取り付けます。
 p.70 「取り付け」

5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業

5.25 型ドライブの取り付け・取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

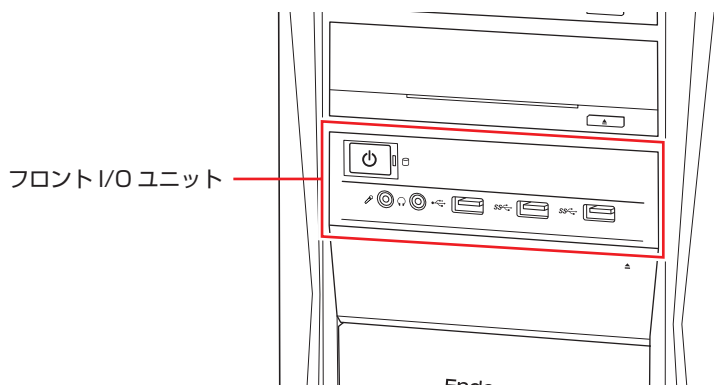
光ディスクドライブの場合

光ディスクドライブによっては、ライティングアプリなどのインストール・アンインストールが必要です。詳しくは、光ディスクドライブに添付のマニュアルをご覧ください。


このほか、5.25 型ドライブによっては作業が必要な場合があります。詳しくは、ドライブのマニュアルをご覧ください。






フロント I/O ユニットの位置変更

フロント I/O ユニットの位置を変更する方法について説明します。
購入時、フロント I/O ユニットの位置は、3 番目のベイに装着されています。
机の下など、低い位置に本機を設置する場合、フロント I/O ユニットの位置を 1 番目のベイへ変更すると、電源スイッチを押しやすくなります。



フロント I/O ユニット位置の変更方法

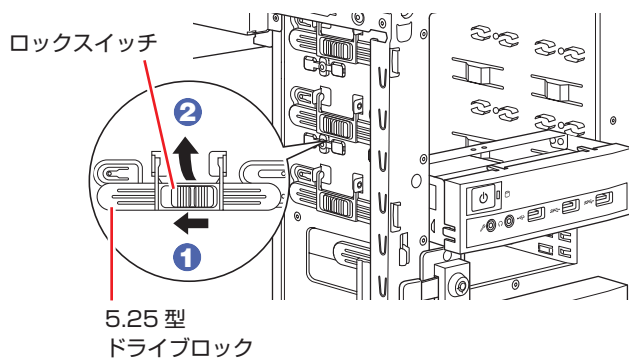
作業を始める前に  p.65 「作業時の注意」を必ずお読みください。
フロント I/O ユニットの位置を変更する方法は次のとおりです。
ここでは、3 番目のベイから 1 番目のベイへ変更する方法を説明します。

- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
 - 1** [スタート] -  (電源) で [Shift] を押しながら「再起動」をクリックします。
 - 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。
- 2** 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10 分以上放置します。
- 3** 本体カバーを取り外します。
 p.66 「取り外し」
- 4** フロントパネルを取り外します。
 p.68 「取り外し」
- 5** フロントパネルから 1 番目の 5.25 型フェイスプレートを取り外し、3 番目に取り付けます。
 p.70 「5.25 型フェイスプレートの取り外し・取り付け」
- 6** 1 番目のベイに装着されている光ディスクドライブを取り外します。
 p.92 「取り外し」 **1** ~ **3**

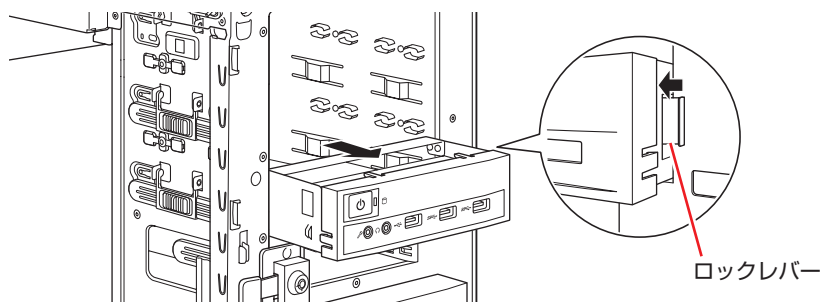


7 フロント I/O ユニートを固定している 5.25 型ドライブロックを外します。

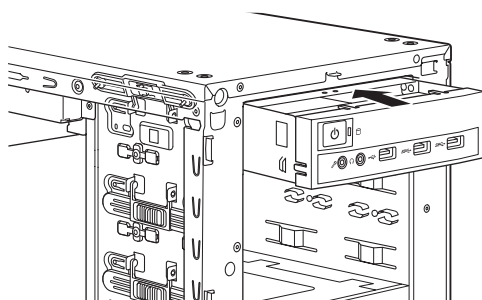
- ① ロックスイッチを左にスライドさせます。
- ② 5.25 型ドライブロックを上を開きます。



8 ケーブルが接続されたままの状態、フロント I/O ユニートをベイから抜きます。フロント I/O ユニット右側のロックレバーを押しながら、引き抜いてください。

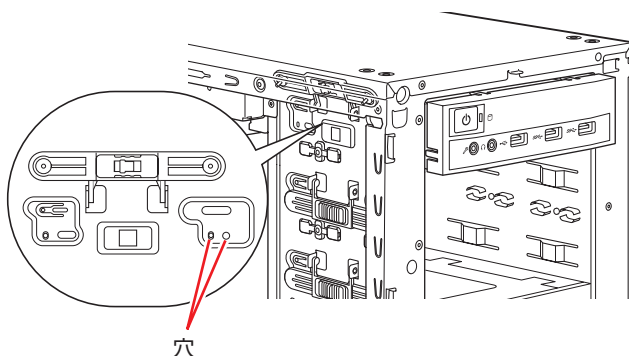


9 フロント I/O ユニートを一番上のベイに押し込みます。

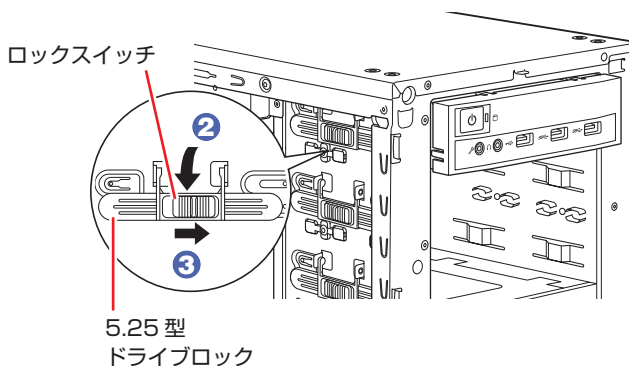


10 フロント I/O ユニッツを 5.25 型ドライブベイに固定します。

- 1 フロント I/O ユニッツのネジ穴を本体側の穴に合わせます。




- 2 5.25 型ドライブロックをおろします。
- 3 ロックスイッチを右へスライドさせてロックします。



フロント I/O ユニッツがしっかりと固定されていることを確認します。

11 6 で取り外した光ディスクドライブを 3 番目の 5.25 型ドライブベイに取り付けます。

 p.90 「取り付け」 6 ~ 8

12 フロントパネルを取り付けます。

 p.69 「取り付け」

13 本体カバーを取り付けます。

 p.67 「取り付け」

14 2 で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

これでフロント I/O ユニッツの位置変更は完了です。

HDD/SSD の装着


HDD/SSD の取り付け・取り外し方法について説明します。

制限

• HDD/SSD のパスワードを設定している場合は、削除してから HDD/SSD を取り付け・取り外ししてください。

 p.120 「HDD/SSD にパスワードを設定する」

• M.2_2 (Gen3) スロット (p.101) に M.2 SSD を装着している場合、4 基目の HDD/SSD は装着できません。

 p.88 「シリアル ATA コネクター」

参考

Windows がインストールされている装置

購入時、Windows は次のいずれかの装置にインストールされています。

• HDD/SSD ベイ (Port0) に装着されている HDD または SSD

• マザーボード上の M.2_1 (Gen4) スロット (p.101) に装着されている M.2 SSD

装置によって、取り付け・取り外しの方法が異なります。

● HDD/SSD  p.96

● M.2 SSD  p.100

HDD/SSDの取り付け・取り外し

作業を始める前に  p.65 「作業時の注意」 を必ずお読みください。

取り付け

HDD/SSD の取り付け方法は次のとおりです。

1 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。

増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。

通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。

① [スタート] -  (電源) で [Shift] を押しながら「再起動」をクリックします。

② 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。

Windows が終了します。

2 本機に接続されているケーブル類 (電源コードなど) をすべて外し、10 分以上放置します。

3 HDD/SSD ベイ用キーロックに鍵をかけている場合は、解除します。

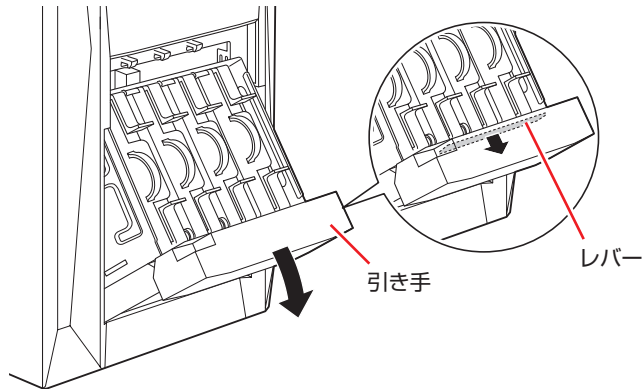
HDD/SSD ベイ用キーロックは、フロントドア内にあります。

・ロック (垂直) ・解除 (水平)

 p.61 「HDD/SSD ベイ用キーロック」

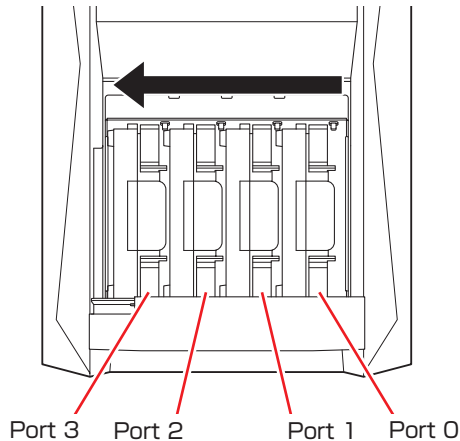
4 HDD/SSD ベイを手前に開きます。

HDD/SSD ベイの引き手内側のレバーを引きながら開いてください。



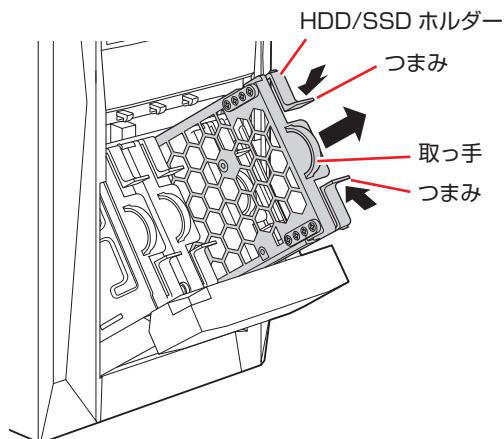
5 HDD/SSD の位置を確認します。

HDD/SSD を取り付けるときは、Port 0 (本体に向かって右側) から順に取り付けてください。



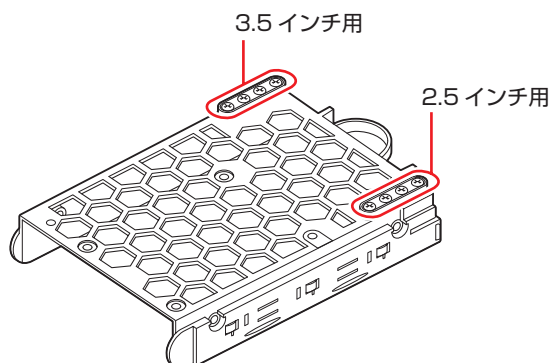
6 HDD/SSD ホルダーを引き出します。

HDD/SSD ホルダーを引き出すときは、つまみを軽くつまみながら、必ず取っ手を持って引き出してください。取っ手を持たずにつまみだけを持って引き出すと、HDD/SSD ホルダーが破損する原因となります。



7 HDD/SSDホルダーからネジ（4本）を外します。

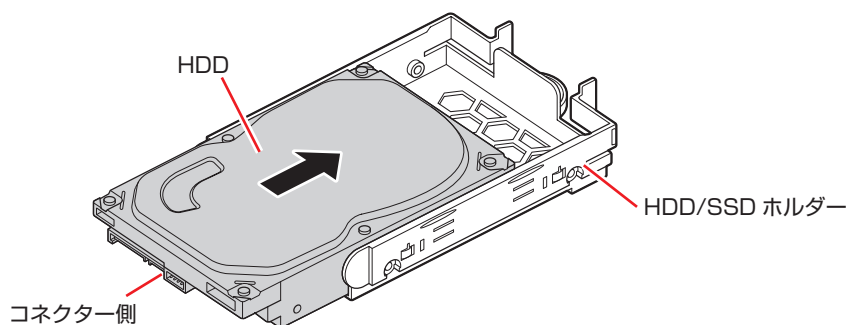
ネジは2.5インチ用と3.5インチ用が添付されています。装着する装置に合ったネジを外してください。



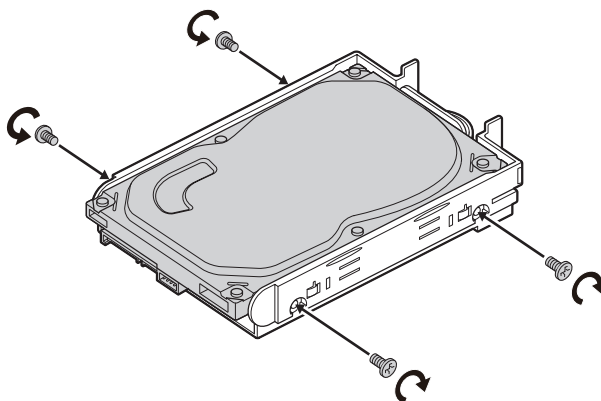
8 HDD/SSDホルダーにHDD/SSDを取り付けます。

3.5インチHDDの場合

- 1 HDD/SSDホルダーにHDDを差し込みます。

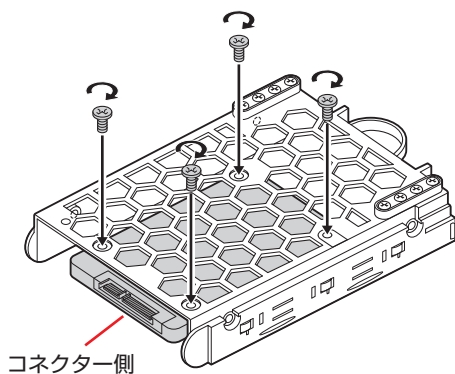


- 2 HDD/SSDホルダーとHDDをネジ（4本）で固定します。

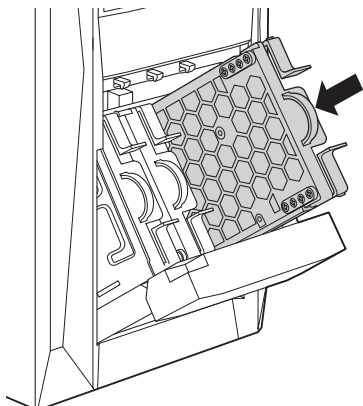


2.5 インチ HDD/SSD の場合

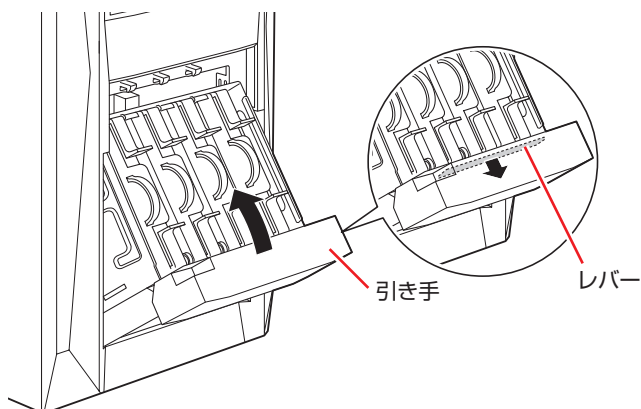
- 1 HDD/SSD を HDD/SSD ホルダーの次の位置に合わせ、ネジ(4本)で固定します。



- 9 HDD/SSD を装着した HDD/SSD ホルダーを HDD/SSD ベイに戻します。
HDD/SSD が奥のコネクターにしっかり差し込まれ、カチッと音がするまで押し込みます。



- 10 HDD/SSD ベイを閉じます。
HDD/SSD ベイの引き手内側のレバーを引きながら閉じてください。






制限


HDD/SSD ベイを開いた状態で本機を使用しないでください。

11 必要に応じて、HDD/SSD ベイ用キーロックに鍵をかけます。

12 **2** で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて  p.103 「HDD/SSD 取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

HDD/SSD の取り外しは、 p.97 「取り付け」の **5** ~ **9** を次の手順に読み替えて行ってください。

1 取り外す HDD/SSD がセットされている HDD/SSD ホルダーを引き出します。


HDD/SSD ホルダーを引き出すときは、つまみを軽くつまみながら、必ず取っ手を持って引き出してください。取っ手を持たずにつまみだけを持って引き出すと、HDD/SSD ホルダーが破損する原因となります。

2 HDD/SSD ホルダーから HDD/SSD を取り外します。

- 1** HDD/SSD ホルダーと HDD/SSD を固定しているネジを外します。
- 2** HDD/SSD を HDD/SSD ホルダーから外します。
- 3** ネジは HDD/SSD ホルダーには戻さずに、保管してください。

3 HDD/SSD ホルダーを HDD/SSD ベイに戻します。

M.2 SSDの交換

作業を始める前に  p.65 「作業時の注意」を必ずお読みください。
作業は通風孔のある面を上にして横置きした状態で行います。

M.2 SSD の仕様

本機で使用可能な M.2 SSD は、次のとおりです。


- NVMe 対応
- M.2 Type 2280-D5-M 対応

交換

M.2 SSD はマザーボード上の M.2 スロットに装着されています。
M.2 SSD の交換方法は次のとおりです。

1 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。

交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、交換後に機器が認識されなくなる場合があります。

- 1 [スタート] -  (電源) で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。

2 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10分以上放置します。

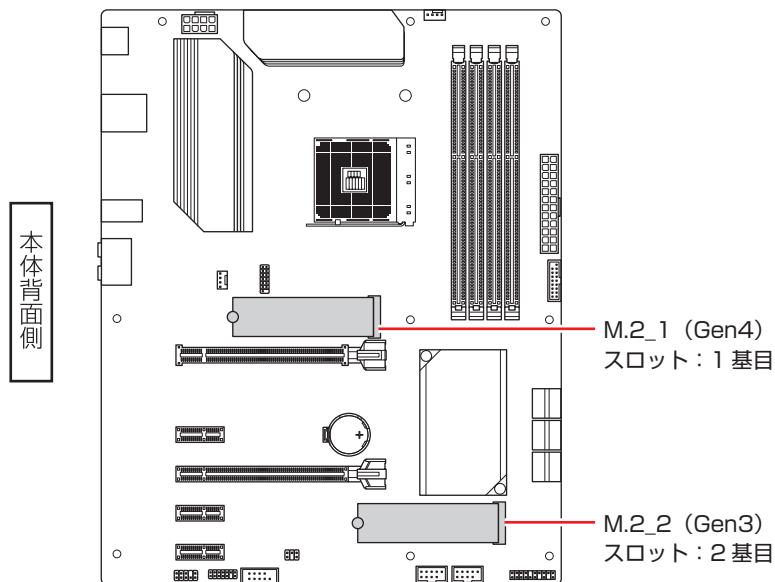
3 本体カバーを取り外します。

 p.66 「取り外し」

4 ボードロックブラケットを取り外します。

 p.71 「取り外し」

5 M.2 SSD が装着されている場所を確認します。



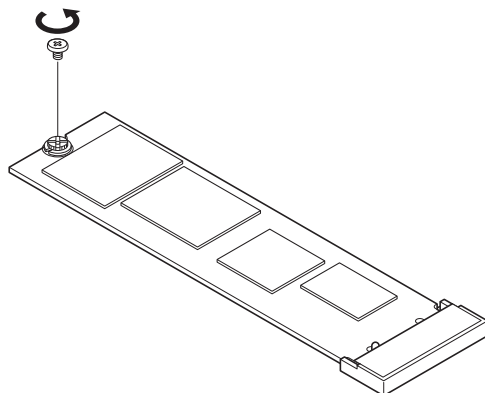
6 シャーシファンケースが作業の妨げになる場合は、一旦取り外します。

 p.75 「取り付け」 **5**

7 作業の妨げになる拡張ボードがある場合は、一旦取り外します。

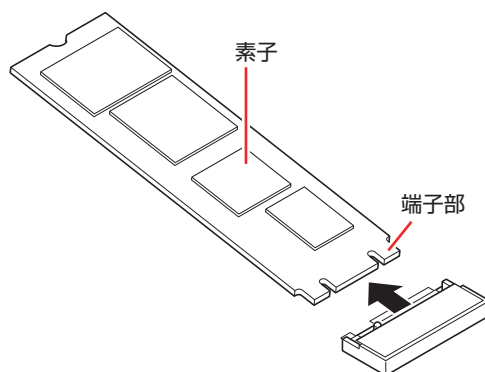
 p.86 「取り外し」

8 M.2 SSD を固定しているネジを外します。



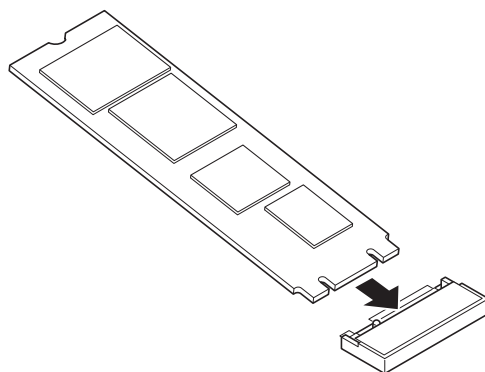
9 M.2 SSD を M.2 スロットから引き抜きます。

M.2 SSD を持つときは、端子部や素子に触れないようにしてください。

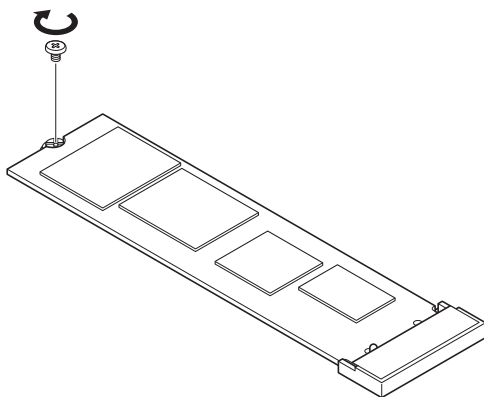


M.2 SSD は静電気防止袋に入れて保管してください。

10 取り付ける M.2 SSD を M.2 スロットに差し込みます。



- 11** M.2 SSD をネジで固定します。



- 12** **7** で拡張ボードを取り外した場合は、元どおりに取り付けます。

 p.84 「取り付け」 **6**、**7**

- 13** **6** でシャーシファンケースを取り外した場合は、元どおりに取り付けます。

 p.78 「取り付け」 **12**


- 14** ボードロックブラケットを取り付けます。

 p.72 「取り付け」

- 15** 本体カバーを取り付けます。

 p.67 「取り付け」

- 16** **2** で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて  p.103 「HDD/SSD 取り付け・取り外し後の作業」を行います。

HDD/SSD取り付け・取り外し後の作業

HDD/SSD の取り付け・取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

HDD/SSD を取り付けた場合

ドライブの作成を行ってください。

 p.104 「ドライブの作成」

※ RAID 構成時、ドライブの作成は不要です。

故障した HDD/SSD を取り替えた場合（RAID 構成時）

RAID の再構築を行ってください。

 p.32 「RAID の再構築」

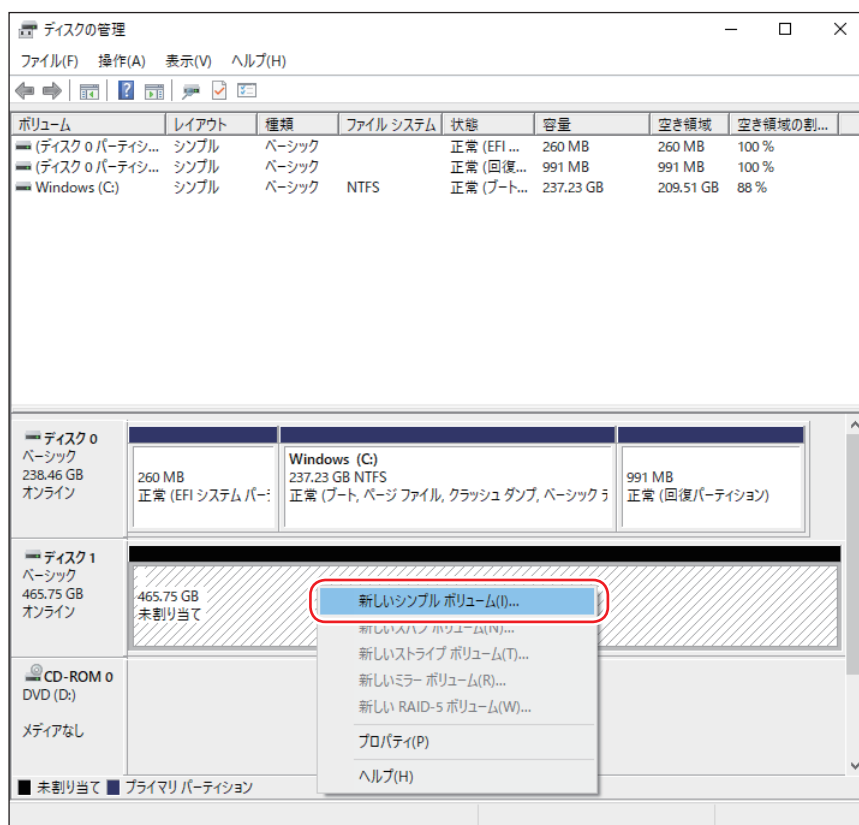
ドライブの作成

新しいHDD/SSDを取り付けたら、ドライブの作成が必要です。

※ RAID 構成時、ドライブの作成は不要です。

ドライブの作成方法は、次のとおりです。

- 1 「スタート」を右クリックして「ディスクの管理」をクリックします。
- 2 「ディスクの初期化」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
取り付けられた新しいHDD/SSDが初期化されます。
- 3 取り付けられたHDD/SSDの「未割り当て」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。



- 4** 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5** 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ] をクリックします。
- 6** 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。
- 7** 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 8** 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、ドライブが使用できるようになります。

コンピューター内部のケーブル接続

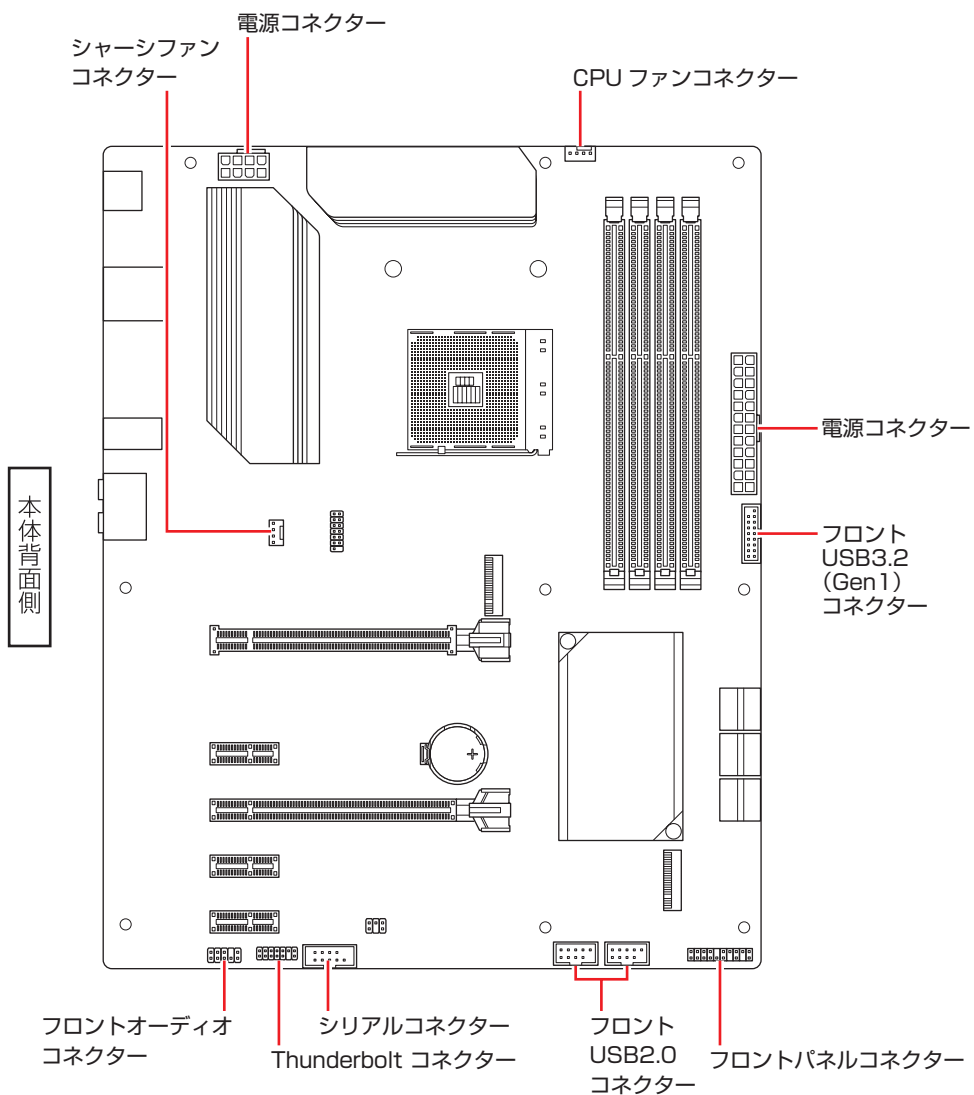
本機の内部には何本かのケーブルがあり、マザーボードに接続されています。通常、これらのケーブルを外したり接続したりする必要はありません。誤って外してしまった場合には、次の図を参照して、正しく接続してください。



各種ケーブルは、本書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、ケーブルが焼損する場合があります。

コネクタ位置 (マザーボード上)

マザーボード上のコネクタ位置は次のとおりです。



3

UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

UEFI の設定を始める前に.....	108
UEFI Setup ユーティリティの操作.....	109
UEFI Setup ユーティリティの設定項目.....	126

UEFI の設定を始める前に



制限

当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



参考

リチウム電池の寿命

UEFI Setup ユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約 5 年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。

 p.151 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

 p.115 「Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)」

 p.116 「Load Previous Values (前回保存した設定値に戻す)」

 p.117 「Load from Profile (ユーザー設定値に戻す)」

UEFI Setup ユーティリティの操作

ここでは、UEFI Setup ユーティリティの「Advanced Mode」画面で、下記操作を行う方法を説明します。

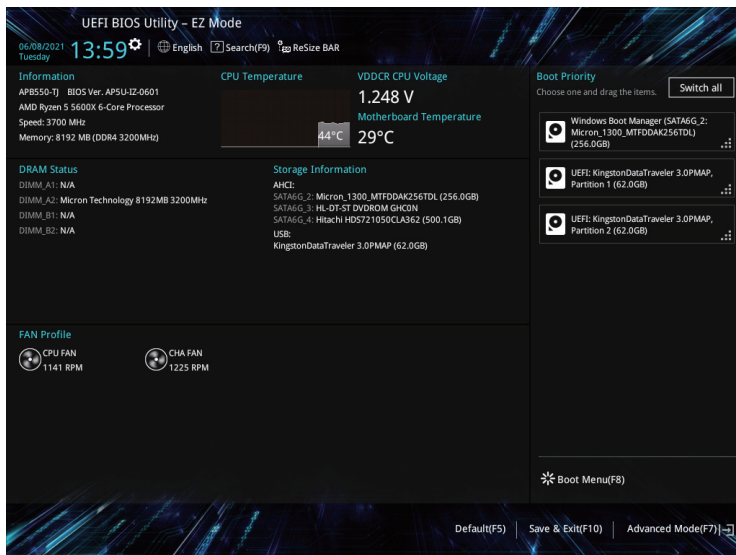
- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- ユーザーの設定値を保存する
- パスワードを設定する
- HDD/SSD にパスワードを設定する
- 設定項目のお気に入り登録

UEFI Setup ユーティリティの起動

UEFI Setup ユーティリティを起動して「Advanced Mode」画面を表示する方法は、次のとおりです。

本機を再起動する前に、キーボードの **[Delete]** または **[F2]** の位置を確認してください。**2** では、すばやく **[Delete]** または **[F2]** を押す必要があります。

- 1** 本機を再起動します。
- 2** 再起動後、すぐに **[Delete]** または **[F2]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
Windows が起動してしまった場合は、再起動して **2** をもう一度実行してください。
「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「EZ Mode」画面が表示されます。



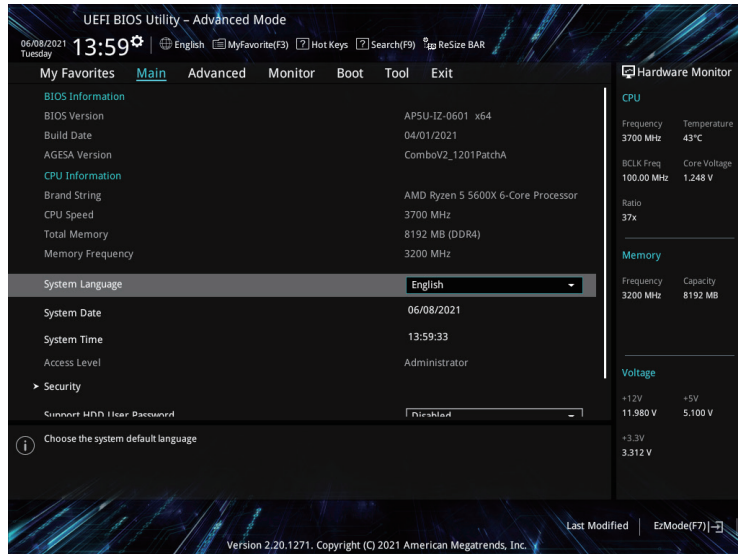
< EZ Mode 画面 (イメージ) >



3

[F7] を押すか、画面右下の **[Advanced Mode]** を選択します。

マウスまたはキーボードの **←** **→** **↑** **↓** で選択します。
「Advanced Mode」画面が表示されます。



<Advanced Mode 画面 (イメージ) >



参考


EZ Mode 画面

EZ Mode 画面ではメモリー容量などの基本的なシステム情報を確認できます。

起動時の画面表示を「Advanced Mode」画面に変更する

「UEFI Setup ユーティリティ」起動時の画面表示を「Advanced Mode」画面に変更できます。変更は「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目で行います。

**「Advanced Mode」画面 – 「Boot」メニュー画面 – 「Boot Configuration」
– 「Setup Mode」**

 p.135 「Boot メニュー画面」

Boot デバイス選択画面の表示方法

リカバリーメディア（オプション）などから起動するために、Boot デバイス選択画面を表示する場合は、本機起動時に **[F8]** を連続的に押します。

仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合は、本機の電源を入れたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

Please enter setup to recover BIOS setting.

When RAID configuration was built, ensure to set SATA Configuration to RAID mode.


Press F1 to Run SETUP

このメッセージが表示されたら **[F1]** を押して UEFI Setup ユーティリティを起動します。通常は、そのまま「Save Changes & Reset」を実行して UEFI Setup ユーティリティを終了します。

 p.114 「UEFI Setup ユーティリティの終了」

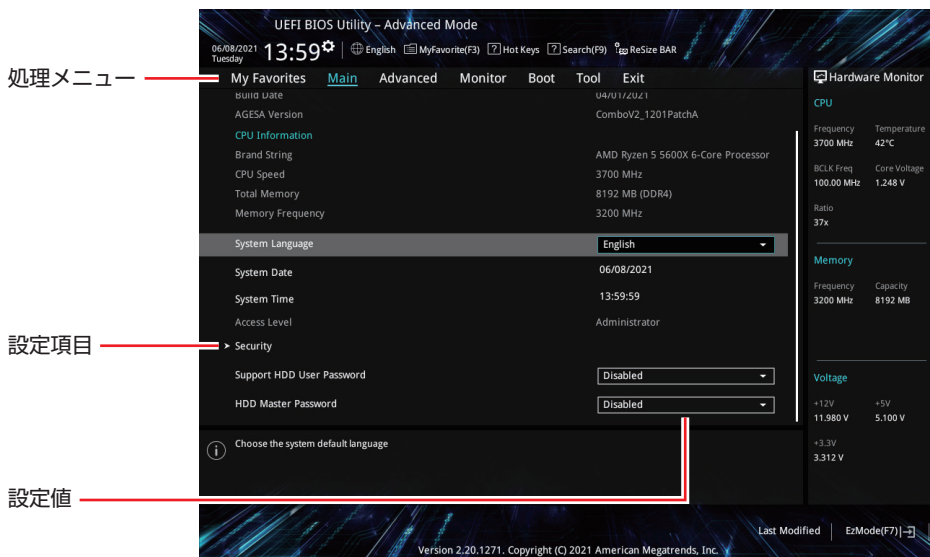
UEFI Setupユーティリティの操作

「UEFI Setup ユーティリティ」の操作は、マウスまたはキーボードで行います。ここでは、キーボードの操作方法を説明します。

ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。各メニュー画面と設定項目の説明は、 p.126 「UEFI Setup ユーティリティの設定項目」をご覧ください。

画面の構成

UEFI Setup ユーティリティには、処理メニューに表示された「メニュー画面」と、設定項目によって表示される「サブメニュー画面」、設定値を変更する際に表示される「ドロップダウンリスト」があります。



<メニュー画面>

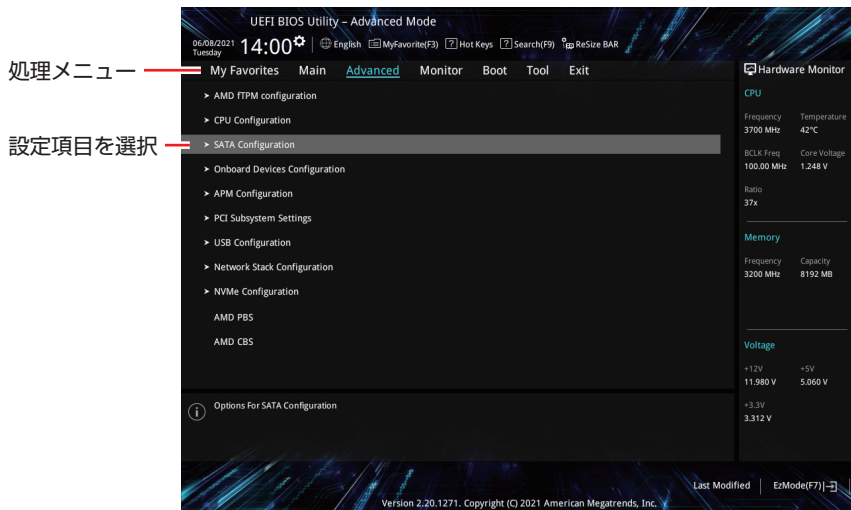
操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法は次のとおりです。

- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

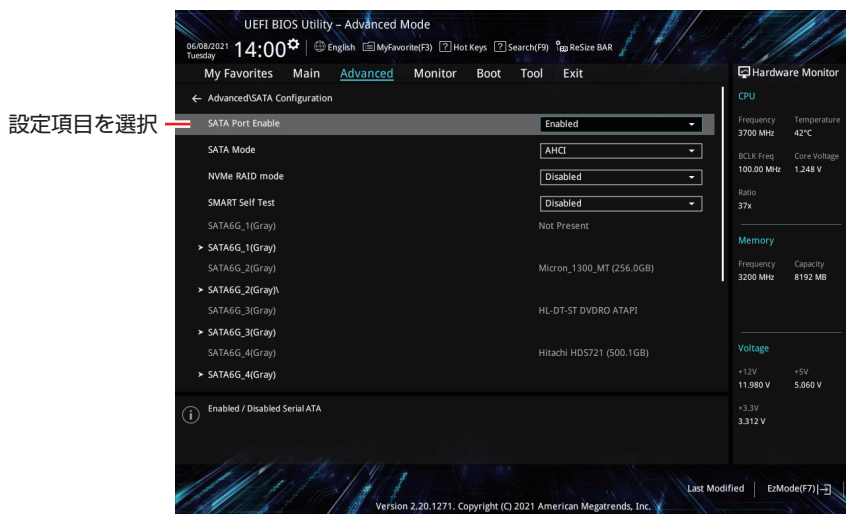
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



<メニュー画面>

▶のある項目の場合





▶のある項目の場合、← を押しとサブメニュー画面が表示されます。↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

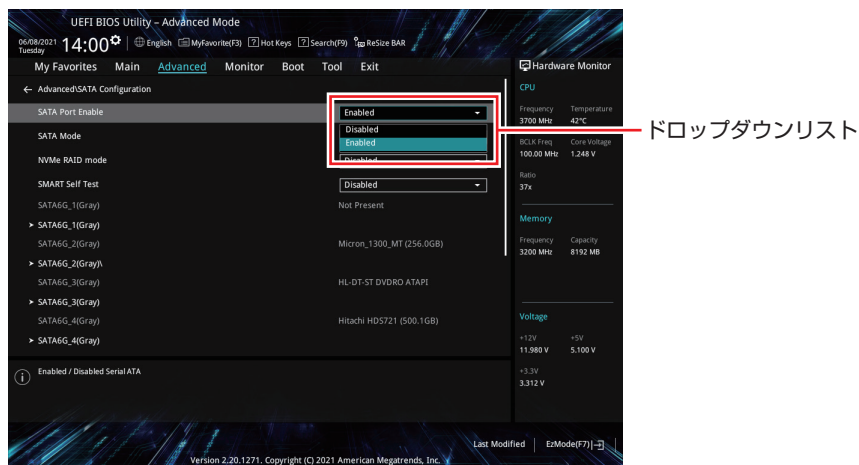


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには [Esc] を押します。

2 設定値を変更します。

 を押してドロップダウンリストを表示し、  で値を選択し  で決定します。



キー操作

UEFI の画面をキーボードで操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
	<ul style="list-style-type: none">変更した内容を破棄し、終了します。サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
 , 	設定を変更する項目を選択します。
 , 	処理メニューを選択します。
 , 	項目の値を変更します。
	<ul style="list-style-type: none">メニュー画面中の  のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。選択項目のドロップダウンリストを表示します。設定値を選択します。
	ヘルプを表示します。
	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
	「Setup Tree Map」画面を表示します。  p.124
	全設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。
	画面表示を「EZ Mode」画面、または「Advanced Mode」画面に切り替えます。
	変更した設定値を保存して終了します。

UEFI Setupユーティリティの終了

「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save Changes & Reset (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **[F10]** を押す、または「Exit」メニュー画面 - 「Save Changes & Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save & reset Save configuration and reset? You have not made any changes to the BIOS settings. [OK] [Cancel]

- 2 **[Ok]** を選択し、**[↵]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes & Exit (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **[Esc]** を押す、または「Exit」メニュー画面 - 「Discard Changes & Exit」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Exit Without Saving Quit without saving? [OK] [Cancel]
--

- 2 **[Ok]** を選択し、**[↵]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を UEFI の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

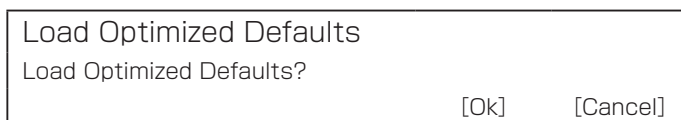
Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)

設定値を UEFI の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※次の項目の設定値を UEFI の初期値に戻すことはできません。

- 「My Favorites」メニュー画面
- 「Main」メニュー画面
- 「Advanced」メニュー画面 – 「SATA Configuration」 – 「SATA Mode」
- 「Advanced」メニュー画面 – 「SATA Configuration」 – 「NVMe RAID mode」
- 「Tool」メニュー画面

- 1** **F5** を押す、または「Exit」メニュー画面 – 「Load Optimized Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



- 2** **Ok** を選択し、**Enter** を押します。
これで設定値が「UEFI の初期値」に戻ります。

Load Optimized Defaults 実行後の作業

次の場合は、Load Optimized Defaults を実行したあとに、UEFI の設定値を設定しなおしてください。

Thunderbolt ボードの場合


Thunderbolt ボードを有効にするには次の項目を設定してください。

「Advanced」メニュー画面 – 「AMD PBS」 – 「Thunderbolt Support」:「Enabled」

そのほかの拡張ボードを装着している場合

ボードによっては、UEFI の設定値を変更する必要があります。ボードのマニュアルでご確認ください。

設定を行ったら、変更した内容を保存して終了します。

 p.114 「Save Changes & Reset (変更した内容を保存し終了する)」

Load Previous Values (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 **F2** を押すと、次のメッセージが表示されます。

Load Previous Values Load Previous Values? [OK] [Cancel]
--

- 2 **[OK]** を選択し、**↵** を押します。
これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

ユーザー設定値を保存する

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定値を変更した場合、その状態を「ユーザー設定値」としてプロファイルに保存しておくことができます。ユーザー設定値をプロファイルに保存しておくこと、「Load Optimized Defaults」やリチウム電池の脱着を行って、設定値が「UEFIの初期値」になってしまった場合などに、「ユーザー設定値」に戻すことができます。

制限 「ユーザー設定値」に戻す場合は、ユーザー設定値を保存したときと同じUEFIバージョン、ハードウェア（CPU、メモリーなど）を使用してください。異なった状態で戻すと、システム起動エラーが発生したり、ハードウェアが故障する恐れがあります。

Save to Profile (ユーザー設定値を保存する)

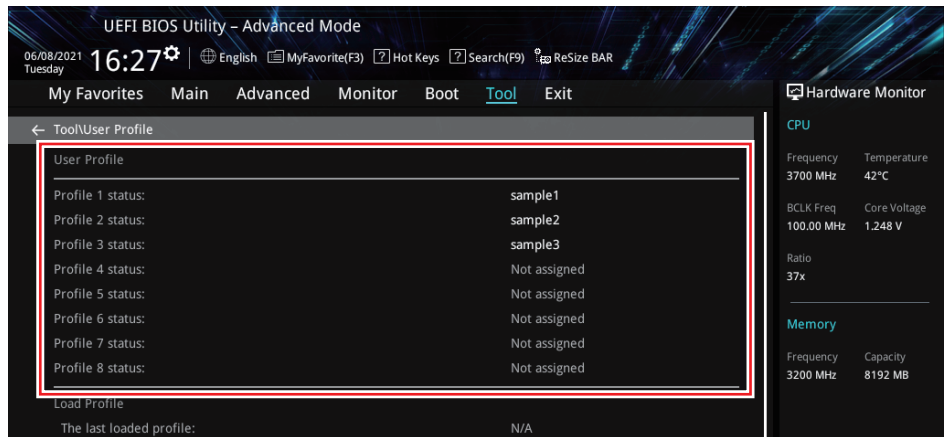
「ユーザー設定値」をプロファイルに保存する方法は、次のとおりです。
※プロファイルは最大で8つまで保存できます。

- 1 UEFI Setup ユーティリティの設定値を変更します。
- 2 「Tool」メニュー画面 - 「User Profile」 - 「Profile Name」を選択し、プロファイル名を入力します。
使用できるのは英数字と記号で、14文字まで入力可能です。
- 3 「Save to Profile」を選択し、割り当てたいプロファイル番号（1-8）を入力して、**↵** を押します。
次のメッセージが表示されます。

Save Setup settings to Profile Save to Profile? [Yes] [No]
--

4 [Yes] を選択し、 を押します。

User Profile 欄にプロファイル名が表示されます。



これで設定値が保存されます。

Load from Profile (ユーザー設定値に戻す)

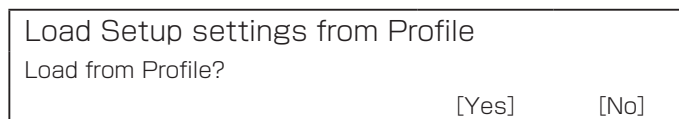
設定値を「ユーザー設定値」に戻す方法は、次のとおりです。

※ 「Save to Profile」で設定値を保存後、実行可能になります。

1 「Tool」メニュー画面 - 「User Profile」 - 「Load from Profile」を選択します。

2 使用したい設定値のプロファイル番号 (1-8) を入力し、 を押します。

次のメッセージが表示されます。



3 [Yes] を選択し、 を押します。

これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。

パスワードを設定する

「Main」メニュー画面－「Security」でパスワードを設定すると、UEFI や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。

パスワードの設定は、本機を使用するユーザーを制限したいときに行います。

パスワードの種類

パスワードには次の2種類があります。

- Administrator Password (管理者パスワード)

コンピューターの管理者用のパスワードです。UEFI の起動時に管理者パスワードの入力が必要です。UEFI のすべての項目の閲覧と変更が可能です。

- User Password (ユーザーパスワード)

一般ユーザー用のパスワードです。UEFI と Windows の起動時にユーザーパスワードの入力が必要です。UEFI のすべての項目の閲覧と変更が可能です。

※両方のパスワードを設定している場合、ユーザーパスワードではUEFI にログオンできません。管理者パスワードでログオンしてください。

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。



設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、UEFI の設定変更や、設定によっては Windows の起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。


- 1 「Main」メニュー画面－「Security」－「Administrator Password」を選択して を押すと、パスワードの入力画面が表示されます。

Enter Password	
Create New Password	<input type="password"/>
Confirm New Password	<input type="password"/>
	[Ok] [Cancel]

2 「Create New Password」の欄にパスワードを入力し、 を押します。


「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの大文字と小文字は区別されます。パスワードは3～20文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

3 「Confirm New Password」の欄にもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

 を押すと、[Ok]が選択されます。


4 [Ok]が選択された状態で  を押します。

同じパスワードを入力しないと、「Invalid Password」というメッセージが表示されます。[Ok]が選択された状態で  を押し、**2** からやりなおしてください。

これでパスワードの設定は完了です。

パスワードの設定が完了すると、「Administrator Password」項目の値が「Installed」に変わります。


ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 p.118 「管理者パスワードの設定」 - **1** で「User Password」を選択し、管理者パスワードと同様の手順で設定します。

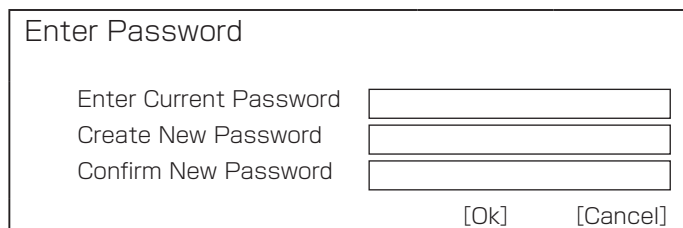
パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードとユーザーパスワードの両方を設定している場合、管理者パスワードで UEFI にログオンしてください。

- 1 「Main」メニュー画面－「Security」－「Administrator Password」を選択して  を押すと、パスワードの入力画面が表示されます。

ユーザーパスワードを削除する場合は、「User Password」を選択します。



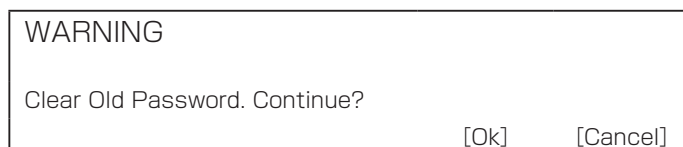
- 2 「Enter Current Password」の欄に設定しているパスワードを入力し、 を押します。

 を押すと、[Ok] が選択されます。

「Create New Password」と「Confirm New Password」の欄には何も入力しないでください。

- 3 [Ok] が選択された状態で  を押します。

- 4 次のメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で  を押します。



「Administrator Password」または「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。

これでパスワードが削除されました。

HDD/SSDにパスワードを設定する

HDD/SSD にパスワードを設定すると、UEFI や Windows 起動時、休止状態からの復帰時にパスワードを要求されるようになります。

HDD/SSD への無断アクセスや、万が一 HDD/SSD が盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDD/SSD にパスワードを設定します。

パスワードは「HDD Master Password (HDD/SSD の管理者パスワード)」と「Support HDD User Password (HDD/SSD のユーザーパスワード)」の 2 種類が設定できます。



制限

M.2 SSD で RAID が構成されている場合、パスワードを設定することはできません。

HDD/SSD のパスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。

！ 制限

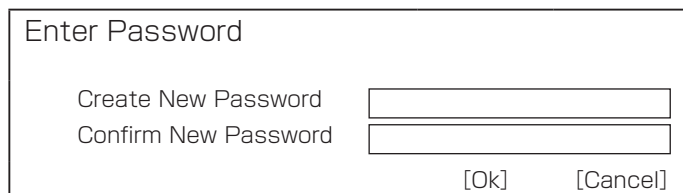
- パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した HDD/SSD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
- HDD/SSD を増設・交換する際は、HDD/SSD のパスワードを削除した状態で行ってください。

HDD/SSD の管理者パスワード

HDD/SSD の管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。

HDD/SSD の管理者パスワードを設定する場合は、同時にユーザーパスワードも設定する必要があります。

- 1** 「Main」メニュー画面－「HDD Master Password」を「Enabled」に設定します。
- 2** 「Main」メニュー画面－「HDD Security Configuration」に表示されている対象の HDD/SSD を選択して  を押すと、サブメニュー画面が表示されます。
- 3** 「Set Master Password」を選択して  を押すと、パスワード入力画面が表示されます。









Enter Password

Create New Password

Confirm New Password

[OK] [Cancel]

- 4** 「Create New Password」の欄にパスワードを入力し、 を押します。
「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの大きい文字と小さい文字は区別されません。
パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。
- 5** 「Confirm New Password」の欄にもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。
 を押すと、[OK] が選択されます。
- 6** [OK] が選択された状態で  を押します。
同じパスワードを入力しないと、「Invalid Password」というメッセージが表示されます。[OK] が選択された状態で  を押し、**4** からやりなおしてください。
- 7**  を押して UEFI Setup ユーティリティを終了します。



- 8** 再起動後、すぐに **[Delete]** または **[F2]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押して UEFI Setup ユーティリティを起動します。
- 9** 「Main」メニュー画面－「HDD Security Configuration」で、**2** で選んだ HDD/SSD を選択して **[↵]** を押すと、サブメニュー画面が表示されます。
- 10** 「Set User Password」を選択して **[↵]** を押すと、パスワード入力画面が表示されます。
- 11** 「Create New Password」の欄にパスワードを入力し、**[↵]** を押します。
「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。
パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。
- 12** 「Confirm New Password」の欄にもう一度同じパスワードを入力し、**[→]** を押します。
[→] を押すと、[OK] が選択されます。
- 13** [OK] が選択された状態で **[↵]** を押します。
同じパスワードを入力しないと、「Invalid Password」というメッセージが表示されます。[OK] が選択された状態で **[↵]** を押し、**11** からやりなおしてください。

これでパスワードの設定は完了です。
パスワードの設定が完了すると、「HDD Master Pwd Status」と「HDD User Pwd Status」項目の値が「INSTALLED」に変わります。

HDD/SSD のユーザーパスワード

HDD/SSD のユーザーパスワードの設定方法は、次のとおりです。

- 1** 「Main」メニュー画面－「Support HDD User Password」を「Enabled」に設定します。
- 2** 「Main」メニュー画面－「HDD Security Configuration」に表示されている対象の HDD/SSD を選択して **[↵]** を押すと、サブメニュー画面が表示されます。
- 3** 「Set User Password」を選択して **[↵]** を押すと、パスワード入力画面が表示されます。

Enter Password	
Create New Password	<input type="text"/>
Confirm New Password	<input type="text"/>
	[Ok] [Cancel]

4 「Create New Password」の欄にパスワードを入力し、 を押します。
「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの英文字と小文字は区別されません。
パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

5 「Confirm New Password」の欄にもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。
 を押すと、[Ok] が選択されます。

6 [Ok] が選択された状態で を押します。
同じパスワードを入力しないと、「Invalid Password」というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で を押し、**4** からやりなおしてください。

これでパスワードの設定は完了です。

パスワードの設定が完了すると、「HDD User Pwd Status」項目の値が「INSTALLED」に変わります。

HDD/SSD のパスワードの削除方法

HDD/SSD のパスワードの削除方法は、次のとおりです。

HDD/SSD の管理者パスワードを削除すると、同時にユーザーパスワードも削除されます。

1 「Main」メニュー画面－「HDD Security Configuration」に表示されている対象のHDD/SSD を選択して を押すと、サブメニュー画面が表示されます。

2 「Set Master Password」を選択して を押すと、パスワード入力画面が表示されます。
ユーザーパスワードを削除する場合は、「Set User Password」を選択します。

Enter Password	
Enter Current Password	<input type="text"/>
Create New Password	<input type="text"/>
Confirm New Password	<input type="text"/>
	[Ok] [Cancel]

3 「Enter Current Password」の欄に設定しているパスワードを入力し、 を押します。
 を押すと、[Ok] が選択されます。
「Create New Password」と「Confirm New Password」の欄には何も入力しないでください。



4 [Ok] が選択された状態で **[↵]** を押します。

これでパスワードが削除されました。

「HDD Master Pwd Status」と「HDD User Pwd Status」項目の値が「NOT INSTALLED」に変わります。ユーザーパスワードのみを削除した場合は、「HDD User Pwd Status」項目の値だけ「NOT INSTALLED」に変わります。

設定項目のお気に入り登録

頻繁に使用する項目を「My Favorite」画面にお気に入りとして登録することで、画面の切り替えなどの操作をせずに一画面で各種設定を確認・変更することができます。



制限

次の項目は、「My Favorite」画面に登録できません。

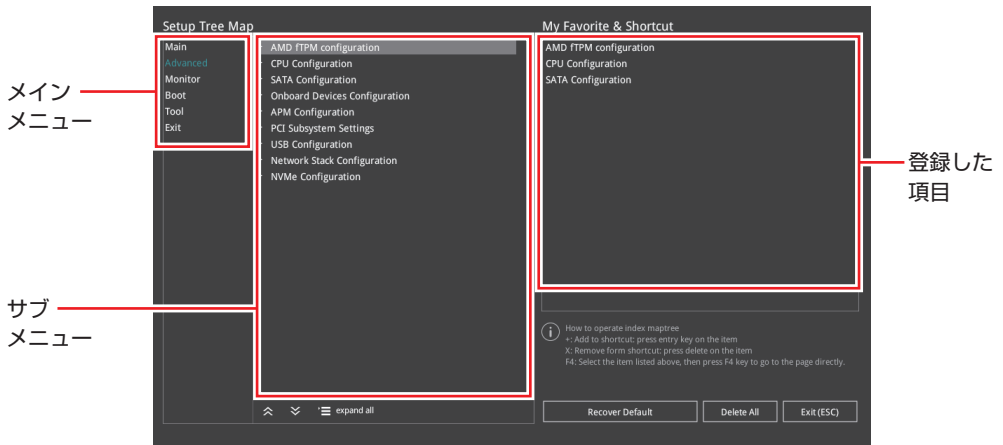
- ユーザー管理項目（システムの言語やドライブの起動順番など）
- 設定不可の項目（UEFI のバージョン、CPU の型番など）

設定項目の登録

設定項目の登録方法は、次のとおりです。

1 「Advanced Mode」画面で **[F3]** を押すか、画面上部の「MyFavorite」をクリックします。

「Setup Tree Map」画面が表示されます。



2 メインメニューでメニューを選択し、**[↵]** を押します。

3 サブメニューでお気に入りに登録したい項目を選択し、**[↵]** を押します。
選択した項目が画面右側の枠内に表示されます。

4 **[Esc]** を押すか、画面下部の「Exit(ESC)」をクリックします。

これで「MyFavorite」画面に項目が登録されます。

登録した設定項目の削除

お気に入り登録した項目の削除方法は、次のとおりです。

- 1** 「Setup Tree Map」画面右側の枠内に **Tab** で移動して項目を選択するか、直接項目をクリックします。
- 2** **Delete** を押します。
すべての項目を削除したい場合は、画面下部の「Delete All」を押します。
これでお気に入り登録した項目が削除されます。

UEFI Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、「Advanced Mode」画面で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。UEFI Setup ユーティリティには、次の7つのメニューがあります。

● My Favorites メニュー画面

頻繁に使用する項目をお気に入りとして登録します。

 p.124 「設定項目のお気に入り登録」

● Main メニュー画面

セキュリティーやパスワードの設定を行います。

● Advanced メニュー画面

デバイスや起動に関する設定を行います。

● Monitor メニュー画面

デバイスの監視に関する設定を行います。

● Boot メニュー画面

システムの起動（Boot）に関する設定を行います。

● Tool メニュー画面


UEFI をアップデートしたり、ユーザー設置値を保存したりします。

● Exit メニュー画面


UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻したりします。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、セキュリティーやパスワードの設定を行います。設定項目は、次のとおりです。


 は初期値
*は項目表示のみ

* BIOS Version	UEFI のバージョン
* Build Date	UEFI のバージョンの制定日
* AGESA Version	AGESA のバージョン
* Brand String	CPU の型番
* CPU Speed	CPU の周波数
* Total Memory	本機に搭載されているメモリー容量
* Memory Frequency	本機に搭載されているメモリー周波数
* System Language	UEFI の表示言語
* System Data	日付（月 / 日 / 年）
* System Time	時刻（時：分：秒）
* Access Level	UEFI へのアクセス制限レベル
Security	セキュリティーに関する設定をします。
* Minimum length	パスワードに使用できる最小文字数
* Maximum length	パスワードに使用できる最大文字数
* Administrator Password/ User Password	Administrator Password（管理者パスワード）と User Password（ユーザーパスワード）が設定されているかどうかを表示します。 Not Installed：パスワードが設定されていません。 Installed：パスワードが設定されています。

Administrator Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。
User Password	ユーザーパスワードの設定や変更、削除を行います。
Support HDD User Password	HDD/SSD のユーザーパスワードを使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled: 使用します。
HDD Master Password	HDD/SSD の管理者パスワードを使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled: 使用します。
HDD Security Configuration ※ 「Support HDD User Password」 または 「HDD Master Password」 を [Enabled] に設定すると表示されます。	HDD/SSD のパスワード設定をします。  p.120 「HDD/SSD にパスワードを設定する」
P1 : XXXXXXXXXXXX (HDD/SSD 名) ...	HDD User/Master Pwd Status などが表示されます。 「Support HDD User Password」 を [Enabled] に設定している場合は、Set User Password を設定できます。 「HDD Master Password」 を [Enabled] に設定している場合は、Set User Password と Set Master Password を設定できます。

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、デバイスや起動に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

 は初期値
*は項目表示のみ

Trusted Computing	セキュリティーチップ (TPM) に関する設定をします。
Security Device Support	セキュリティーチップ (TPM) の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
* Active PCR banks ※ 「Security Device Support」 を [Enabled] に設定すると表示されます。	有効な「PCR banks」が表示されます。
* Available PCR banks ※ 「Security Device Support」 を [Enabled] に設定すると表示されます。	設定可能な「PCR banks」が表示されます。
SHA-1 PCR Bank ※ 「Security Device Support」 を [Enabled] に設定すると表示されます。	SHA-1 PCR Bank の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。

SHA256 PCR Bank ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	SHA256 PCR Bank の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
SHA384 PCR Bank ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	SHA384 PCR Bank の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Pending operation ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	セキュリティーチップ (TPM) の情報を初期化するかどうかを設定します。 本機で初めて TPM を使用する際は、初期化してください。 初期化は「TPM Clear」を選択して保存します。情報が初期化され、コンピュー ターが再起動します。 None : 初期化しません。 TPM Clear : 初期化します。 ※初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用できなくなります。 TPM 使用後に初期化を行う場合は、お客様の責任において十分に注意して行っ てください。
Platform Hierarchy ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	Platform Hierarchy の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Storage Hierarchy ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	Storage Hierarchy の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Endorsement Hierarchy ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	Endorsement Hierarchy の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
TPM 2.0 UEFI Spec Version ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	初期値のまま使用します。
Physical Presence Spec Version ※ 「Security Device Support」を [Enabled] に設定すると表示されま す。	初期値のまま使用します。
Disable Block Sid	Disable Block Sid の有効 / 無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled: 無効にします。

AMD fTPM configuration	セキュリティーチップ (TPM) に関する設定をします。
TPM Device Selection	初期値 [Discrete TPM] のままで使用します。
CPU Configuration	本機に搭載されている CPU の設定をします。 ※表示される項目は、CPU により異なります。
PSS Support	ACPI_PPC、_PSS、_PCT オブジェクト生成の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
NX Mode	No-Execute Page Protection 機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
SVM Mode	AMD SVM (Security and Virtual Machine architecture) の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
SMT Mode	STM (Simultaneous Multi-Threading) の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Auto: 有効にします。
Core Leveling Mode	利用する CPU コア数を設定します。 Automatic mode: CPU コア数を自動で設定します。 ONE, TWO, THREE, FOUR, FIVE, SIX, SEVEN
SATA Configuration	シリアル ATA HDD/SSD のモードを設定します。
SATA Port Enable	SATA ポートを使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled: 使用します。
SATA Mode ※ 「SATA Port Enable」 を [Enabled] に設定す ると表示されます。	初期値のままで使用します。 ※ RAID 構成時は 「RAID」 に設定されています。
NVMe RAID mode	初期値のままで使用します。 ※ RAID 構成時は 「Enabled」 に設定されています。
SMART Self Test ※ 「SATA Port Enable」 を [Enabled] に設定す ると表示されます。	スマートセルフテスト機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
* SATA6G_1 ~ 6(Gray) ※ 「SATA Port Enable」 を [Enabled] に設定す ると表示されます。	SATA ポートに接続しているデバイスの名前が表示されます。
SATA6G_1 ~ 6(Gray) ※ 「SATA Port Enable」 を [Enabled] に設定す ると表示されます。	UEFI 上の SATA ポート名を変更できます。
* M.2_1(Gray) * M.2_2(Gray) ※ 「SATA Port Enable」 を [Enabled] に設定す ると表示されます。	M.2 スロットに接続している M.2SSD の名前が表示されます。

M.2_1(Gray) M.2_2(Gray) ※ 「SATA Port Enable」 を [Enabled] に設定す ると表示されます。	UEFI 上のスロット名を変更できます。
Onboard Devices Configuration	マザーボード上のデバイスの設定をします。
HD Audio Controller	マザーボード上のサウンド機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
PCIEX16_1 Mode	PCI Express x16 スロット (PCIEX16_1) の動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。
M.2_1 Link Mode	M.2 スロット (M.2_1) の動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。
SB Link Mode	サウスブリッジの動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。
PCIEX16_2 Mode	PCI Express x16 スロット (PCIEX16_2) の動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。 ※このスロットは PCI Express x4 で動作します。
PCIEX1_2 Mode	PCI Express x1 スロット (PCIEX1_2) の動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。
PCIEX1_3 Mode	PCI Express x1 スロット (PCIEX1_3) の動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。
M.2_2 Link Mode	M.2 スロット (M.2_2) の動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。
PCIEX1_1 Mode	PCI Express x1 スロット (PCIEX1_1) の動作モードを設定します。 初期値 [Auto] のままで使用します。
PCIEX16_1 Bandwidth Bifurcation Configuration	PCI Express x16 スロット (PCIEX16_1) の帯域幅の動作モードを設定しま す。 初期値 [Auto Mode] のままで使用します。
PCIEX16_2 4X-2X Switch	PCI Express x16 スロット (PCIEX16_2) の帯域幅の動作モードを設定しま す。 初期値 [Auto] のままで使用します。
Realtek LAN Controller	マザーボード上のネットワーク機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled: 使用します。
USB power delivery in Soft Off state (S5)	シャットダウン時の USB コネクタ給電機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Serial Port Configuration	シリアルポートに関する設定をします。
Serial Port	シリアルポートの有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Change Settings ※ 「Serial Port」 を [Enabled] に 設定すると表示 されます。	シリアルポートの I/O アドレスと IRQ を設定します。 IO=3F8h; IRQ=4 IO=2F8h; IRQ=3 IO=3E8h; IRQ=4 IO=2E8h; IRQ=3

APM Configuration	本機の起動に関する設定をします。
ErP Ready	初期値 [Disabled] のままで使用します。
Energy Star Ready	初期値 [Disabled] のままで使用します。
CEC Ready	初期値 [Disabled] のままで使用します。
Restore AC Power Loss	電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかどうかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピューターの同時起動を行うと、コンピューターの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 Power On : 電源オフ時に、電源スイッチを押さなくても、電源が供給されるとコンピューターが起動します。 Power Off : 電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 Last State : コンピューターの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断されたあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピューターが起動します。コンピューターを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピューターは起動しません。
Power On By PCI-E	電源切断時、マザーボード上のネットワーク (PCI Express 接続) から起動するかどうかを設定します。この機能は、Windows を正常に終了した状態でのみ使用可能です。 Disabled : 設定しません。 Enabled : 設定します。
Power On By RTC	コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。 Disabled : 設定しません。 Enabled : 設定します。
RTC Alarm Date (Days)/Hour/Minute/Second ※ 「Power On By RTC」を [Enabled] に設定すると表示されます。	起動する日時を設定します。 起動日を毎日になりたい場合は、「RTC Alarm Date (Days)」を [0] に設定します。 ※この機能を使用する場合は、次の手順で Windows の高速スタートアップを無効にしてください。 ① 「スタート」を右クリック - 「電源オプション」 - 「電源の追加設定」 - 「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。 ② 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」と表示されたら、「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックし、「シャットダウン設定」項目の「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外して、[変更の保存] をクリックします。
PCI Subsystem Settings	PCI サブシステムに関する設定をします。
Above 4G Decoding	Above 4G Decoding の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Re-Size BAR Support ※ 「Above 4G Decoding」を [Enabled] に設定すると表示されます。	Re-Size BAR の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Auto : 有効にします。
SR-IOV Support	SR-IOV (Single Root I/O Virtualization) の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
USB Configuration	USB コントローラーの設定をします。
* USB Controllers	USB コントローラーを表示します。
* USB Devices	本機に接続している USB デバイスを表示します。

Legacy USB Support	USB レガシー機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled: 無効にします。 Auto : 自動で USB デバイスを検出します。
XHCI Hand-off	XHCI ハンドオフ機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled: 無効にします。
USB Device Enable	マザーボード上の USB 機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled : 使用します。
USB Single Port Control ※ 「USB Device Enable」を [Enabled] に設定すると表示されます。	使用する USB コネクタの設定をします。
US32G1_5 US32G2_3 US32G2_C4 US32G1_7 US32G1_8 US32G1_1 US32G1_2 USB_E1234 USB_5 USB_6	USB コネクタの機能の有効 / 無効をコネクタごとに設定します。 USB コネクタの位置は p.41 「USB コネクタの機能を無効にする」で確認してください。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。 ※ 「USB_E1234」を無効にすると、Thunderbolt ボード (オプション) の機能も無効になります。
Network Stack Configuration	リモートブート機能に関する設定をします。
Network Stack	リモートブート機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
IPv4 PXE Support ※ 「Network Stack」を [Enabled] に設定すると表示されます。	リモートブート機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
IPv6 PXE Support ※ 「Network Stack」を [Enabled] に設定すると表示されます。	リモートブート機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
NVMe Configuration	M.2 SSD に関する情報を表示します。
XXXXXXXX(M.2 SSD名) ...	M.2 SSD の名前や合計サイズなどが表示されます。
AMD PBS	AMD Platform BIOS Setup (PBS) に関する設定をします。
Data Link Feature Exchange	Data Link Feature Exchange の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。

Thunderbolt Support	Thunderbolt コネクタの通信機能 (USB/Thunderbolt) を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled: 使用します。 ※ Thunderbolt ボード (オプション) 搭載時の初期値は「Enabled」です。
Thunderbolt Security Level ※ 「Thunderbolt Support」を [Enabled] に設定すると表示されません。	Thunderbolt のセキュリティーレベルを設定します。 初期値のまま使用します。
Thunderbolt Boot From TB ※ 「Thunderbolt Support」を [Enabled] に設定すると表示されません。	Thunderbolt (Boot ON) コマンド実行の有効 / 無効を設定します。 初期値のまま使用します。
Thunderbolt MMIO Resource ※ 「Thunderbolt Support」を [Enabled] に設定すると表示されません。	Thunderbolt PCIE MMIO リソースを設定します。 初期値のまま使用します。
Thunderbolt Wake Up Command ※ 「Thunderbolt Support」を [Enabled] に設定すると表示されません。	Thunderbolt ウェイクアップコマンドを設定します。 初期値のまま使用します。
AMD CBS	AMD Common BIOS Specification (CBS) に関する設定をします。
Core Performance Boost	Core Performance Boost の有効 / 無効を設定します。 初期値 [Auto] のまま使用します。
Global C-state Control	Global C-state Control の有効 / 無効を設定します。 初期値 [Auto] のまま使用します。
IOMMU	IOMMU の有効 / 無効を設定します。 初期値 [Auto] のまま使用します。
RAIDXpert2 Configuration Utility ※ RAID 構成時のみ表示されます。	初期値のまま使用します。

Monitorメニュー画面

「Monitor」メニュー画面では、デバイスの監視に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

CPU Temperature	CPUの温度を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
CPU Package Temperature	CPU パッケージの温度を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
MotherBoard Temperature	マザーボードの温度を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
Chipset Temperature	チップセットの温度を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
CPU Fan Speed	CPU ファンの回転数を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
Chassis Fan Speed	シャーシファンの回転数を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
CPU Core Voltage	CPU コアの電圧を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
3.3V Voltage	3.3V の電圧を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
5V Voltage	5V の電圧を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する
12V Voltage	12V の電圧を Monitor メニュー画面上で監視 (表示) するかどうかを設定します。 Ignore : 監視しない Monitor : 監視する

Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

Boot Configuration	コンピューター起動時の設定をします。
Fast Boot	コンピューターの起動を高速化するかどうかを設定します。 Disabled: 高速化しません。 Enabled: 高速化します。
Next Boot after AC Power Loss ※ 「Fast Boot」を [Enabled] に設定すると表示されます。	電源切断後、再度電源を入れた時に起動を高速化するかどうかを設定します。 Normal Boot: 高速化しません。 Fast Boot: 高速化します。
Boot Logo Display	コンピューター起動時に表示されるロゴのサイズや表示有無を設定します。 Auto: ロゴのサイズを自動調整します。 Full Screen: ロゴを最大サイズで表示します。 Disabled: ロゴを表示しません。
POST Delay Time ※ 「Boot Logo Display」を [Auto] または [Full Screen] に設定すると表示されます。	「UEFI Setup ユーティリティ」が起動するまでの待機時間を設定します。 0 ~ 10 sec で設定可能です。 初期値: 3 sec ※この設定は「Fast Boot」を「Disabled」にすると適用されます。
POST Report ※ 「Boot Logo Display」を [Disabled] に設定すると表示されます。	POST 画面を表示する時間を設定します。 1 ~ 10 sec と [Until Press ESC] が設定可能です。 [Until Press ESC] に設定するとコンピューター起動時に POST 画面が表示されたままになり、ESC キーを押すと Windows が起動します。 初期値: 5 sec
Bootup NumLock State	UEFI 起動時に数値キー入力固定を設定します。 On: 数値キー入力に固定します (NumLock)。 Off: 数値キー入力に固定しません (カーソル制御)。 起動後の入力状態は <input type="checkbox"/> NumLock で変更でき、状態は NumLock ランプで確認できます。 ※この設定は、Windows 起動後には反映されません。
Wait For 'F1' If Error	POST エラーが発生した場合、 <input type="checkbox"/> F1 を押すまでシステムを待機させる機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Option ROM Messages	POST 時にオプション ROM メッセージを表示するかどうかを設定します。 Force BIOS: オプション ROM メッセージを表示します。 Keep Current: ログのみを表示します。
Interrupt 19 Capture	サービス割り込み信号の有効 / 無効を設定します。 Enabled: 有効にします。 Disabled: 無効にします。 ※複数の拡張カードにオプション ROM が搭載されている場合は [Enabled] に設定します。


	AMI Native NVMe Driver Support	NVMe デバイスのネイティブオプション ROM の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。
	Setup Mode	「UEFI Setup ユーティリティ」 起動時に表示する画面を設定します。 Advanced Mode : 「Advanced Mode」 メニュー画面を表示します。 EZ Mode : 「EZ Mode」 メニュー画面を表示します。
	CSM (Compatibility Support Module)	CSM のパラメーターを設定します。
	Launch CSM	初期値 [Disabled] のままで使用します。
	Secure Boot	セキュアブートの設定をします。
	* Secure Boot state	セキュアブートの状態が表示されます。
	* Platform Key (PK) state	Platform Key の状態を表示します。
	OS Type	初期値 [Windows UEFI mode] のままで使用します。
	Key Management	セキュアブートのキーを管理します。
	Clear Secure Boot Keys	セキュアブートのキーをクリアします。
	Save all Secure Boot variables	セキュアブートのキーを USB ストレージデバイスに保存します。
	PK Management	プラットフォームキーを管理します。 Save To File : キーを USB ストレージデバイスに保存します。 Set New Key : USB ストレージデバイスからキーを読み込みます。 Delete key : キーをクリアします。 ※プラットフォームキーを削除した場合、Secure Boot は利用できません。
	KEK Management	キー交換キーデータベースを管理します。 Save To File : キーを USB ストレージデバイスに保存します。 Set New Key : USB ストレージデバイスからキーを読み込みます。 Append Key : システムにキーを追加します。 Delete key : キーをクリアします。
	DB Management	署名データベースを管理します。 Save To File : データベースを USB ストレージデバイスに保存します。 Set New Key : USB ストレージデバイスからデータベースを読み込みます。 Append Key : システムにデータベースを追加します。 Delete key : データベースをクリアします。
	DBX Management	失効した署名データベースを管理します。 Save To File : データベースを USB ストレージデバイスに保存します。 Set New Key : USB ストレージデバイスからデータベースを読み込みます。 Append Key : システムにデータベースを追加します。 Delete key : データベースをクリアします。
	Boot Option Priorities * ¹	ドライブの起動順番を設定します。
	Boot Option # 1 ...	Windows Boot Manager (XXXXXXX) : HDD/SSD の型番 Disabled : 接続された HDD/SSD を使用しません。
	Boot Override	表示されているデバイスを選択すると、UEFI Setup ユーティリティを終了し、そのデバイスから起動します。

*¹ 「EZ Mode」 画面の「Boot Priority」でもドライブの起動順番を設定できます。

Toolメニュー画面

「Tool」メニュー画面では、UEFI をアップデートしたり、ユーザー設定値を保存したりします。設定項目は、次のとおりです。




■ は初期値
* は項目表示のみ

EZ Flash 3 Utility	UEFI をアップデートできます。
Secure Erase	SSD に書き込まれているデータをすべて消去します。
User Profile	ユーザー設定値を保存します。  p.116 「ユーザー設定値を保存する」
* Profile 1 ~ 8 status	プロファイル一覧
* The last loaded profile:	最後に読み込まれたプロファイル
Load from Profile	プロファイルを読み込んで、ユーザー設定値に戻します。
Profile Name	プロファイル名を入力します。 使用できるのは英数字と記号で、14 文字まで入力可能です。
Save to Profile	ユーザー設定値をプロファイルに保存します。
Load/Save Profile from/to USB Drive.	プロファイルを USB デバイスに保存、または USB デバイスに保存したプロファイルを読み込むことができます。
SPD Information	メモリーの SPD (Serial Presence Detect) 情報を表示します。
DIMM Slot Number	DIMM スロット (p.73) の番号を選択します。番号を選択すると、SPD 情報が表示されます。 DIMM_A1, DIMM_A2, DIMM_B1, DIMM_B2

Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

Load Optimized Defaults	UEFI Setup ユーティリティの設定値を、UEFI の初期値に戻します。  p.115 「Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)」
Save Changes & Reset	変更した内容 (設定値) を保存してから、UEFI Setup ユーティリティを終了します。  p.114 「Save Changes & Reset (変更した内容を保存し終了する)」
Discard Changes & Exit	変更した内容 (設定値) を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。  p.114 「Discard Changes & Exit (変更した内容を破棄し終了する)」
Launch EFI Shell from USB drives	利用可能なファイルシステムデバイスから EFI Shell アプリケーション (Shell.efi) を起動します。



4

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら	140
起動・画面表示できないときは	142
トラブル時に効果的な対処方法	148
再インストール（PC を初期状態に戻す）	159

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

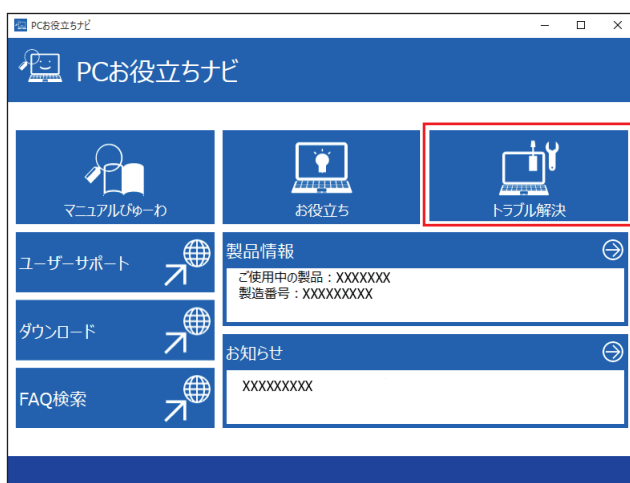
起動・画面表示できる場合

起動・画面表示できる場合は、次の場所に対処方法を探してください。

PC お役立ちナビ


コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PC お役立ちナビ」の「トラブル解決」で、対処方法の確認ができます。

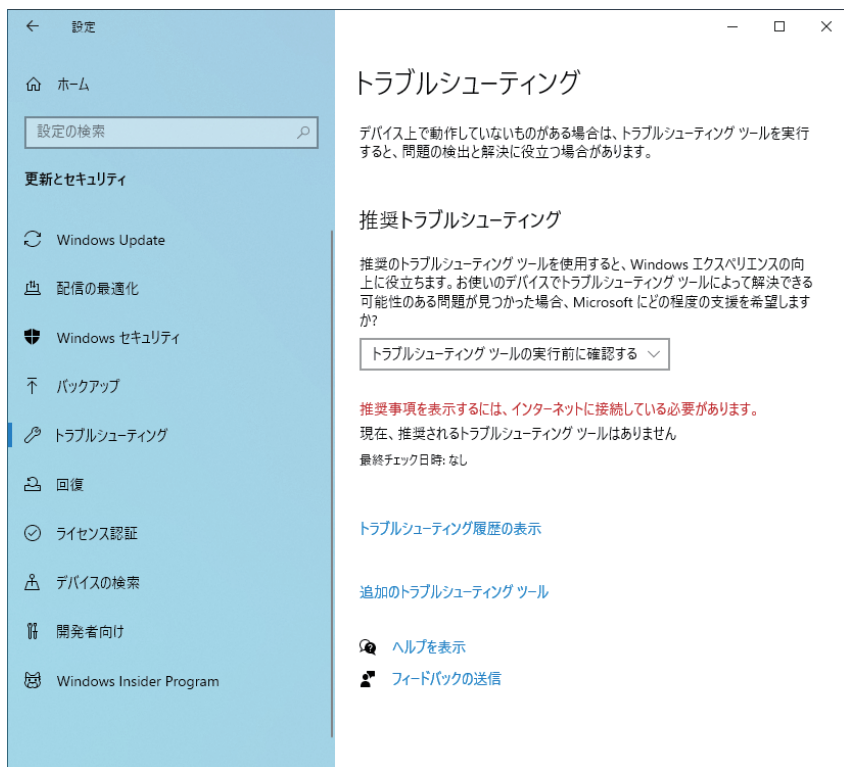
【スタート】 - 【PC お役立ちナビ】



Windows のトラブルシューティングツール

Windows 10 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

[スタート] -  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「トラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってみてください。


起動・画面表示できない場合

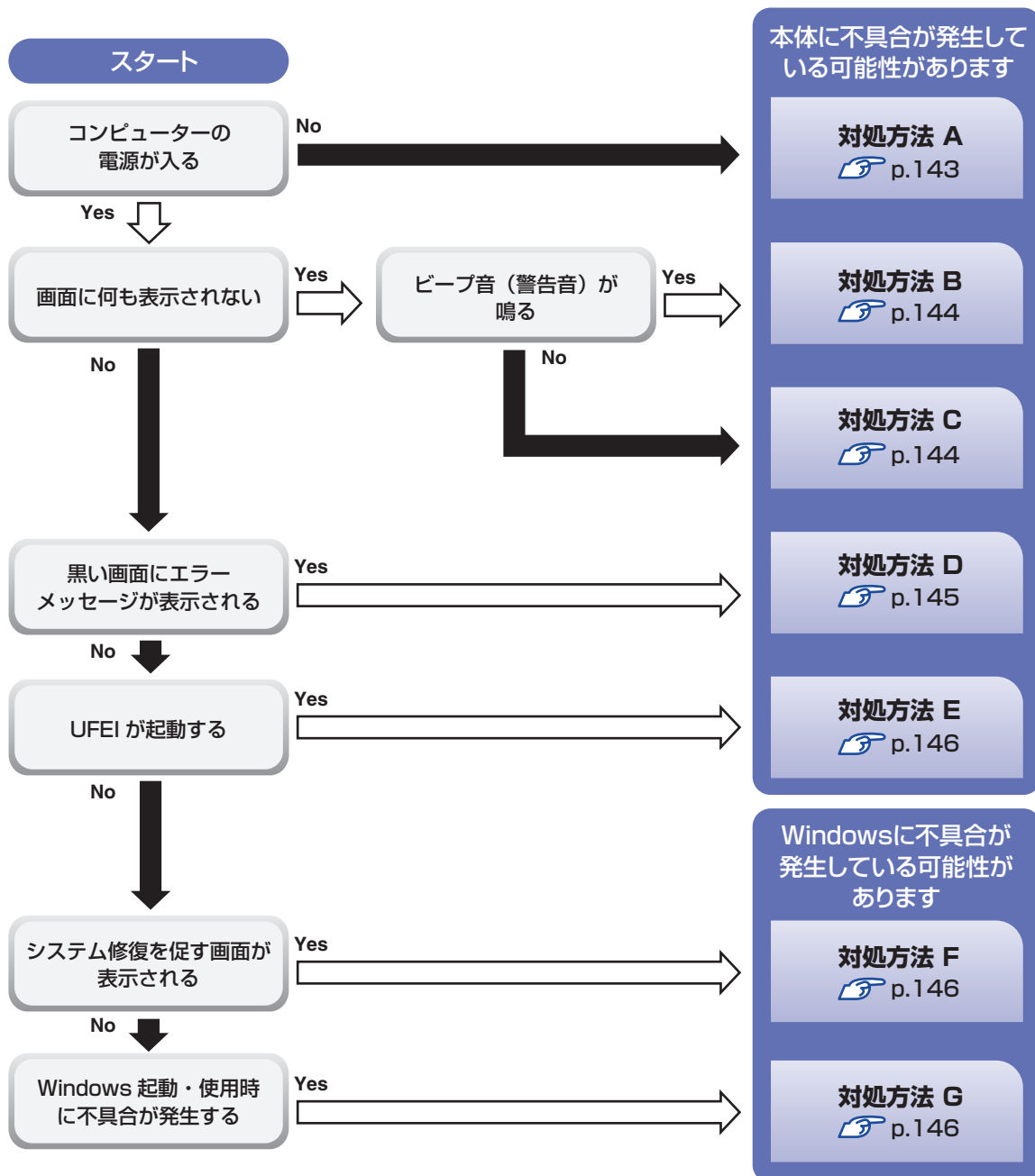
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.142 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.143 「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処を行っても不具合が解消しない場合は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。
サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。


- 1 コンピューター本体の電源を入れなおす**
電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。
- 2 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**
電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 3 壁のコンセントに直接接続する**
電源タップなどにコンピューターの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピューターの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。
- 4 消費電力の大きい機器を停止する**
大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。
- 5 周辺機器や増設した装置を取り外す**
本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 6 CMOS RAM の初期化を行う**
CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。
 p.151 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

対処方法 B


次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**

電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 2 メモリーを差しなおす**

メモリーに不具合が発生している可能性があります。メモリーを抜き差しし、問題が解決されるかどうか確認してください。本機内部にホコリがたまっている場合は、除去してください。
 p.65 「作業時の注意」
- 3 拡張ボード（グラフィックスボードなど）を差しなおす**

ボードに不具合が発生している可能性があります。ボードを差しなおし、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 4 CMOS RAM の初期化を行う**

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。
 p.151 「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

対処方法 C

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 ディスプレイの電源ランプを確認する**

ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。
- 2 ディスプレイケーブルを接続しなおす**

コンピューター本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。
- 3 ディスプレイの表示を切り替える**

ディスプレイ側に表示の切り替え機能がある場合は、表示を切り替えてみてください。
- 4 別のディスプレイを接続する**

ディスプレイとコンピューター、どちらの問題かを切り分けるため、別のディスプレイをお持ちの場合は、コンピューターを接続し、画面が表示されるか確認してください。
- 5 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**


電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

6 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。




7 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.151 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

対処方法 D

まず、次の表をご覧くださいになり、エラーメッセージに応じた対処をしてください。

メッセージ	内容および対処法
CPU FAN Error!	CPU ファンが正常に動作していません。本機の電源を切り、20 秒以上待ってから電源を入れてください。また、CPU ファンのケーブルが CPU ファンコネクタに接続されているか確認してください。  p.106 「コンピューター内部のケーブル接続」
Chassis FAN Error!	シャーシファンが正常に動作していません。本機の電源を切り、20 秒以上待ってから電源を入れてください。また、シャーシファンのケーブルがシャーシファンコネクタに接続されているか確認してください。  p.106 「コンピューター内部のケーブル接続」
Please enter setup to recover BIOS setting. When RAID configuration was built, ensure to set SATA Configuration to RAID mode. Press F1 to Run SETUP	F1 を押すと、UEFI Setup ユーティリティが起動します。通常は、 F5 を押して UEFI を初期化し、 F10 を押して UEFI Setup ユーティリティを終了すると、Windows が起動します。起動の度にメッセージが表示される場合は、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してみてください。  p.151 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

あてはまるメッセージがない場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

2 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.151 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

対処方法 E

次のどちらかの対処を行ってみてください。

- M.2 SSD 搭載時は、M.2 SSD がマザーボード上の M.2 スロットにしっかり差し込まれているか確認してください。

 p.100 「M.2 SSD の交換」

- Port0 の HDD/SSD ホルダーがしっかり差し込まれているか確認してください。

 p.96 「HDD/SSD の取り付け・取り外し」


対処方法 F

次の対処を行ってみてください。

1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

2 再インストールをする

HDD/SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.159 「再インストール（PC を初期状態に戻す）」

対処方法 G

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。


3 マウスやキーボードの状態を確認する

「シャットダウン」の状態でもうすやキーボードを交換してしまうと、認識されず、Windows の操作ができなくなる場合があります。元のマウスやキーボードに戻してみてください。マウスやキーボードの交換は、「PC の電源を切る」で完全に電源を切った状態で行ってください。


 p.21 「終了方法」

4 常駐アプリを停止したり、システムの復元を行う

常駐アプリ（システム稼働中、常に稼働しているアプリ）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.150 「常駐アプリの停止」

常駐アプリが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.150 「システムの復元」

5 UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に UEFI の設定をメモしておいてください。

 p.115 「Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)」


6 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.151 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」





7 再インストールをする

HDD/SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.159 「再インストール (PC を初期状態に戻す)」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。


機能	こんなときに
再起動  p.149 本機を再起動します。	<ul style="list-style-type: none">・ 使用しているアプリで指示があった場合・ アプリや Windows の動作が不安定になったとき
アプリの強制終了  p.149 アプリを強制終了します。	<ul style="list-style-type: none">・ アプリや Windows が、キーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき
常駐アプリの停止  p.150 不具合のある常駐アプリを停止します。	<ul style="list-style-type: none">・ Windows が正常に起動しないとき・ 動作が不安定になったとき
システムの復元  p.150 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	<ul style="list-style-type: none">・ Windows が正常に起動しないとき・ 動作が不安定になったとき
UEFI の初期化  p.115 UEFI の設定を初期値に戻します。	<ul style="list-style-type: none">・ UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき・ 動作が不安定になったとき
CMOS RAM の初期化  p.151 CMOS RAM の保存データを初期化します。	<ul style="list-style-type: none">・ UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき・ UEFI のパスワードを忘れてしまったとき
リチウム電池の交換  p.151 リチウム電池を交換します。	<ul style="list-style-type: none">・ 日時や時間がおかしくなる・ UEFI で設定した値が変わってしまう
PC を初期状態に戻す  p.159 Windows の再インストールを行って、不具合を改善します。	<ul style="list-style-type: none">・ システム回復を促す画面が表示されたとき・ Windows が正常に起動しないとき・ 動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動しないとき）
Windows 回復環境 (Windows RE)  p.155 Windows を修復します。	<ul style="list-style-type: none">・ Windows が正常に起動しないとき・ 動作が不安定になったとき
システム診断ツール  p.156 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	<ul style="list-style-type: none">・ 不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき
ネットワーク診断ツール  p.158 ネットワークの状態を診断します。	<ul style="list-style-type: none">・ コンピューターがネットワークにつながらないとき
RAID の再構築  p.32 RAID を再構築します。	<ul style="list-style-type: none">・ HDD/SSD が故障したとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

- 1** [スタート] –  (電源) – 「再起動」をクリックします。




再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

アプリの強制終了




アプリや Windows がキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。


ハングアップした場合は、アプリの強制終了を行います。

アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1**  +  +  を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、ハングアップしているアプリを選択して [タスクの終了] をクリックします。
アプリが終了します。

強制的に電源を切る


 +  +  を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 電源スイッチ () を 5 秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

常駐アプリの停止

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。

常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。

- 1 [スタート] -  (設定) - 「アプリ」 - 「スタートアップ」をクリックします。
- 2 スタートアップアプリの一覧が表示されたら、不具合の原因となっている可能性のある項目（常駐アプリ）を [オフ] にします。
常駐アプリが原因ではなかった場合、[オン] に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

※ この機能は事前に「システムの保護を有効にする」（p.18）設定を行っていた場合に使用できます。

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1 [スタート] を右クリック - 「システム」 - 「システムの保護」をクリックします。
- 2 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、[システムの復元] をクリックします。
- 3 復元ポイントを選択します。

「システムファイルと設定を復元します。」と表示された場合

- 1 「推奨される復元」を選択し、[次へ] をクリックします。
「別の復元ポイントを選択する」を選択した場合は、復元ポイントを選んで作業を進めてください。

「システムファイルと設定の復元」と表示された場合

- 1 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 2 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をクリックします。
- 5 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい] をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 6 「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。
これでシステムの復元は完了です。

リチウム電池の脱着(CMOS RAMの初期化)

「UEFI Setup ユーティリティー」で設定した情報は、マザーボード上の CMOS RAM に保存され、リチウム電池により保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、寿命は約 5 年です。日時や時間がおかしくなったり、UEFI で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。

UEFI のパスワードを忘れていたり、項目設定を誤ったりして本機が起動しなくなった場合には、リチウム電池を装着しなおすことで、CMOS RAM が初期化され、問題が解決できる場合があります。お試しください。

本機で使用できるリチウム電池は、次のとおりです。

●CR2032



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 作業するときは、コンセントから電源プラグを抜き、10 分以上放置してください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。
- 指定のタイプと異なる種類のリチウム電池を取り付けしないでください。爆発の危険があります。



- リチウム電池の取り外しは、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。




- リチウム電池を取り外すと、現在の UEFI の設定情報は初期値に戻ります。リチウム電池を取り外す前に、UEFI の設定値を記録しておくことをおすすめします。ユーザーの設定値は、「Save to Profile」で保存しておくこともできます。詳しくは [🔗](#) p.116 「ユーザー設定値を保存する」をご覧ください。
- HDD/SSD にパスワードを設定していた場合、リチウム電池を取り外しても、HDD/SSD のパスワードをリセットすることはできません。パスワードを忘れると HDD/SSD は使用できなくなります。

リチウム電池の脱着方法は、次のとおりです。
作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

1 本機および接続している周辺機器の電源を切ります。

増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。

- 1 [スタート] -  (電源) で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。

2 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）を、すべて外し、10分以上放置します。

3 本体カバーを取り外します。

 p.66「取り外し」

4 ボードロックブラケットを取り外します。

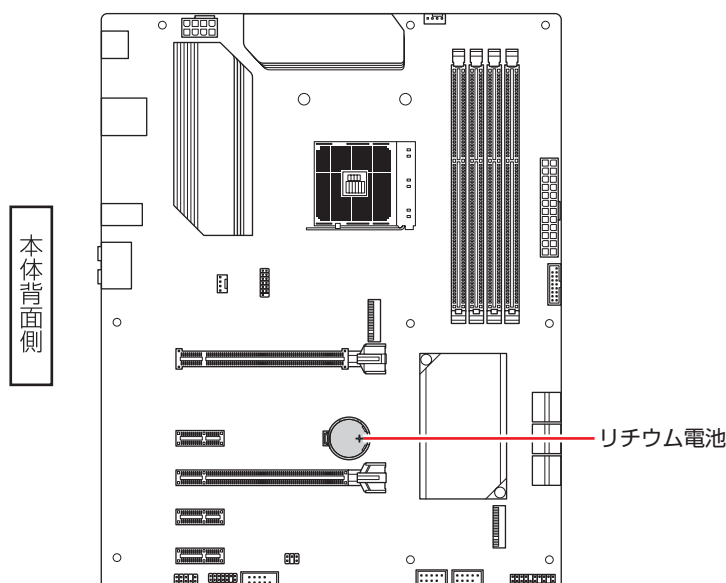
 p.71「取り外し」

5 拡張ボードを取り外します。

 p.86「取り外し」

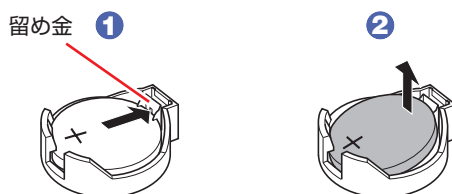
6 リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、マザーボード上の次の位置にあります。



7 リチウム電池を取り外します。

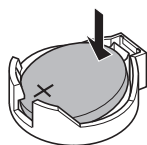
- ① 電池ホルダーの留め金を押します。
- ② リチウム電池が浮き上がったら、電池を抜きます。




8 約 1 分間放置します。

9 リチウム電池を取り付けます。


交換する場合は、新しいリチウム電池を取り付けてください。
刻印面 (+ 側) が表側になるようにして取り付けます。取り付けると「カチッ」と音が鳴ります。



10 拡張ボードを取り付けます。

 p.84 「取り付け」 - ⑥、⑦

11 ボードロックブラケットを取り付けます。

 p.72 「取り付け」

12 本体カバーを取り付けます。

 p.67 「取り付け」

13 ② で外したケーブル類 (電源コードなど) を接続します。

14 本機の電源を入れます。

15 黒い画面に「Please enter setup to recover BIOS setting.」と表示されたら、

F1 を押します。

UEFI Setup ユーティリティが起動します。

16 **F5** を押して UEFI を初期値に戻します。

17 **F10** を押して UEFI Setup ユーティリティを終了します。



18 再起動後、すぐに **Delete** または **F2** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押して UEFI Setup ユーティリティを起動します。

19 「Advanced Mode」画面で、変更の必要のある項目を再設定します。
ユーザーの設定値をプロファイルに保存しておいた場合は、「Load from Profile」で戻すことができます。

 p.116 「ユーザー設定値を保存する」

20 **F10** を押して UEFI Setup ユーティリティを終了します。

使用済みリチウムコイン電池の取り扱い

- リチウムコイン電池は、ショートしないようにテープを貼って絶縁してください。
絶縁しないと、破裂、発熱の原因となります。
- リチウムコイン電池は、燃やしたり埋めたり一般ゴミに混ぜて捨てたりしないでください。
環境破壊の原因となります。自治体の指示に従って廃棄してください。

Windows回復環境(Windows RE)を使う


本機のHDD/SSD内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行っててください。
Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。



参考

Windows RE を手動で起動する

Windows が起動する場合は、次の場所から Windows RE を起動できます。

[スタート] -  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動する]

自動修復

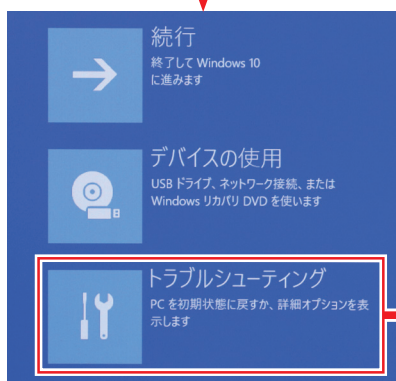
PC が正常に起動しませんでした

[再起動] を押して PC を再起動すると、問題を解決できる場合があります。また、[詳細オプション] を押して、その他の方法で PC の修復を試すこともできます。

再起動

詳細オプション


<イメージ>



「トラブルシューティング」の各項目を実行すると、トラブルが解決する場合があります。

●この PC を初期状態に戻す

Windows を再インストールして、本機を初期状態に戻します。

 p.159 「再インストール (PC を初期状態に戻す)」

●EPSON UTILITY

• システム診断ツール

システム診断ツールを起動し、システム診断を行います。

 p.156 「システム診断ツールを使う」

• HDD 消去ツール

HDD 消去ツールを起動し、HDD/SSD のデータを消去します。

 p.166 「HDD/SSD のデータを消去する」

●詳細オプション

• スタートアップ修復

Windows の読み込みを妨げている問題を修正します。

• スタートアップ設定

Windows のスタートアップ動作を変更します。

• コマンドプロンプト

高度なトラブルシューティングのためにコマンドプロンプトを使います。

• 更新プログラムのアンインストール

最近インストールした品質または機能の更新プログラムを Windows から削除します。

• UEFI ファームウェアの設定

PC の UEFI ファームウェア (UEFI Setup ユーティリティ) の設定を変えます。

• システムの復元

PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。

 p.150 「システムの復元」

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の 2 種類があります。

●Windows 上で起動するシステム診断ツール

Windows 上でシステム診断を行うことができます。Windows が起動する場合に使用します。

●Windows 回復環境 (Windows RE) から起動するシステム診断ツール

Windows RE (p.155) からシステム診断機能を行うことができます。

システム診断を実行する

Windows が起動する場合としない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windows が起動する場合

Windows 上でシステム診断を行います。

Windows 上でシステム診断を行う手順は、次のとおりです。

- 1 「[スタート] - [システム診断ツール] をクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「[はい] をクリックします。
- 3 システム診断ツールが起動したら、「[診断開始] をクリックします。
診断が開始されます。
- 4 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

Windows RE が起動した場合

Windows RE からシステム診断ツールを起動します。

Windows RE からシステム診断を行う手順は、次のとおりです。

- 1 「Windows RE」(p.155) が起動したら、起動した画面から「[詳細オプション] をクリックします。
- 2 「オプションの選択」画面が表示されたら、「[トラブルシューティング] をクリックします。
- 3 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「[EPSON UTILITY] をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 4 「OEMTool」画面が表示されたら、「[システム診断ツール] をクリックします。
- 5 システム診断ツールが起動したら、「[診断開始] をクリックします。
診断が開始されます。
- 6 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

ネットワーク診断ツールを使う

使用しているコンピューターがネットワークにつながらない場合に、予想される原因と対処方法を確認することができます。

【スタート】 - 【ネットワーク診断ツール】



再インストール (PC を初期状態に戻す)

本機を初期状態に戻す方法を説明します。

再インストールとは

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。本機にトラブルが発生したときに、再インストールを行うと、トラブルが解決する場合があります。

再インストール方法には、次の 2 つがあります。目的や状況に応じた方法を選択してください。

個人用ファイルを保持して再インストール  p.160	<ul style="list-style-type: none">●本機を初期状態に戻します。●個人用ファイル (写真、音楽、ビデオなど) は保持されます。
すべてを削除して再インストール  p.160	<ul style="list-style-type: none">●本機を初期状態に戻します。●個人用ファイル (写真、音楽、ビデオなど) は削除されます。●「個人用ファイルを保持して再インストール」で問題が改善しない場合に行います。

再インストールを実行できない、実行しても問題が改善されない場合は、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。

※事前に外付け USB 機器に回復ドライブを作成していた場合のみ実行できます。

回復ドライブから Windows の再インストールを行う方法については、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?29541>



HDD/SSD の「リカバリー領域」(p.29) は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻すためのデータが設定されています。


個人用ファイルを保持して再インストール

Windows が正常に起動しないときや動作が不安定になった場合には、個人用ファイルを保持して再インストールします。

個人用ファイルを保持して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

Windows が起動する場合

Windows が起動する場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

- 1** [スタート] –  (設定) – 「更新とセキュリティ」 – 「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の [開始する] をクリックします。
- 2** 「オプションを選択してください」と表示されたら、[個人用ファイルを保持する] をクリックします。
- 3** 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示されたら、「クラウドからダウンロード」または「ローカル再インストール」を選択します。
- 4** 「追加の設定」と表示されたら、設定を確認して [次へ] をクリックします。
- 5** 「この PC をリセットする準備ができました」と表示されたら、処理の内容を確認して [リセット] をクリックします。

本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやマウスを操作しないでください。

処理が終了すると、デスクトップが表示されます。必要に応じて、再設定やアプリのインストールを行ってください。

Windows が起動しない場合

Windows が起動しない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

 p.155 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」

すべてを削除して再インストール

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「個人用ファイルを保持して再インストール」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、初期状態に戻したい場合


すべてを削除して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ C ドライブの設定やデータは、再インストールを行うと消えてしまいます。

可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。

Windows が起動する場合

Windows が起動する場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

- 1** [スタート] -  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の [開始する] をクリックします。
- 2** 「オプションを選択してください」と表示されたら、[すべて削除する] をクリックします。
- 3** 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示されたら、「クラウドからダウンロード」または「ローカル再インストール」を選択します。
- 4** 「追加の設定」と表示されたら、設定を確認して [次へ] をクリックします。
削除するファイルの設定を変更する場合は、[設定の変更] をクリックして、設定を変更してください。
- 5** 「この PC をリセットする準備ができました」と表示されたら、処理の内容を確認して [リセット] をクリックします。
本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやマウスを操作しないでください。
処理が終了すると、Windows のセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。セットアップ後は、必要に応じて再設定やアプリのインストールを行ってください。

Windows が起動しない場合

Windows が起動しない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

 p.155 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」





付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ	164
コンピューターを廃棄するときは.....	165
機能仕様一覧	167

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
変色や変形の可能性があります。

通風孔

通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。
定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

内部

本体内部にホコリなどがたまっている場合は、エアースプレーで吹き飛ばしてください。



- 本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜き、10分以上放置してください。
電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。
- 電源ユニットは絶対に分解しないでください。
けがや感電・火災の原因となります。



- 作業時は、誤って本体内部の部品を傷つけないよう注意してください。
- 水分を含ませたティッシュや化学ぞうきんなどは、使わないでください。
水分や化学物質により故障の原因となります。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、HDD/SSD のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

コンピューターの廃棄・譲渡時のHDD/SSD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中のHDD/SSDという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、このHDD/SSD内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ アプリで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 再インストールを行い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OSのもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に②～⑤の操作をしても、HDD/SSD内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターのHDD/SSD内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、HDD/SSD上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、HDD/SSDに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、HDD/SSD上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、HDD/SSD上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

HDD/SSDのデータを消去する

本機を廃棄する前に HDD/SSD のデータを消去してください。




HDD/SSD のデータ消去は、「HDD 消去ツール」を使って行います。HDD 消去ツールを使用すると、HDD/SSD 内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、HDD/SSD のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。




制限

データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDD/SSD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

- 1** [スタート] -  (電源) をクリックし、**[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックします。
- 3** 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「EPSON UTILITY」をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 4** 「OEMTool」画面が表示されたら、「HDD 消去ツール」をクリックします。
- 5** 「HDD_ERASE」画面が表示されたら、データを消去したい HDD/SSD を選択し、**[ゼロ消去]** をクリックします。
- 6** 「実行してよろしいですか」と表示されたら、**[OK]** をクリックします。
消去が開始します。
- 7** 消去が終了したら、本機の電源を切ります。
 - 1** 「HDD_ERASE」画面の右上の  をクリックします。
 - 2** 「OEMTool」画面が表示されたら、画面右上の  をクリックします。
 - 3** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

これでデータの消去は終了です。

機能仕様一覧

型番	Pro9050a			
CPU/APU	プロセッサ	購入時の選択による  p.168		
	ソケット	Socket AM4		
チップセット	AMD B550 チップセット			
UEFI	AMI			
メインメモリー*1	規格	PC4-3200 DIMM (DDR4-3200 SDRAM 使用)		
	搭載可能容量 (最大)	128GB*2		
	搭載容量	購入時の選択による  p.168		
	スロット	DIMM スロット (288 ピン) × 4 (デュアルチャネル対応)		
GPU/ ビデオメモリー (VRAM) / 表示解像度	選択したグラフィックスボードによる  p.168			
HDD または SSD	シリアル ATA600MB/s 対応 3.5 型 HDD シリアル ATA600MB/s 対応 2.5 型 SSD PCI Express x4 Gen4 対応 M.2 SSD (種類、容量、搭載数は購入時の選択による)  p.168			
光ディスクドライブ	シリアル ATA 対応 5.25 型光ディスクドライブ (種類、搭載数は購入時の選択による)  p.168			
サウンド機能	Realtek ALC897 7.1-Channel High Definition Audio CODEC (Realtek 製 ALC897-VA2-CG)			
ネットワーク機能	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (Realtek 製 RTL8111H)			
マウス/キーボード	購入時の選択による  p.168			
インタフェース	USB	Type-A	USB2.0 コネクタ	1 (前面)、2 (背面)
			USB3.2 (Gen1) コネクタ	2 (前面)、4 (背面)
		Type-C	USB3.2 (Gen2) コネクタ	1 (背面)
			USB3.2 (Gen2) コネクタ (4.5W)	1 (背面)
	LAN	RJ-45 × 1 (背面)		
	サウンド	前面	ヘッドホン出力 × 1、マイク入力 × 1	
		背面	ライン入力/サイドスピーカー出力 × 1、ライン出力/フロントスピーカー出力 × 1、マイク入力 × 1、センター/サブウーファ × 1、リアスピーカー出力 × 1、S/PDIF × 1	
	ディスプレイ	選択したグラフィックスボードによる  p.168		
シリアル (オプション)	D-sub 9 ピン (コネクタ数は購入時の選択による)  p.168			
ドライブベイ	5.25 型	3*3		
	HDD/SSD	4		
スロット	PCI Express M.2_1	M.2_1 (Gen4) スロット × 1		
	PCI Express M.2_2	M.2_2 (Gen3) スロット × 1		
拡張スロット	PCI Express x16	1 : ボード長 312mm (フルサイズ) まで搭載可能*5		
	PCI Express x4*4	1 : ボード長 312mm (フルサイズ) まで搭載可能*5		
	PCI Express x1	3 : ボード長 312mm (フルサイズ) まで搭載可能*5		
セキュリティー機能	セキュリティーチップ (TPM2.0) : TCG 準拠 v2.0 セキュリティーロックスロット (背面)			
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	ハンドル装着時 : 約 216.8 × 498.7 × 470.8mm ハンドル未装着時 : 約 216.8 × 498.7 × 430.9mm			
電源	AC100V ± 10% (50/60Hz) (入力波形は正弦波のみをサポート)			
	1000W	650W		
消費電力 (最大定格出力時) (理論値)	約 1149.2W	約 747.1W		
質量 (基本構成時)	ハンドル装着時 : 約 17.1kg	ハンドル装着時 : 約 16.2kg		
	ハンドル未装着時 : 約 16.7kg	ハンドル未装着時 : 約 15.7kg		
動作環境	動作温度 : 10 ~ 35℃、動作湿度 : 20 ~ 80% (結露しないこと)			

*1 今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにともない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

*2 1 基目の HDD/SSD の容量が 256GB 以下の場合には最大 32GB までです。

*³ 1つはフロント I/O ユニット用です。

*⁴ スロットの形状は PCI Express x16 ですが、PCI Express x4 で動作します。

*⁵ ボードの形状や選択されたオプションによっては、コネクタ類と干渉して装着できない場合があります。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?37585>

購入時の構成情報を確認する

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって仕様がカスタマイズされています。お使いのコンピューターのご購入時の構成情報は次の場所をご覧ください。

<https://support1.epsondirect.co.jp/ssl/cts/config/serial.asp>

製造番号は次の場所で確認できます。

[\[スタート\]](#) - [\[PC お役立ちナビ\]](#) - [\[製品情報\]](#)

限定保証責任

購入された当社製品の故障、または当社が提供した修理において、当社に故意または重大なる過失がある場合を除き、いかなる場合でも、当社の責に帰すことのできない事由から生じた損害、逸失、利益、第三者からお客様に対してなされた賠償請求に基づく損害、当社の予見の有無を問わず生じた特別損害、派生的損害、間接損害、およびその他の拡大損害、データなどの記憶内容の損害、ソフトウェアなどのプログラムおよび記憶媒体（CD メディア、DVD メディアなどを含むがこれに限定されない）の損害につきましては、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

また、当社が責任を負う場合でも、重大な人身損害の場合を除き、請求の原因を問わず、お客様に現実に発生した直接の損害に対し、直接原因となった当社製品およびサービスの支払済み代金相当額を超えて責任を負うものではありません。

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

レーザー製品安全基準

本機に搭載されている光ディスクドライブは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

<レーザーマウス添付の場合>

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

公衆回線への接続

不特定多数の利用者が使用する公衆回線には、本機を直接つながないでください。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販の CD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Intel、インテル、Intel ロゴ、Thunderbolt は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge、Windows、Windows ロゴ、Internet Explorer、Outlook、OneDrive は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- そのほかの会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/